

市内中小企業の景況について  
(第 101 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態、経営動向などを把握するため、四半期ごとに実施している「京都市中小企業経営動向実態調査」の調査結果がまとまりましたので、報告致します。

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 23 年 12 月
- ・ 調査対象期間 平成 23 年 10 月～12 月期 (3 箇月実績) / 平成 24 年 1～3 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 379 社, 非製造業 421 社, 計 800 社に対しアンケートを送付。535 社が回答 (回収率 66.9%)。

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	267 ( 50.0 )	非製造業	268 ( 50.0 )
西陣	28 ( 5.2 )	卸売	59 ( 11.0 )
染色	34 ( 6.4 )	小売	59 ( 11.0 )
印刷	26 ( 4.9 )	情報通信	27 ( 5.0 )
窯業	15 ( 2.8 )	飲食・宿泊	33 ( 6.2 )
化学	23 ( 4.3 )	サービス	50 ( 9.3 )
金属	30 ( 5.6 )	建設	40 ( 7.5 )
機械	25 ( 4.7 )	不明	0 ( 0.0 )
その他の製造	86 ( 16.1 )	合 計	535 ( 100.0 )

- DI=Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)  
増加, 上昇などと回答した企業の企業割合から, 減少, 低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として, それより上である場合は, 上向き傾向を表す回答が多いことを示し, 下である場合は, 下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
- 中小企業の定義  
中小企業基本法に基づき, 業種別に以下のとおりに設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業, その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信, 飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については, インターネットホームページでも御覧いただけます。

URL [http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-1-11-0-0\\_1.html](http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-1-11-0-0_1.html)

## 調査結果概要

### 1. 景気動向調査について

- 製造業、非製造業ともに、企業景気DIは2期連続して改善したが、いずれも震災前の水準には戻っておらず、急速な円高や需要低迷等により依然として景気回復には至っていない。
- 来期の企業景気見通しDIについても、製造業、非製造業ともにわずかに上昇傾向にあるものの、業種によっては円高継続、競争激化、消費低迷等といった懸念材料を抱えており、景気動向は足踏み状態にある。

#### (1) 今期実績 平成23年10月～12月期

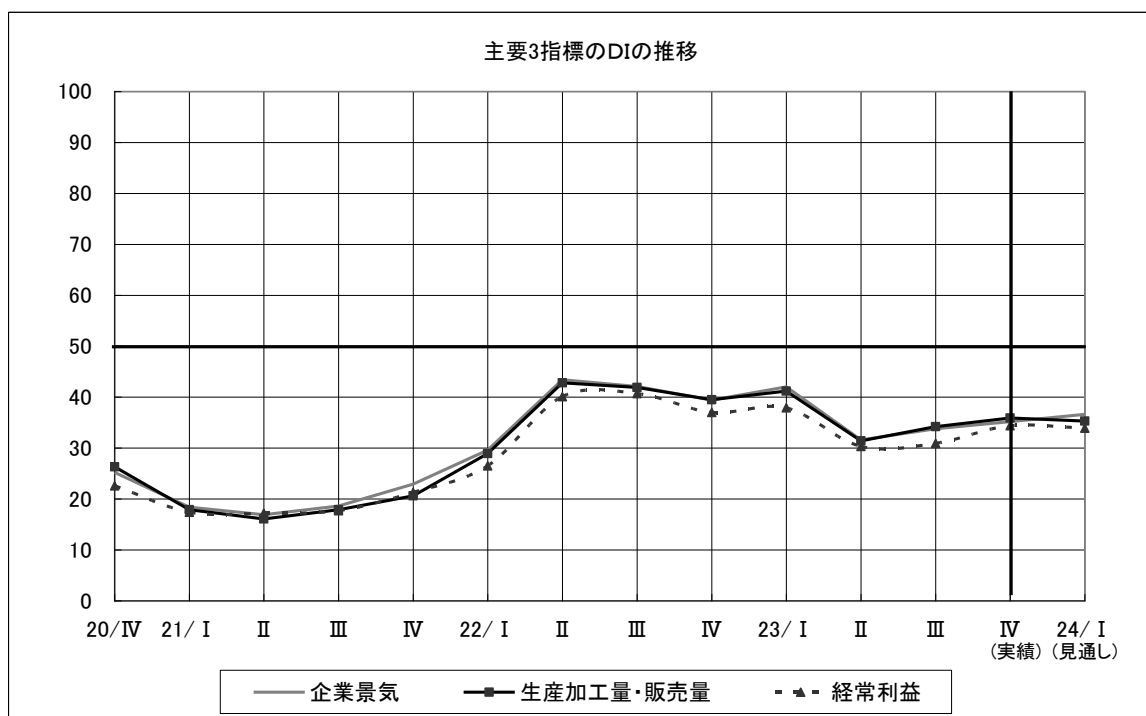
今期（平成23年10月～12月期）の全業種の主要3指標DIは、企業景気DIが35.2と前期と比較し、1.4ポイントの上昇となった。生産加工量・販売量DIは、35.9で同1.7ポイント上昇、経常利益DIは、34.4で同3.5ポイントの上昇となり、主要3指標DIはいずれも上昇した。

#### ・今期実績

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	35.2 (△1.4)	35.9 (△1.7)	34.4 (△3.5)
(製造業)	38.2 (△2.3)	38.0 (△1.8)	35.5 (△2.7)
(非製造業)	32.1 (△0.2)	33.5 (△1.2)	33.3 (△4.1)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。）

#### ・主要3指標のDIの推移



前々期（平成23年4月～6月期）に平成23年3月の東日本大震災の影響から製造業、非製造業ともに、10ポイント以上低下した企業景気DIは、緩やかながらも2期連続して改善した。震災直後で企業景気DIは大幅に低下し、その反動もあってわずかながらも改善傾向をたどっているが、震災前の水準には戻っておらず、依然として低水準である。その中で、染色、窯業が前期（平成23年7月～9月期）と比べて10ポイント以上の上昇となり、逆に金属が10ポイント以上の低下となった。

製造業においては、「受注量が増え、仕入先を変更したので仕入単価が低くなった」（中京区／染色）、「常に新

しい商品開発で生き抜く」(東山区/窯業),「扱い品の特殊性や安定性が奏功」(東山区/窯業)といった,有力取引先の確保や開拓,扱い品の特殊性や新商品提案等を活かした展開により,染色,窯業の企業景気DIは,10ポイント以上上昇した。

さらに,地場産業のひとつである西陣は,「全国の寺院向けに,御守袋の販売が堅調」(上京区/西陣),「地元の有力な呉服卸業者を得意先に受注が安定」(上京区/西陣)といった,低迷が続く中でも染色,窯業と同様に安定した取引先の確保,扱い品の堅調な需要に支えられ,企業景気DIは改善した。また,「生産調整の一巡でやや回復傾向に向かいつつある」(南区/機械),「営業力の強化で業況を保っている」(中京区/印刷)といった,自社での営業努力,人材確保による営業力アップや得意先の生産調整の緩和により機械,印刷の景況感も改善され,製造業の中で5業種の企業景気DIは上昇し,製造業全体の企業景気DIを押し上げた。化学は「商環境に大きな変化はなく,景気の見通しも短期的に目立った動きは無い」(中京区/化学),「震災の影響で,得意先からの注文が大きく減少,他の仕事は順調に注文が入ってきている。ただ減少をカバーするまでは至っていない」(南区/化学)のように目立った変動がなく推移している声があり,企業景気DIも前期と同様の数値となった。

一方,「震災で東電向けの製品が激減」(南区/金属),「景気低迷で受注停滞」(南区/金属),「エンドユーザーの発注状況の悪化」(南区/金属),「円高の影響により外国から安価な製品が入り,市場の価格破壊をおこしている」(南区/その他製造),「震災により,東京方面行きのシェアの40%分が全減」(南区/その他製造)と引き続き東日本大震災の影響を受けていることや急速な円高の影響による廉価な海外製品の流入で競合が激化しているといった声も多く,金属,その他製造の企業景気DIは低下した。

非製造業においては,「業界全体の好転材料もなく,厳しい状況にある」(上京区/卸売),「先々不安からの消費低迷,競争激化,売上利益とも減少」(右京区/小売),「震災等不景気の煽りで厳しい」(伏見区/建設)といった,依然として全体的な景気の低迷により業況が改善されず,卸売,小売,建設の企業景気DIは低下した。一方で,「スマートフォン等のセキュリティの問合せが増えている」(下京区/情報通信),「夏以後,観光客が増加」(東山区/飲食・宿泊),「経費やコスト削減に取り組み,今期仕入れた商品の販売が順調」(右京区/サービス)のように,流行製品からの派生による受注増や扱い品の需要増,また国内観光客の増加で回復といったことから情報通信,飲食・宿泊,サービスの企業景気DIは改善し,結果として非製造業全体の企業景気DIは上昇した。

観光関連についても,震災や円高の影響から外国人観光客の減少に見舞われているが,「近隣の美術館のイベントをきっかけに口コミのお客が増加」(左京区/飲食・宿泊),「東西,両本願寺の法要による宿泊,昼食の増加」(下京区/飲食・宿泊)といった,イベントや行事に付帯して集客に成功した事例もあり,企業景気DIは8.2ポイント上昇した。

今回の調査では,京都市内の一部の中小企業において,企業独自の取組による製品や商品の提案,取引先の見直しや販路開拓での持ち直し,業績維持により,業況が改善されてきたといった声が聞かれ,全体の企業景気DIは2期連続して上昇した。しかし,引き続き震災の影響や消費低迷,円高による原材料コストの上昇や外国人観光客の減少といった懸念事象も多く,企業景気DI自体も震災前の水準には戻っていないことから,景気回復には至っていない。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は14業種中7業種であり,いずれも低下した業種は1業種である。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
染色	33.8 ( △ 11.7 )	33.3 ( △ 10.6 )	29.4 ( △ 10.3 )
印刷	36.5 ( △ 3.2 )	34.6 ( △ 1.3 )	36.5 ( △ 4.8 )
窯業	46.4 ( △ 17.5 )	50.0 ( △ 25.0 )	43.3 ( △ 17.0 )
機械	42.0 ( △ 2.4 )	46.0 ( △ 6.9 )	36.0 ( △ 2.7 )
情報通信	42.6 ( △ 1.2 )	50.0 ( △ 9.3 )	40.7 ( △ 4.5 )
飲食・宿泊	37.9 ( △ 6.1 )	44.4 ( △ 11.1 )	34.4 ( △ 6.3 )
サービス	43.0 ( △ 5.5 )	46.9 ( △ 4.0 )	43.5 ( △ 8.0 )

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
金属	48.3 ( ▼ 15.7 )	50.0 ( ▼ 18.0 )	45.0 ( ▼ 17.0 )

注:カッコ内は前期との差(今期マイナス前期。△は上昇,▼は低下を示す。)

## (2) 来期見通し 平成24年1月～3月期

来期（平成24年1月～3月期）の全業種の主要3指標見通しDIは、企業景気DIが36.6となり、今期と比較し、1.4ポイントの上昇となった。生産加工量・販売量DIは、35.3で同0.6ポイント低下、経常利益DIは、33.9で同0.5ポイントの低下となった。

### ・来期見通し

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	36.6 (△1.4)	35.3 (▼0.6)	33.9 (▼0.5)
(製造業)	39.9 (△1.7)	37.5 (▼0.5)	34.8 (▼0.7)
(非製造業)	33.2 (△1.1)	32.8 (▼0.7)	32.9 (▼0.4)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇、▼は低下を示す。）

企業景気DIの来期見通しは、製造業、非製造業ともに上昇した。

製造業では、「商品が売れにくい」（東山区／窯業）、「円高による海外調達の増加が予想される」（南区／金属）といった、扱い品の需要が冴えないことや円高継続を懸念した受注減を見込むなどにより、窯業、金属の企業景気DIの来期見通しは低下している。

一方で、「生産調整の一巡でやや回復傾向に向かいつつある」（南区／機械）、「国内向けの売上に改善がみられる」（南区／機械）、「年末頃より少し上昇」（山科区／機械）と、これまで下落していた反動から国内需要の高まりに期待感を寄せており、機械の企業景気見通しDIが今期と比べ12.0ポイントと大きく上昇している。「僅かにだが好転し、年度後半は毎年上昇」（伏見区／印刷）、「10～12月期は震災や原発の影響により業況が下降傾向、復興が進むにつれ回復するものと期待」（北区／化学）、「震災前の業況に戻っているため」（南区／その他製造）と震災の影響が和らぐ、好転するといった見通しから印刷、化学、その他製造の企業景気見通しDIも上昇している。また地場産業の西陣、染色についても「今年の急激な減少から見れば、来年は少し落ち着くと予想している」（上京区／西陣）、「浴衣生地 of 扱いが主力で、4・5月の需要に向けて追加発注が見込める」（南区／染色）など落ち込みの反動や先行き取扱品の需要増が予測されるといったことから、8業種中6業種の企業景気の見通しDIが上昇し、製造業全体の企業景気見通しDIを押し上げた形となった。

非製造業においては、「超円高により海外旅行が増えるため、国内旅行が減少、外国人客も減少」（東山区／飲食・宿泊）、「国内景気が回復しない限り、上昇はなかなか考えにくい」（伏見区／サービス）といった、円高継続による外国人客の減少に歯止めがかからない、景気低迷がまだ続くと予測していることから、飲食・宿泊、サービスの企業景気DIの来期見通しは低下している。

その反面、「競合が激しいが未だ需要増が見込める」（中京区／情報通信）、「新規事業の着手により、新たな顧客及び売上獲得の見込み」（北区／小売）、「新販路の開拓が進みつつある」（山科区／卸売）、「太陽光発電システムの需要活発」（右京区／建設）といった声のように、扱い品によって需要増加を見込んでいるほか、新規事業への進出や積極的な営業展開といった企業努力により、情報通信、小売、卸売、建設の4業種で景況感の改善が予測されており、非製造業全体の企業景気DIの来期見通しは僅かながらも1.1ポイント上昇している。

なお、観光関連では、「観光客（全国）の購買力の低下に依るもの、観光客の減少」（上京区／その他製造）のように外国人観光客の減少や消費低迷が続くといった見通しから、企業景気DIの来期見通しは5.1ポイント低下している。

国内経済においては、復興需要を含め、震災の落ち込みからは回復傾向にあるものの、タイの洪水による部品供給の遅れや円高の定着、さらには欧州経済の不安などが景気回復の足かせとなる懸念が絶えず、今後については不透明感が残っている。

市内中小企業においては、新たな得意先の確保や扱い品の需要増に期待を寄せる企業、新規分野への進出で業況改善を図る企業など全体としては全業種での企業景気の見通しDIは微増となっている。しかしながら、受注の先行きを不安視する製造業者が多く、競争激化や消費低迷、円高継続による不安感を抱える企業も多数見られることから、景気動向は低水準のまま足踏み状態にある。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は8業種、いずれも低下と予測している業種は4業種となった。

<3指標上昇業種>	企業景気DI		生産加工量・販売量DI		経常利益DI	
印刷	44.2	( △ 7.7 )	40.0	( △ 5.4 )	40.4	( △ 3.9 )
化学	45.5	( △ 4.2 )	42.5	( △ 1.6 )	43.2	( △ 1.9 )
機械	54.0	( △ 12.0 )	50.0	( △ 4.0 )	38.0	( △ 2.0 )
その他の製造	38.8	( △ 2.2 )	37.3	( △ 1.0 )	35.7	( △ 2.4 )
卸売	26.3	( △ 1.7 )	27.6	( △ 1.3 )	30.5	( △ 1.7 )
小売	29.5	( △ 6.7 )	28.2	( △ 6.5 )	34.5	( △ 5.6 )
情報通信	50.0	( △ 7.4 )	51.9	( △ 1.9 )	44.4	( △ 3.7 )
建設	32.5	( △ 1.2 )	32.4	( △ 3.0 )	29.5	( △ 1.3 )

<3指標低下業種>	企業景気DI		生産加工量・販売量DI		経常利益DI	
窯業	40.0	( ▼ 6.4 )	40.0	( ▼ 10.0 )	36.7	( ▼ 6.6 )
金属	35.0	( ▼ 13.3 )	34.5	( ▼ 15.5 )	30.4	( ▼ 14.6 )
飲食・宿泊	32.3	( ▼ 5.6 )	30.8	( ▼ 13.6 )	28.3	( ▼ 6.1 )
サービス	37.8	( ▼ 5.2 )	36.7	( ▼ 10.2 )	33.3	( ▼ 10.2 )

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇、▼は低下を示す。）

・主要3指標DI業種別推移（前期／今期／来期見通し）

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
全業種	33.8	<b>35.2</b>	36.6	34.2	<b>35.9</b>	35.3	30.9	<b>34.4</b>	33.9
製造業	35.9	<b>38.2</b>	39.9	36.2	<b>38.0</b>	37.5	32.8	<b>35.5</b>	34.8
非製造業	31.9	<b>32.1</b>	33.2	32.3	<b>33.5</b>	32.8	29.2	<b>33.3</b>	32.9

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
製造業	35.9	<b>38.2</b>	39.9	36.2	<b>38.0</b>	37.5	32.8	<b>35.5</b>	34.8
西陣	20.8	<b>28.6</b>	33.3	32.6	<b>23.2</b>	25.9	10.9	<b>28.6</b>	27.8
染色	22.1	<b>33.8</b>	34.8	22.7	<b>33.3</b>	34.8	19.1	<b>29.4</b>	28.8
印刷	33.3	<b>36.5</b>	44.2	33.3	<b>34.6</b>	40.0	31.7	<b>36.5</b>	40.4
窯業	28.9	<b>46.4</b>	40.0	25.0	<b>50.0</b>	40.0	26.3	<b>43.3</b>	36.7
化学	41.3	<b>41.3</b>	45.5	41.3	<b>40.9</b>	42.5	34.8	<b>41.3</b>	43.2
金属	64.0	<b>48.3</b>	35.0	68.0	<b>50.0</b>	34.5	62.0	<b>45.0</b>	30.4
機械	39.6	<b>42.0</b>	54.0	39.1	<b>46.0</b>	50.0	33.3	<b>36.0</b>	38.0
その他の製造	37.5	<b>36.6</b>	38.8	34.0	<b>36.3</b>	37.3	37.5	<b>33.3</b>	35.7
非製造業	31.9	<b>32.1</b>	33.2	32.3	<b>33.5</b>	32.8	29.2	<b>33.3</b>	32.9
卸売	29.3	<b>24.6</b>	26.3	28.0	<b>26.3</b>	27.6	26.8	<b>28.8</b>	30.5
小売	26.1	<b>22.8</b>	29.5	27.7	<b>21.7</b>	28.2	27.3	<b>28.9</b>	34.5
情報通信	41.4	<b>42.6</b>	50.0	40.7	<b>50.0</b>	51.9	36.2	<b>40.7</b>	44.4
飲食・宿泊	31.8	<b>37.9</b>	32.3	33.3	<b>44.4</b>	30.8	28.1	<b>34.4</b>	28.3
サービス	37.5	<b>43.0</b>	37.8	42.9	<b>46.9</b>	36.7	35.5	<b>43.5</b>	33.3
建設	33.3	<b>31.3</b>	32.5	32.9	<b>29.4</b>	32.4	26.7	<b>28.2</b>	29.5
観光関連企業	30.2	<b>38.4</b>	33.3	30.0	<b>36.8</b>	30.8	26.8	<b>35.7</b>	29.3

・設備投資DI推移（前期／今期／来期見通し）

	設備投資DI		
	前期	今期	来期見通し
製造業	21.8	<b>19.2</b>	15.9

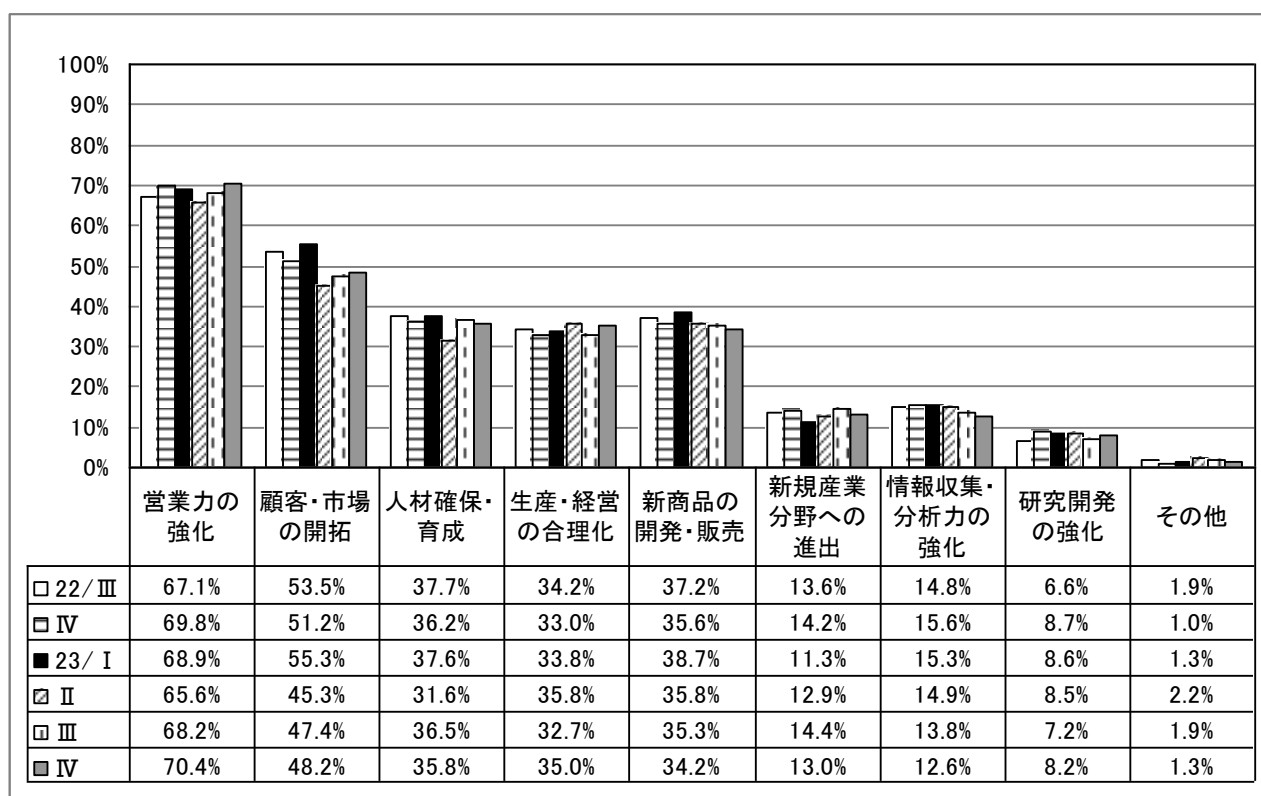
## 2. 当面の経営戦略について

### ● 「営業力の強化」を挙げる企業が70.4%で引き続きトップ。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が全体の70.4%を占め、最も多くなっている。「顧客・市場の開拓」が48.2%で続き、以下「人材確保・育成」35.8%、「生産・経営の合理化」が35.0%、「新商品の開発・販売」34.2%、の順となっている。

回答数上位5項目について前期と比較すると、「生産・経営の合理化」が2.3ポイント上昇と最も伸びた。次いで「営業力の強化」が2.2ポイント上昇し70%を超えた。また、「顧客・市場の開拓」は0.8ポイントと僅かであるが上昇した。「新商品の開発・販売」は1.1ポイント低下し、上位5項目の中では最も減少した。「人材確保・育成」は前期に4.9ポイント上昇したが、今期は0.7ポイント低下と僅かながら減少した。

その他の意見としては、「部屋を拡充したことで顧客が増える」とみている（下京区／飲食・宿泊）、「店舗増による上昇」（中京区／飲食・宿泊）のように設備投資や店舗展開によって業績向上を目指すといった意見や、「一般管理費を下げて損益が向上するように心がけていく」（伏見区／サービス）、「とにかく厳しい中、節約志向でいく」（伏見区／サービス）といった、売上よりも収益重視の経営を図るといった意見も見られた。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

### 3. 経営上の不安要素について

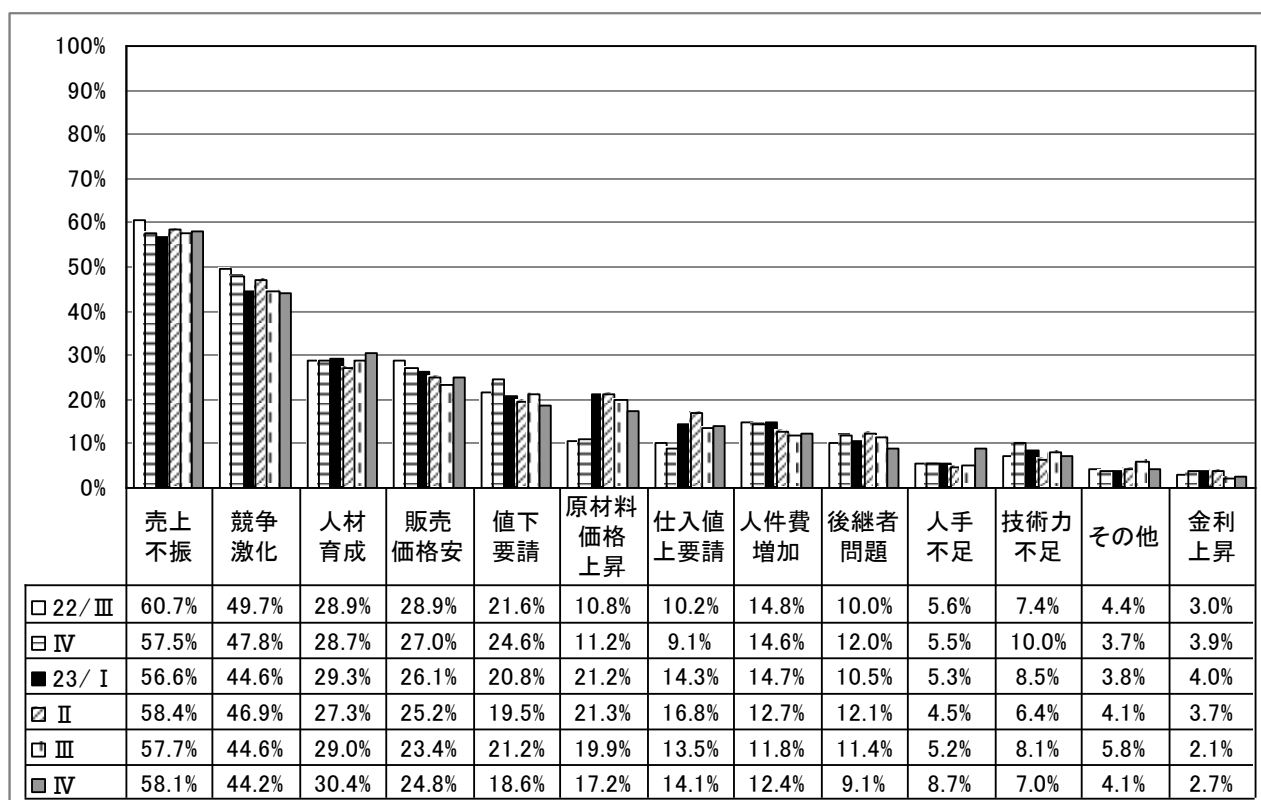
- 「売上不振」を挙げる企業が58.1%で引き続きトップ。
- 前期との比較で最も増えたのは「人手不足」で3.5ポイント増加。

経営上の不安要素としては、「売上不振」を挙げる企業が58.1%を占めており、引き続き2位の「競争激化」44.2%を引き離して最も多くなっている。以下、「人材育成」30.4%、「販売価格安」24.8%、「値下要請」18.6%、「原材料価格上昇」17.2%となり、前期と同様の順となった。

前期と比較すると、上位5項目では、「人材育成」、「販売価格安」がそれぞれ1.4%増加し、「売上不振」は、0.4ポイント上昇した。「競争激化」は、0.4ポイント低下、「値下要請」は、2.6ポイント低下し、上位5項目の中では最も減少した。

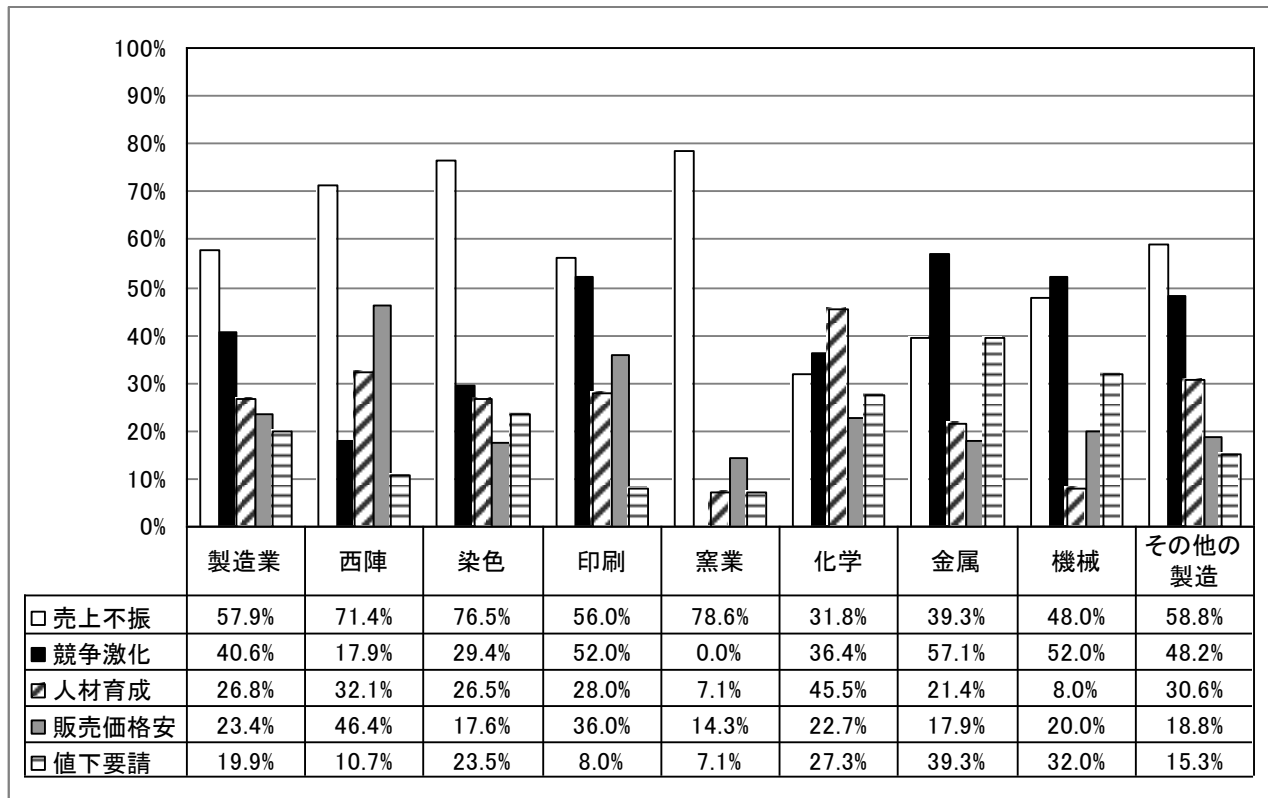
業種別では前期に続いて「売上不振」を挙げる業種が最も多く、化学、金属、機械、サービス、建設では、「競争激化」が「売上不振」を上回った。また化学は「人材育成」が最も高い結果となった。

「その他」の意見の中では、「円高・為替」が化学を中心に6社あったほか、「販売先の支払遅延により、立替払の増加、仕入先からは現金払の要請と手形サイトの短縮（伏見区/卸売）、「支払遅延等」（中京区/建設）といった業績不振によって資金繰りに困窮する企業の増加や、「消費税、法人税増加」（上京区/西陣）を不安とする企業があった。

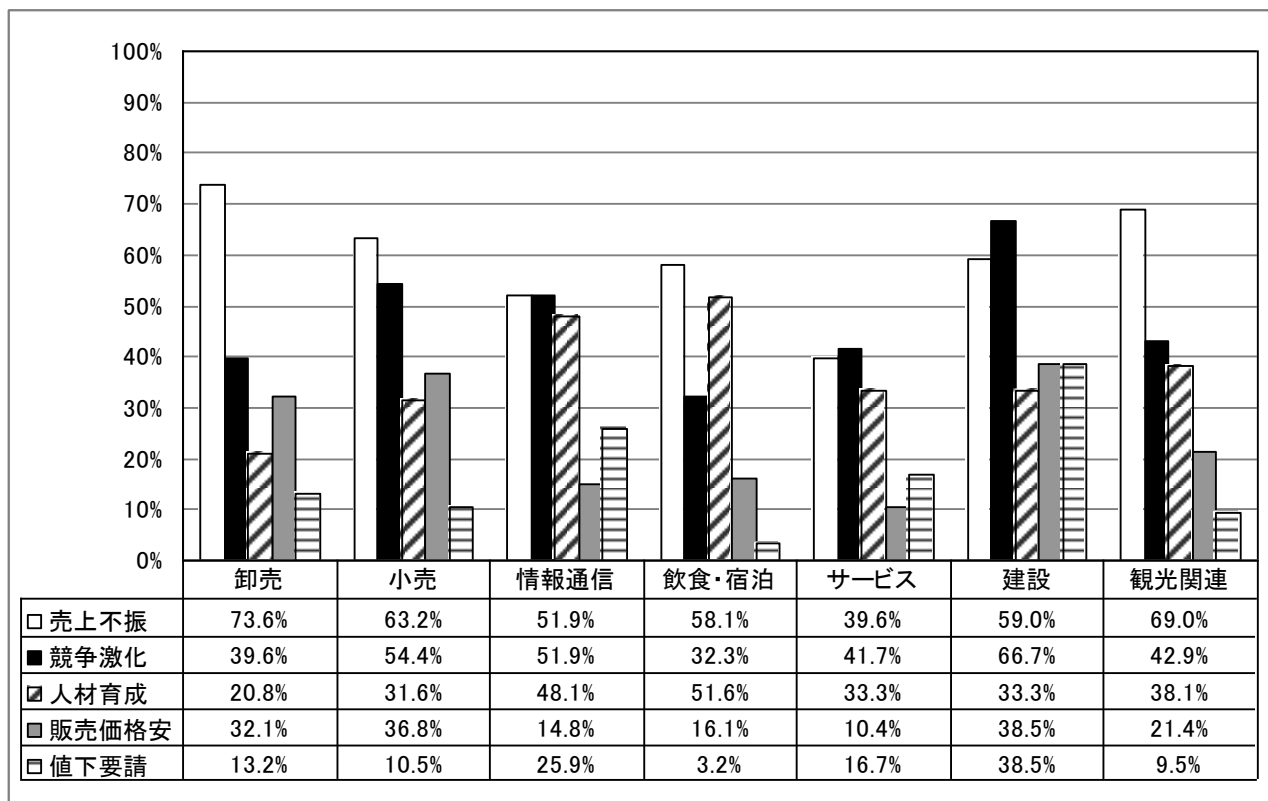


注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答



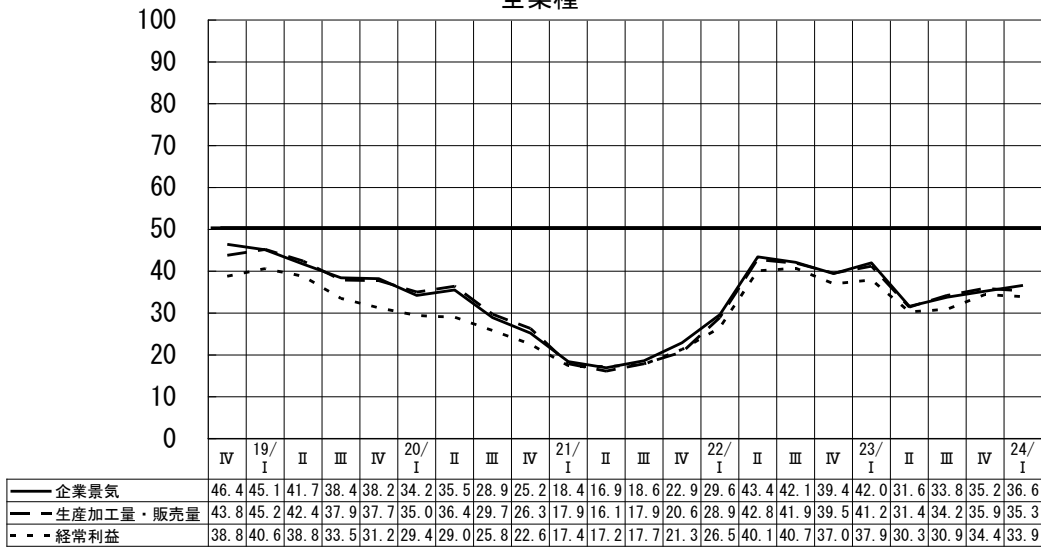
・経営上の不安要素・非製造業主要回答





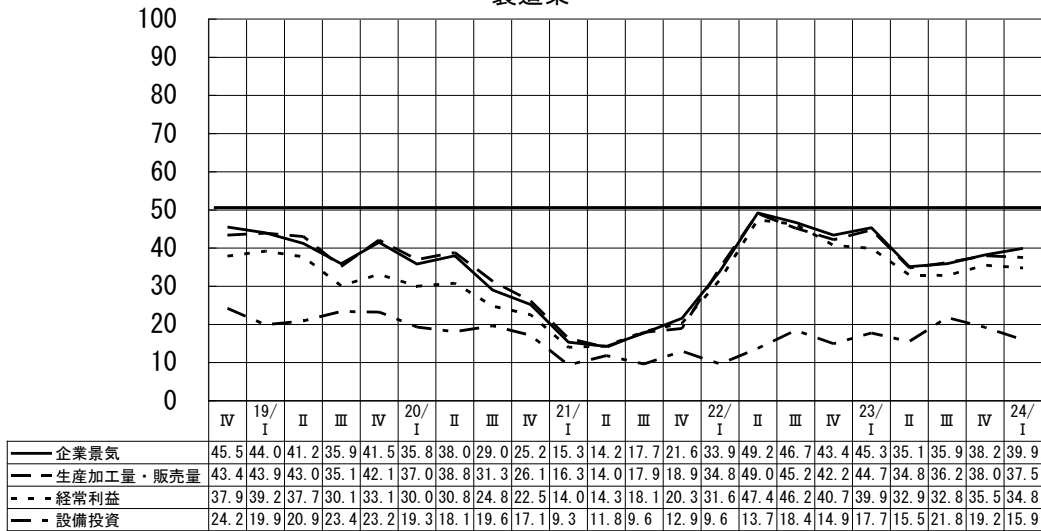
参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。

全業種



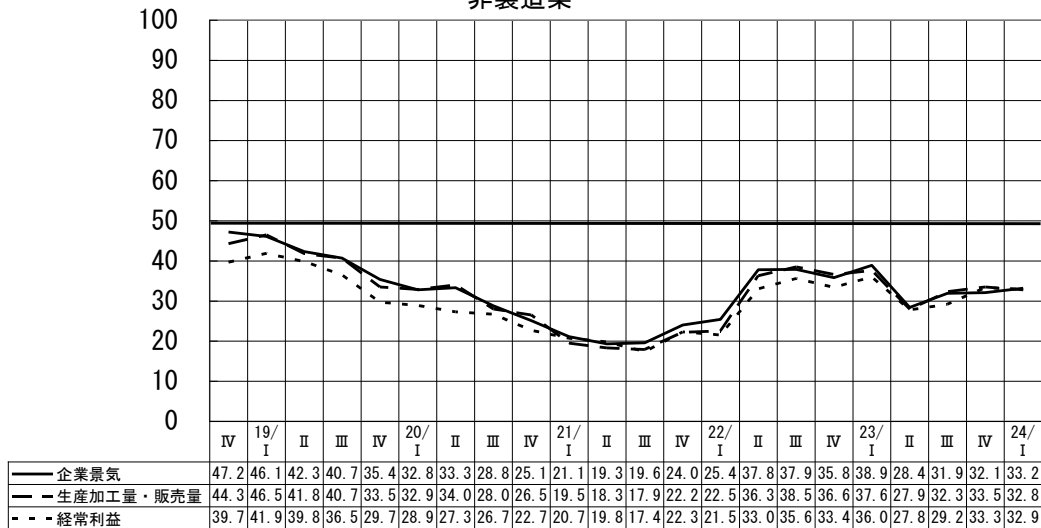
(見通し)

製造業



(見通し)

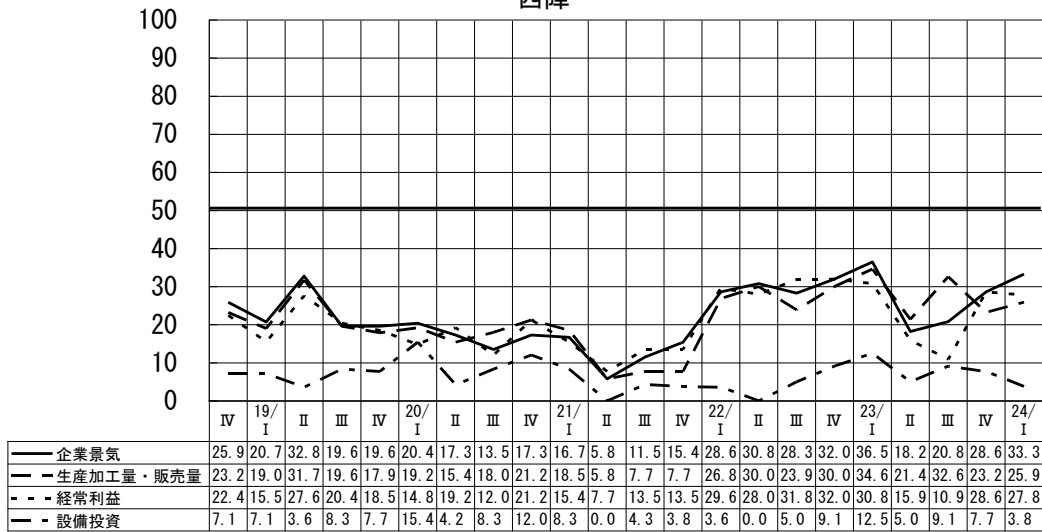
非製造業



(見通し)

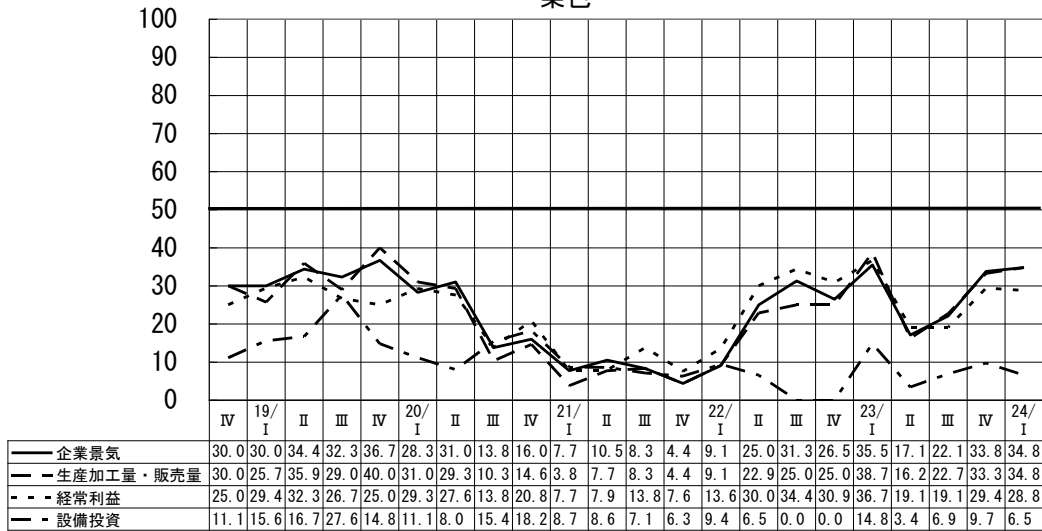
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



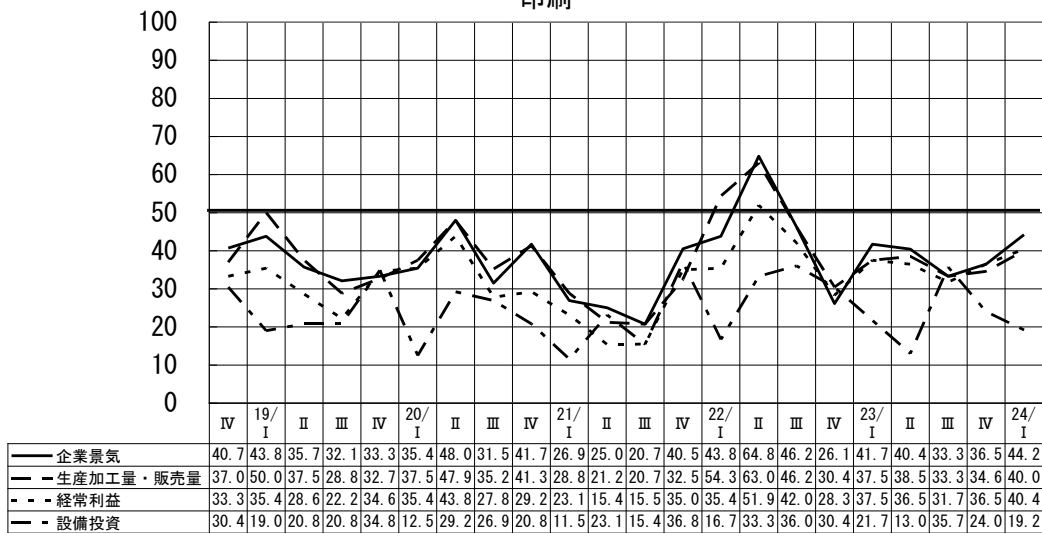
(見通し)

染色



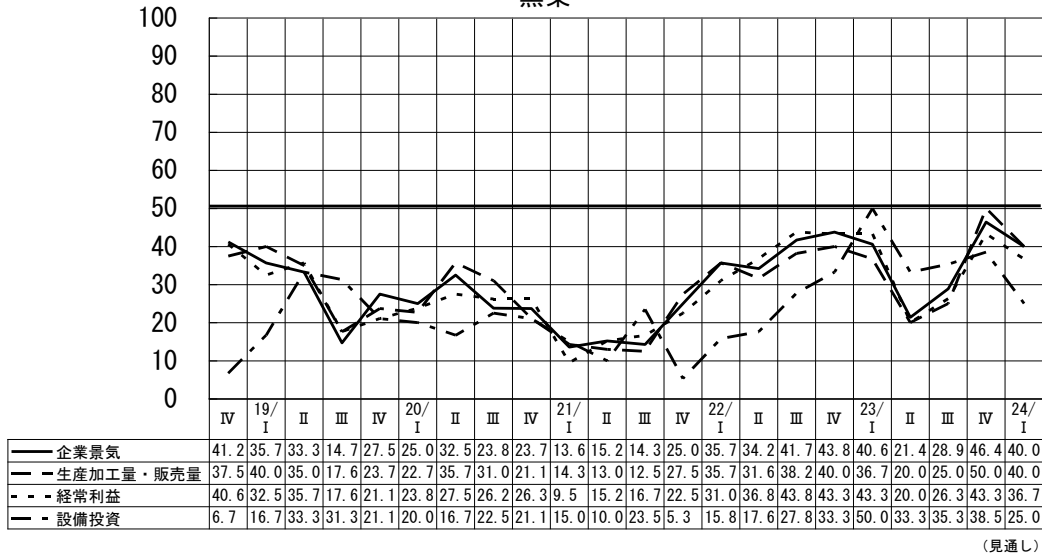
(見通し)

印刷

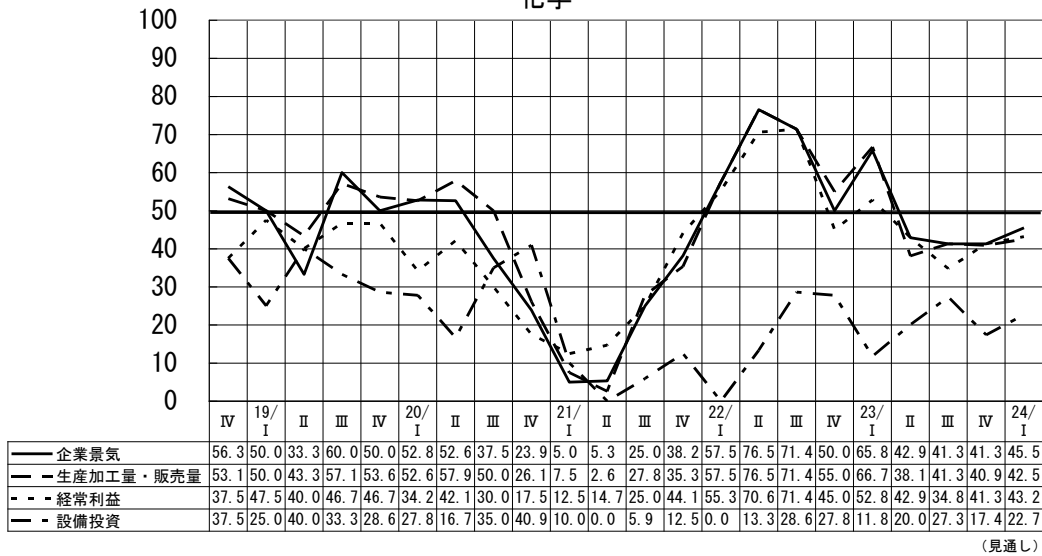


(見通し)

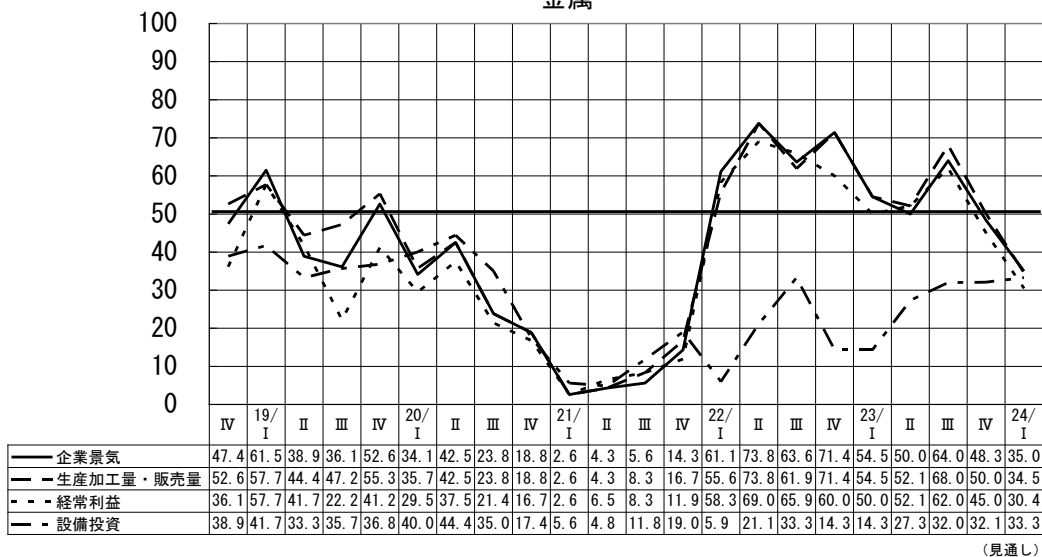
### 窯業



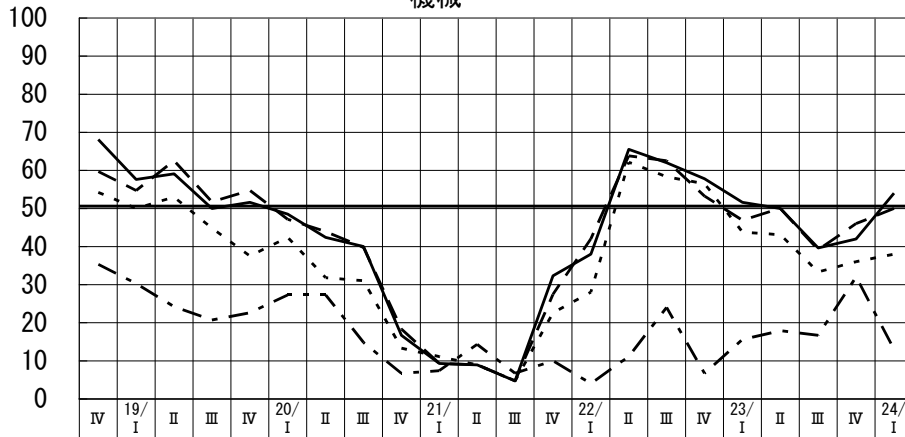
### 化学



### 金属



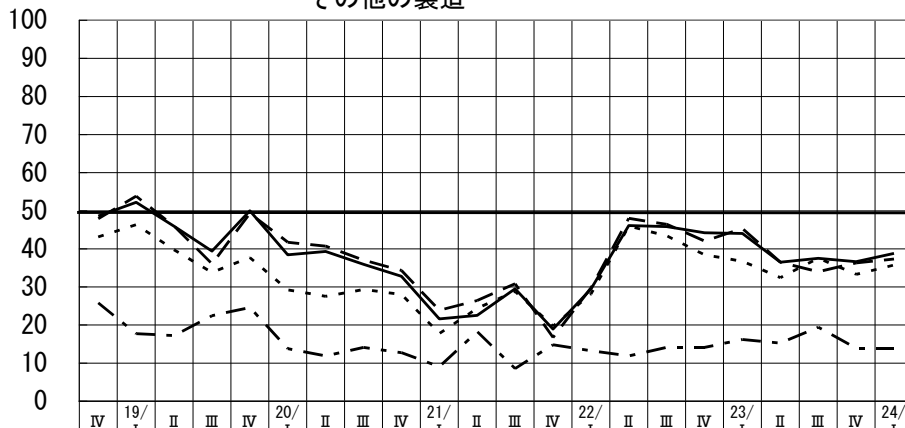
### 機械



	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I
— 企業景気	68.1	57.6	59.1	50.0	51.6	48.5	42.4	40.0	16.7	9.3	8.9	4.7	32.3	38.0	65.5	62.0	57.8	51.6	50.0	39.6	42.0	54.0
- - 生産加工量・販売量	59.7	54.7	62.5	51.7	54.7	47.1	43.9	39.7	18.3	9.3	8.9	4.7	27.4	42.0	63.8	62.5	53.2	46.9	50.0	39.1	46.0	50.0
- - - 経常利益	54.2	50.0	53.0	44.8	37.5	42.4	31.8	31.0	13.3	11.1	8.9	4.7	22.6	28.0	62.1	58.3	56.5	43.8	43.1	33.3	36.0	38.0
- - 設備投資	35.3	30.3	24.2	20.7	22.6	27.3	27.3	14.8	6.7	7.4	14.3	6.7	10.0	4.0	11.1	24.0	6.7	15.6	17.9	16.7	32.0	13.0

(見通し)

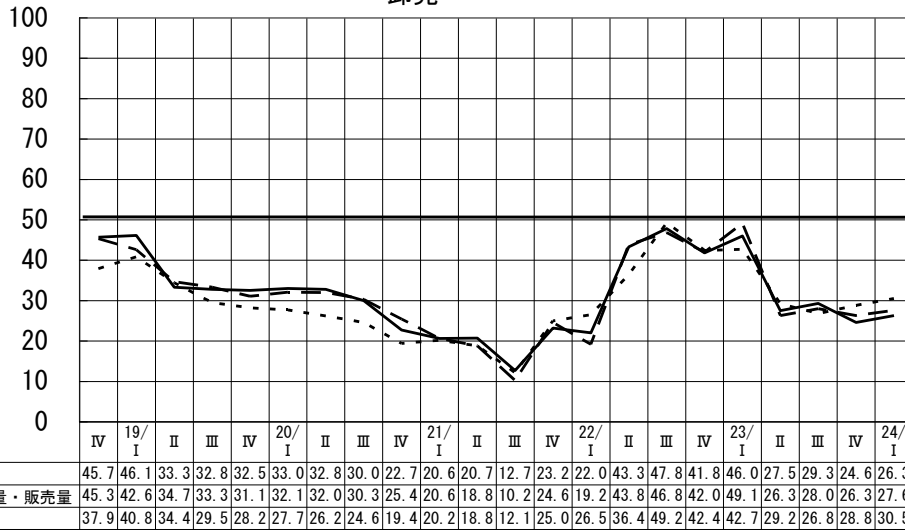
### その他の製造



	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I
— 企業景気	48.6	52.2	45.9	39.4	50.0	38.4	39.3	35.9	32.8	21.6	22.5	29.5	18.9	29.4	46.1	45.8	44.2	44.0	36.5	37.5	36.6	38.8
- - 生産加工量・販売量	47.9	53.8	45.9	36.0	49.3	41.7	40.7	37.0	34.3	23.8	26.4	30.8	16.7	29.7	48.0	46.4	42.0	45.3	36.5	34.0	36.3	37.3
- - - 経常利益	43.1	46.3	39.7	33.8	37.7	29.2	27.5	29.3	28.0	17.7	24.3	28.8	19.7	28.1	45.9	43.4	38.4	36.7	32.4	37.5	33.3	35.7
- - 設備投資	25.8	17.7	17.2	22.4	24.6	13.8	11.9	14.1	12.7	9.0	18.2	8.5	14.8	13.2	11.9	14.1	14.1	16.2	15.2	19.4	13.9	13.9

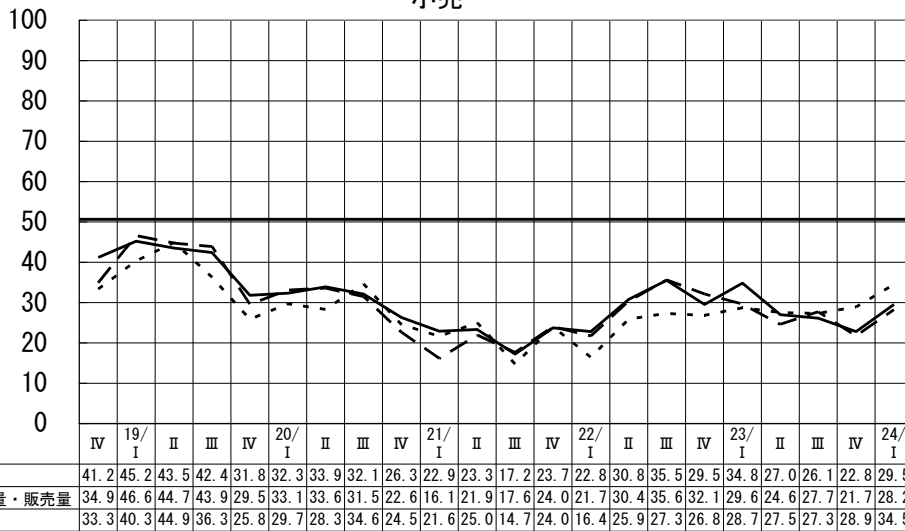
(見通し)

### 卸売



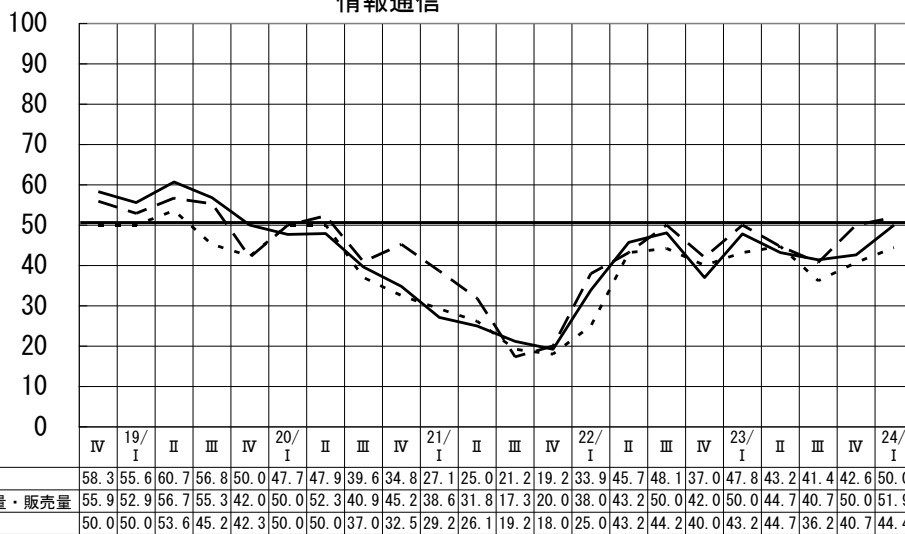
(見通し)

### 小売



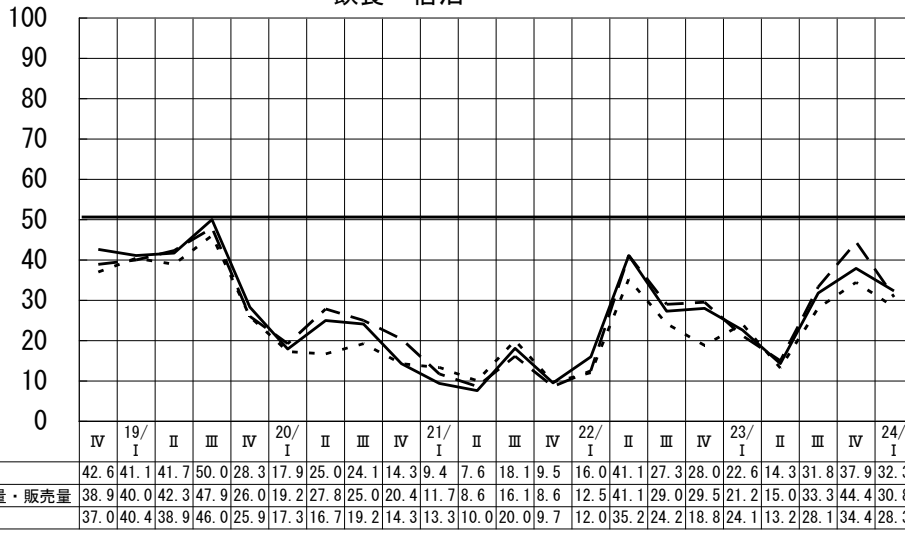
(見通し)

### 情報通信



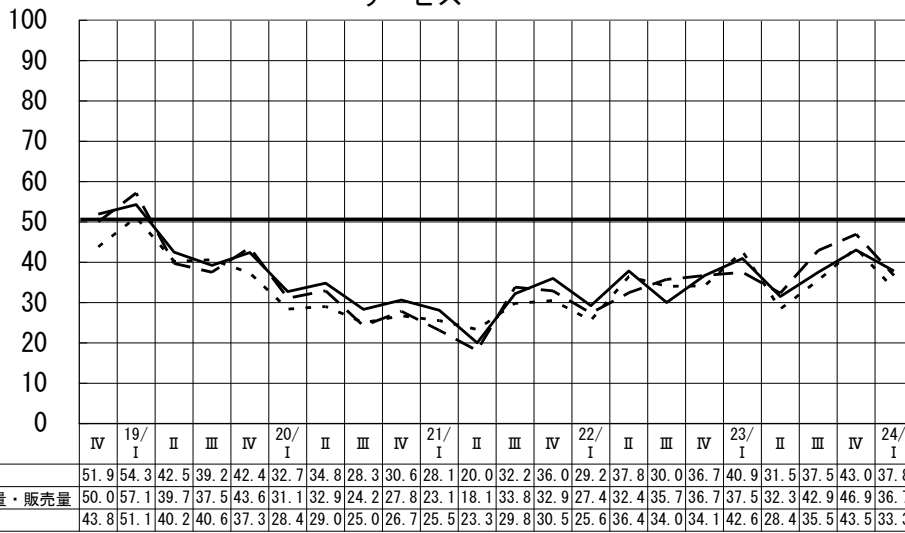
(見通し)

### 飲食・宿泊



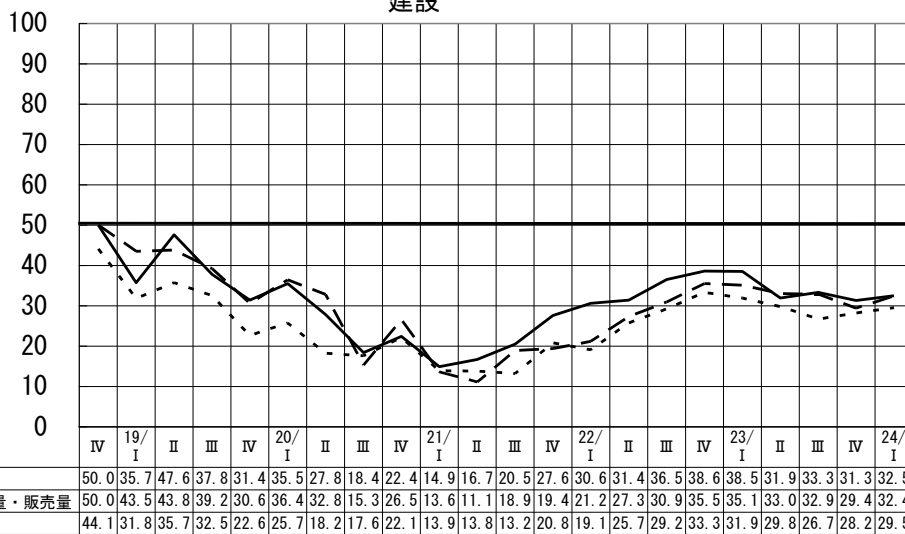
(見通し)

### サービス



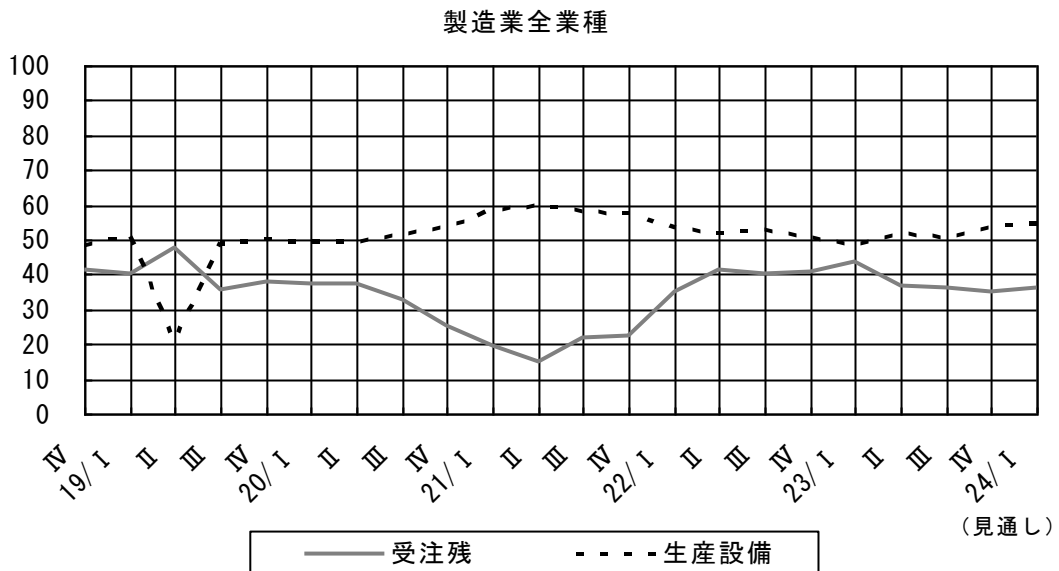
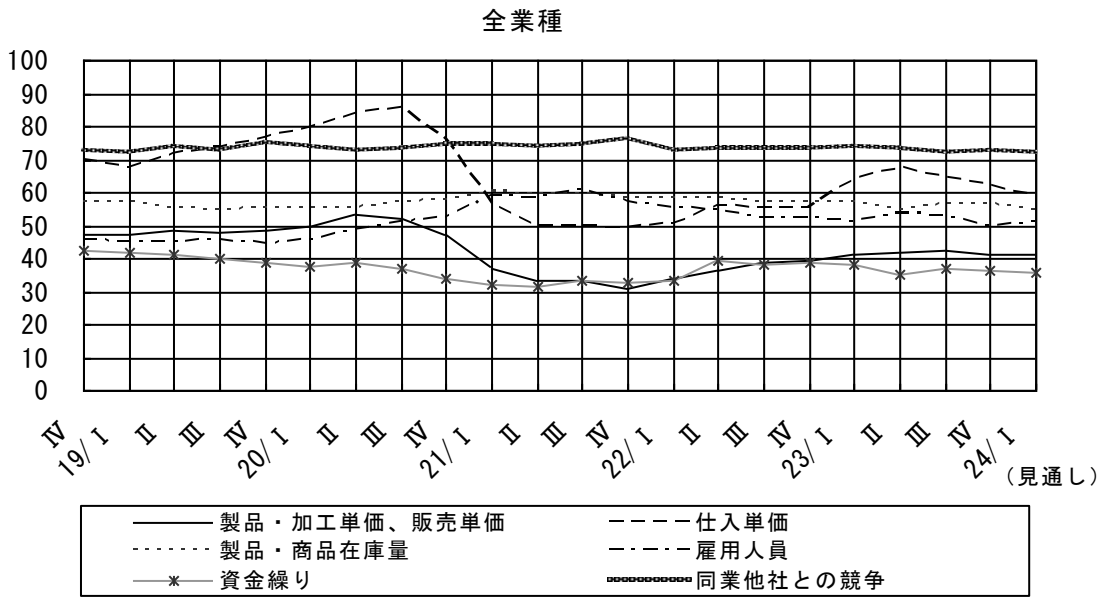
(見通し)

### 建設

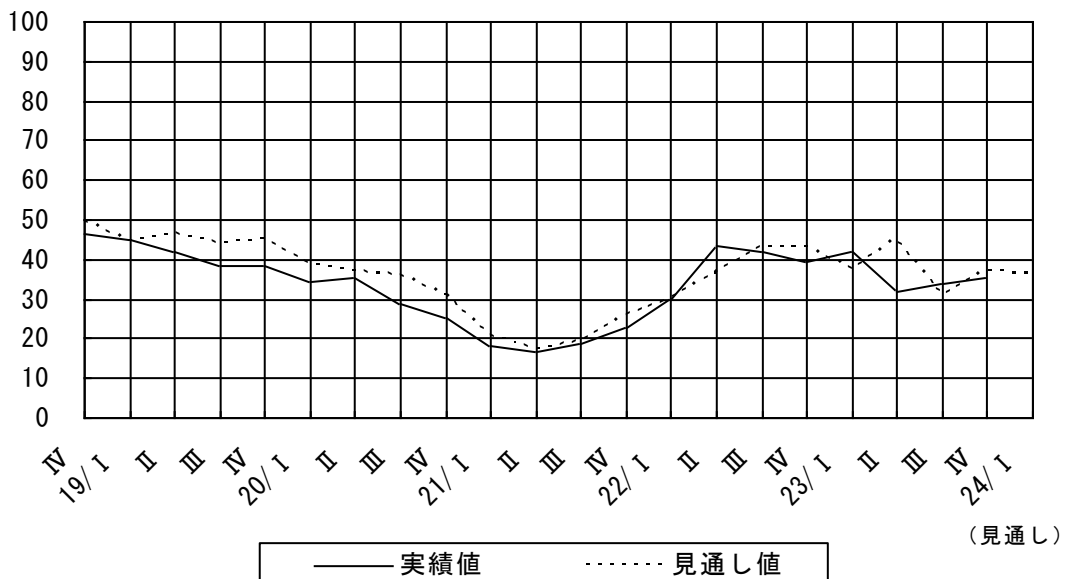


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



## 調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	17
1. 企業景気.....	17
2. 生産加工量・販売量.....	19
3. 経常利益.....	21
4. 製品・加工単価, 販売単価.....	23
5. 仕入単価.....	25
6. 製品・商品在庫量.....	27
7. 雇用人員.....	29
8. 資金繰り.....	31
9. 同業他社との競争.....	33
10. 受注残.....	35
11. 生産設備.....	36
12. 設備投資.....	37
(2) 当面の経営戦略について.....	38
(3) 経営上の不安要素について.....	47
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	57

### 注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが低下していることを示す。
- ・ 「△」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが上昇していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。



# (1) 景気動向について

## 1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

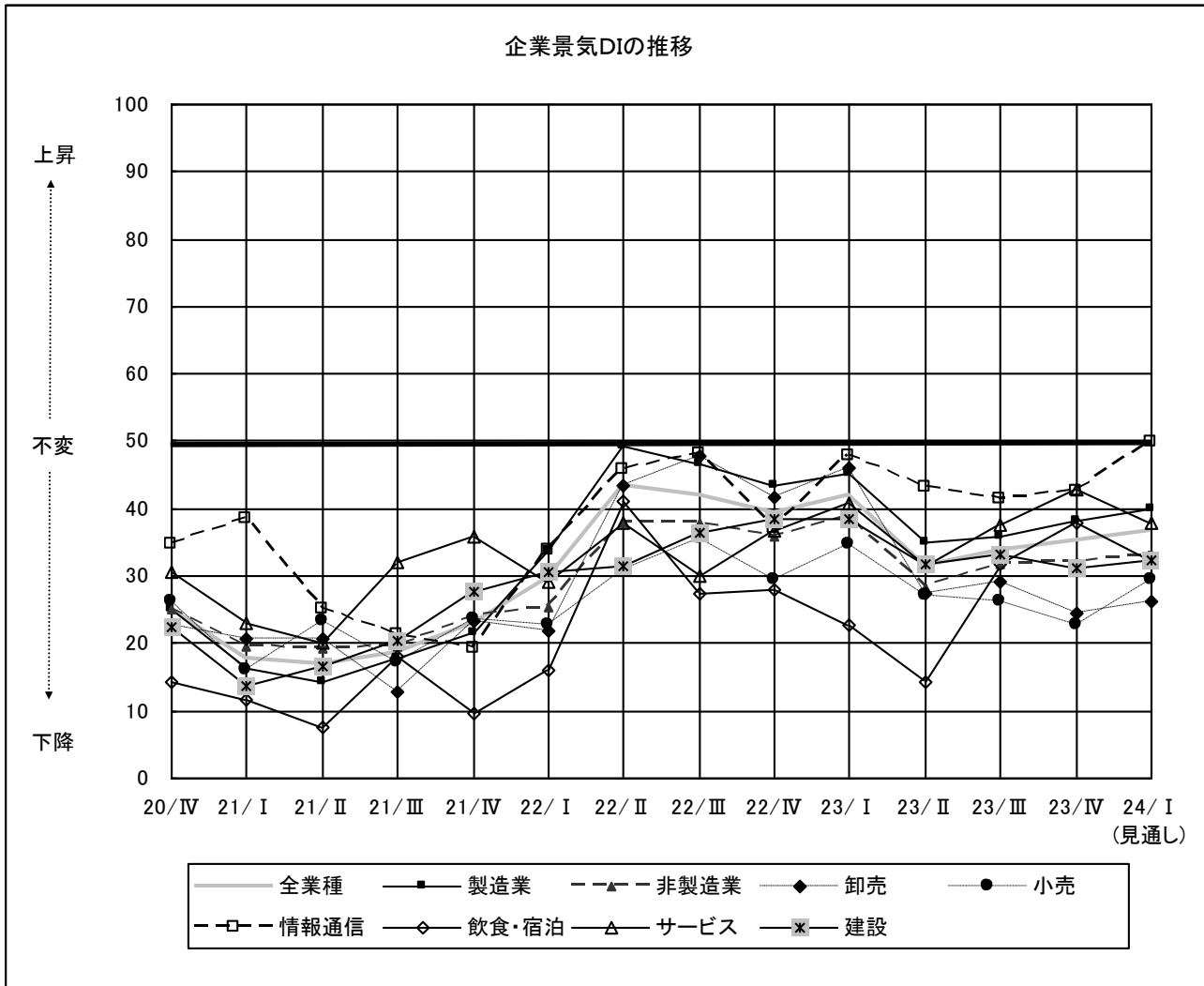


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

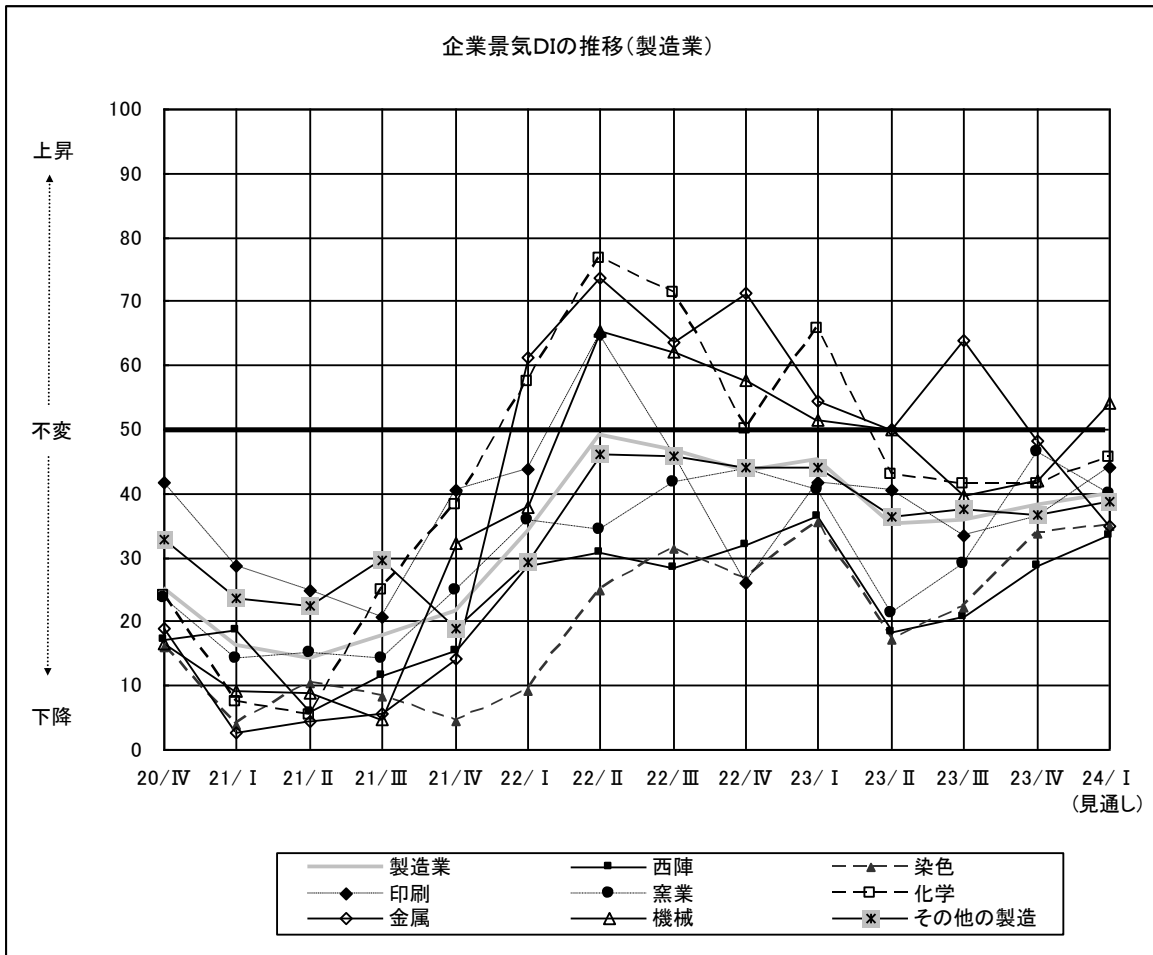


表1. 企業景気DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し		
			前期比	今期比	
全業種	33.8	35.2	△ 1.4	36.6	△ 1.4
製造業	35.9	38.2	△ 2.3	39.9	△ 1.7
西陣	20.8	28.6	△ 7.8	33.3	△ 4.7
染色	22.1	33.8	△ 11.7	34.8	△ 1.0
印刷	33.3	36.5	△ 3.2	44.2	△ 7.7
窯業	28.9	46.4	△ 17.5	40.0	▼ 6.4
化学	41.3	41.3	△ 0.0	45.5	△ 4.2
金属	64.0	48.3	▼ 15.7	35.0	▼ 13.3
機械	39.6	42.0	△ 2.4	54.0	△ 12.0
その他の製造	37.5	36.6	▼ 0.9	38.8	△ 2.2
非製造業	31.9	32.1	△ 0.2	33.2	△ 1.1
卸売	29.3	24.6	▼ 4.7	26.3	△ 1.7
小売	26.1	22.8	▼ 3.3	29.5	△ 6.7
情報通信	41.4	42.6	△ 1.2	50.0	△ 7.4
飲食・宿泊	31.8	37.9	△ 6.1	32.3	▼ 5.6
サービス	37.5	43.0	△ 5.5	37.8	▼ 5.2
建設	33.3	31.3	▼ 2.0	32.5	△ 1.2
観光関連	30.2	38.4	△ 8.2	33.3	▼ 5.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

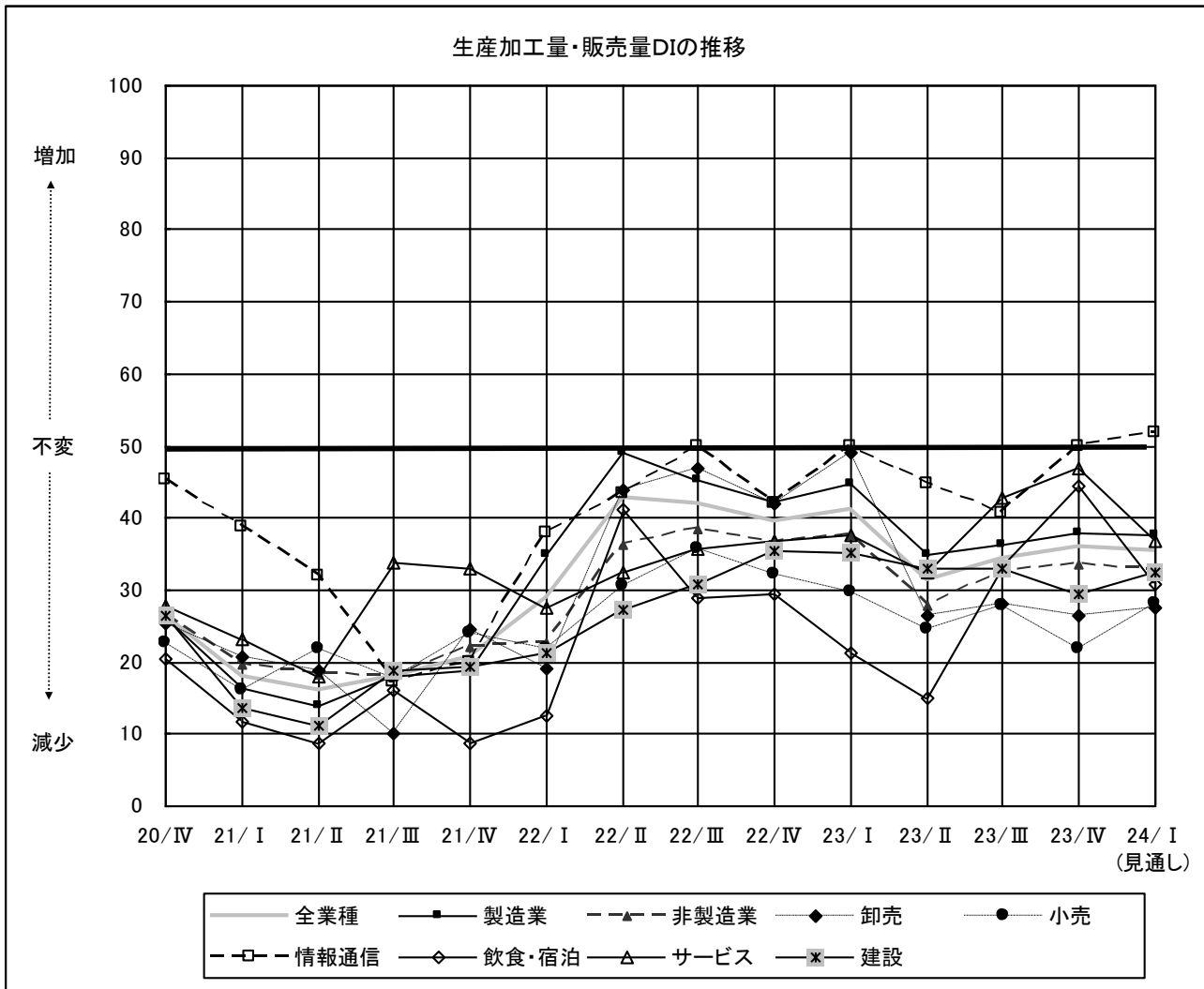


図 4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

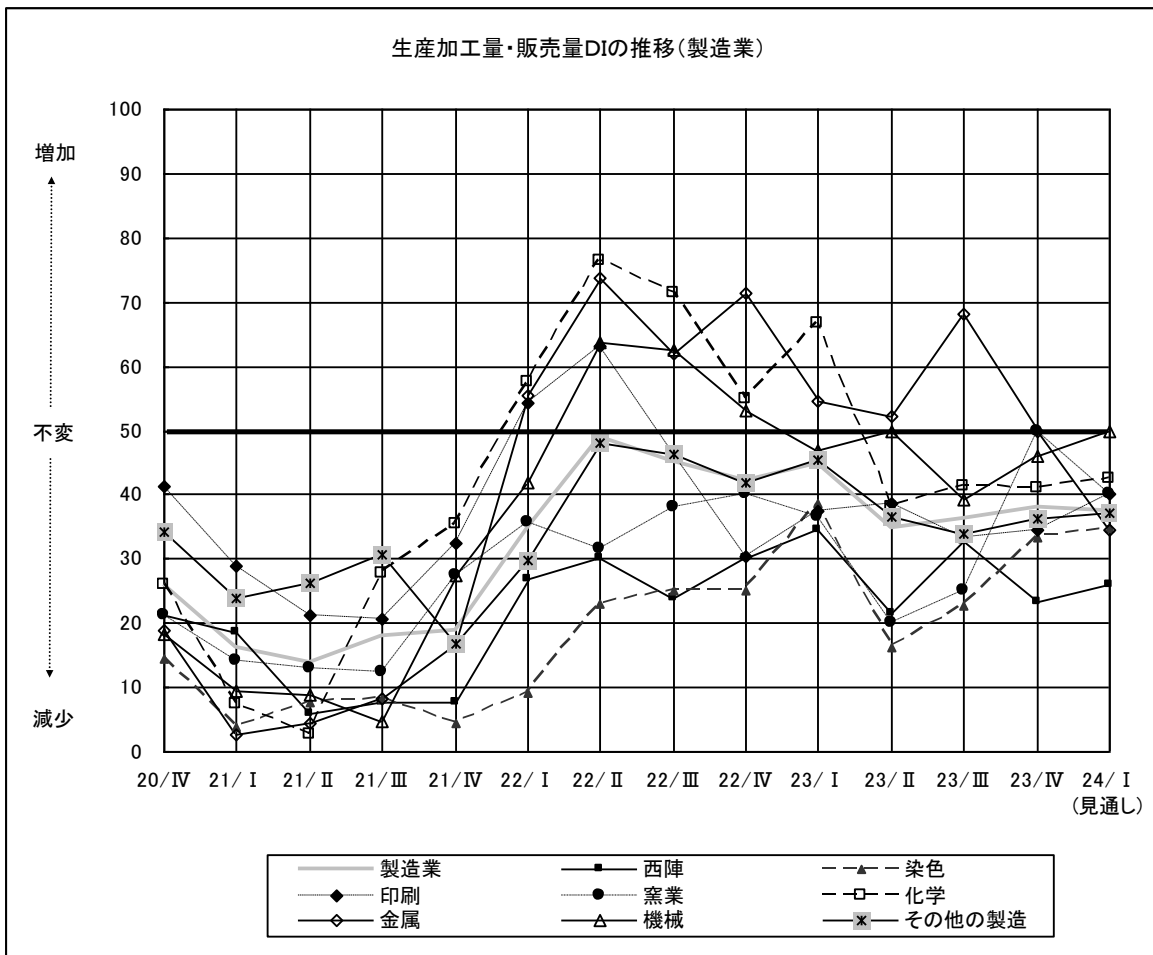


表 2. 生産加工量・販売量DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	34.2	35.9	△ 1.7	35.3	▼ 0.6
製造業	36.2	38.0	△ 1.8	37.5	▼ 0.5
西陣	32.6	23.2	▼ 9.4	25.9	△ 2.7
染色	22.7	33.3	△ 10.6	34.8	△ 1.5
印刷	33.3	34.6	△ 1.3	40.0	△ 5.4
窯業	25.0	50.0	△ 25.0	40.0	▼ 10.0
化学	41.3	40.9	▼ 0.4	42.5	△ 1.6
金属	68.0	50.0	▼ 18.0	34.5	▼ 15.5
機械	39.1	46.0	△ 6.9	50.0	△ 4.0
その他の製造	34.0	36.3	△ 2.3	37.3	△ 1.0
非製造業	32.3	33.5	△ 1.2	32.8	▼ 0.7
卸売	28.0	26.3	▼ 1.7	27.6	△ 1.3
小売	27.7	21.7	▼ 6.0	28.2	△ 6.5
情報通信	40.7	50.0	△ 9.3	51.9	△ 1.9
飲食・宿泊	33.3	44.4	△ 11.1	30.8	▼ 13.6
サービス	42.9	46.9	△ 4.0	36.7	▼ 10.2
建設	32.9	29.4	▼ 3.5	32.4	△ 3.0
観光関連	30.0	36.8	△ 6.8	30.8	▼ 6.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

### 3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移 (全体)

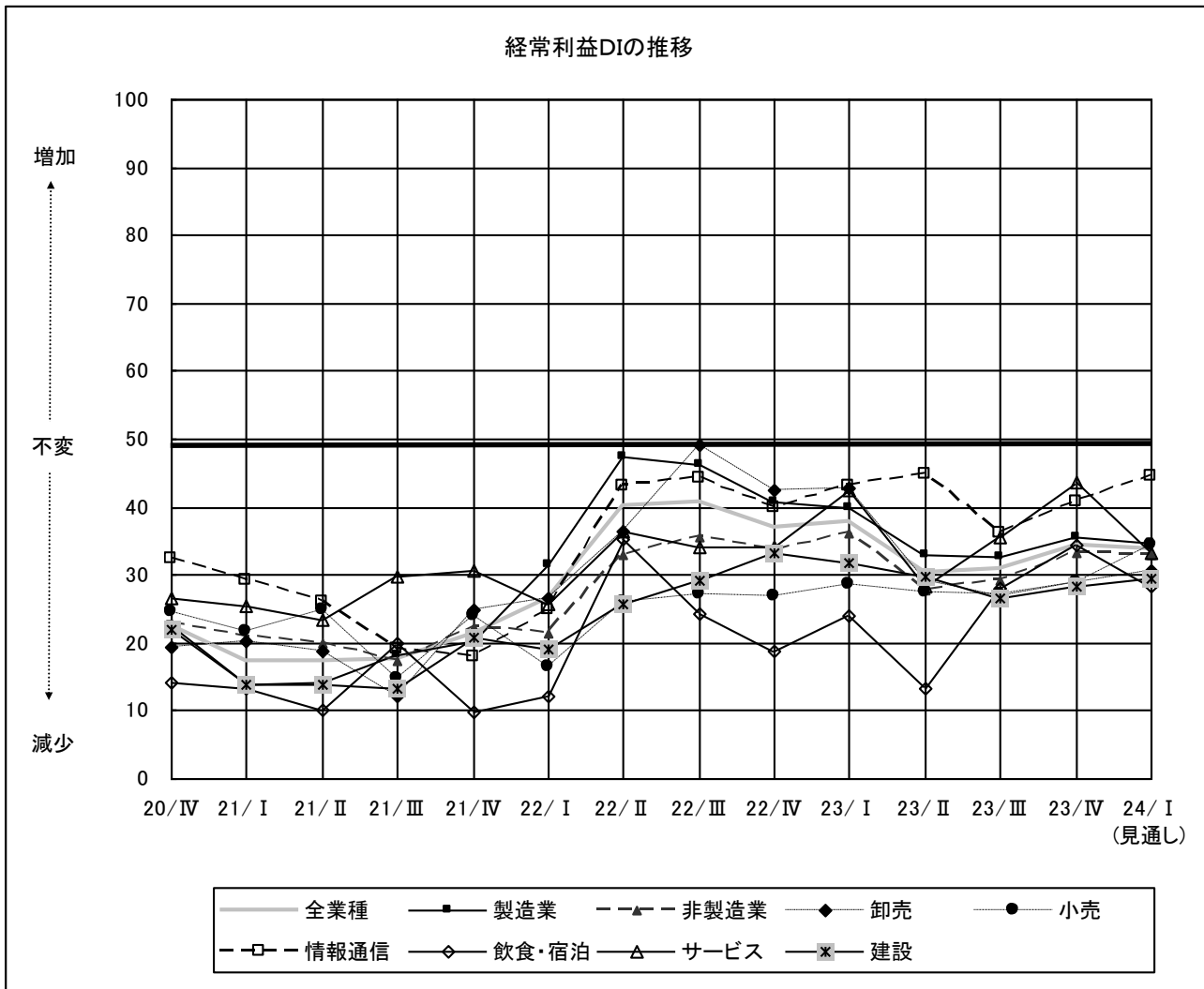


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

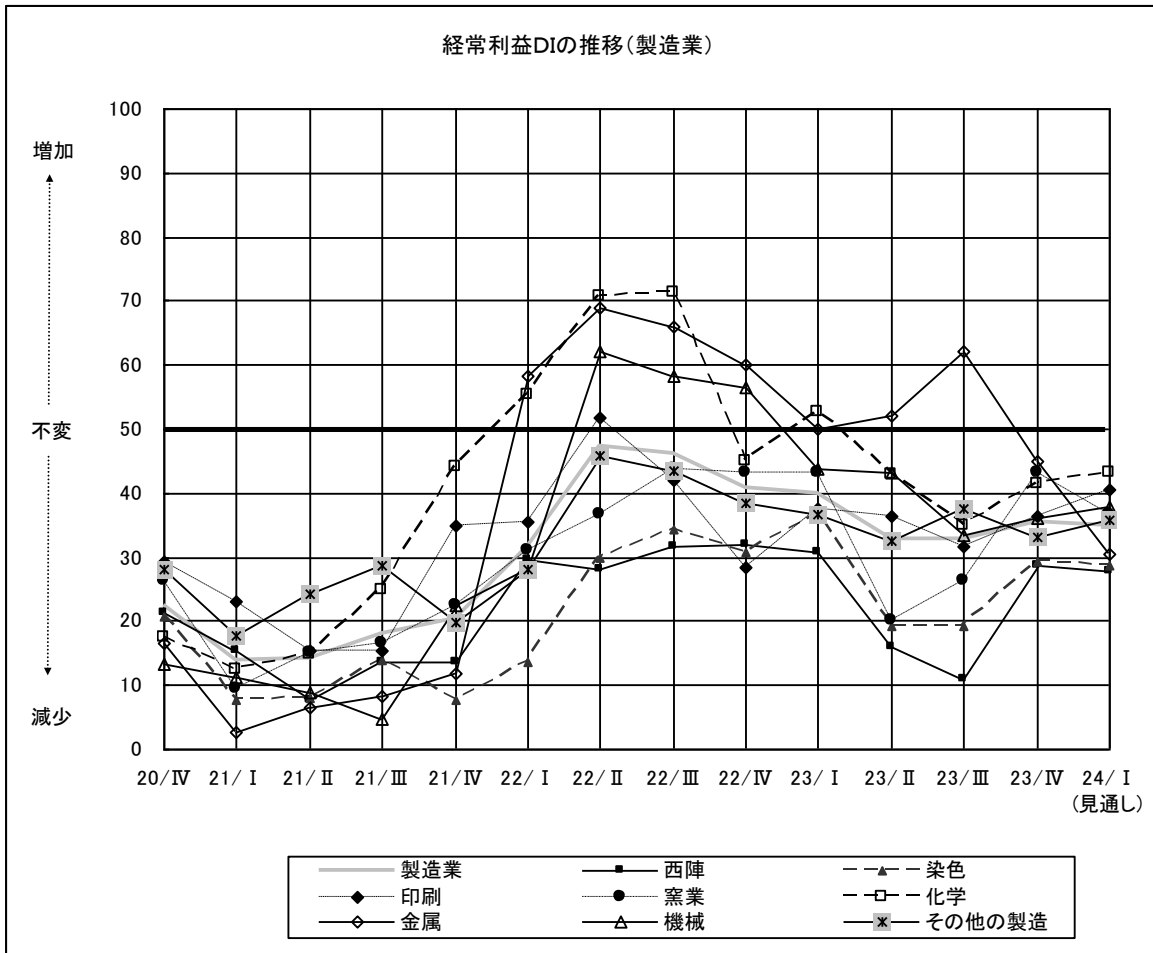


表3. 経常利益DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	30.9	34.4	△ 3.5	▼ 0.5
製造業	32.8	35.5	△ 2.7	▼ 0.7
西陣	10.9	28.6	△ 17.7	▼ 0.8
染色	19.1	29.4	△ 10.3	▼ 0.6
印刷	31.7	36.5	△ 4.8	△ 3.9
窯業	26.3	43.3	△ 17.0	▼ 6.6
化学	34.8	41.3	△ 6.5	△ 1.9
金属	62.0	45.0	▼ 17.0	▼ 14.6
機械	33.3	36.0	△ 2.7	△ 2.0
その他の製造	37.5	33.3	▼ 4.2	△ 2.4
非製造業	29.2	33.3	△ 4.1	▼ 0.4
卸売	26.8	28.8	△ 2.0	△ 1.7
小売	27.3	28.9	△ 1.6	△ 5.6
情報通信	36.2	40.7	△ 4.5	△ 3.7
飲食・宿泊	28.1	34.4	△ 6.3	▼ 6.1
サービス	35.5	43.5	△ 8.0	▼ 10.2
建設	26.7	28.2	△ 1.5	△ 1.3
観光関連	26.8	35.7	△ 8.9	▼ 6.4

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

#### 4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

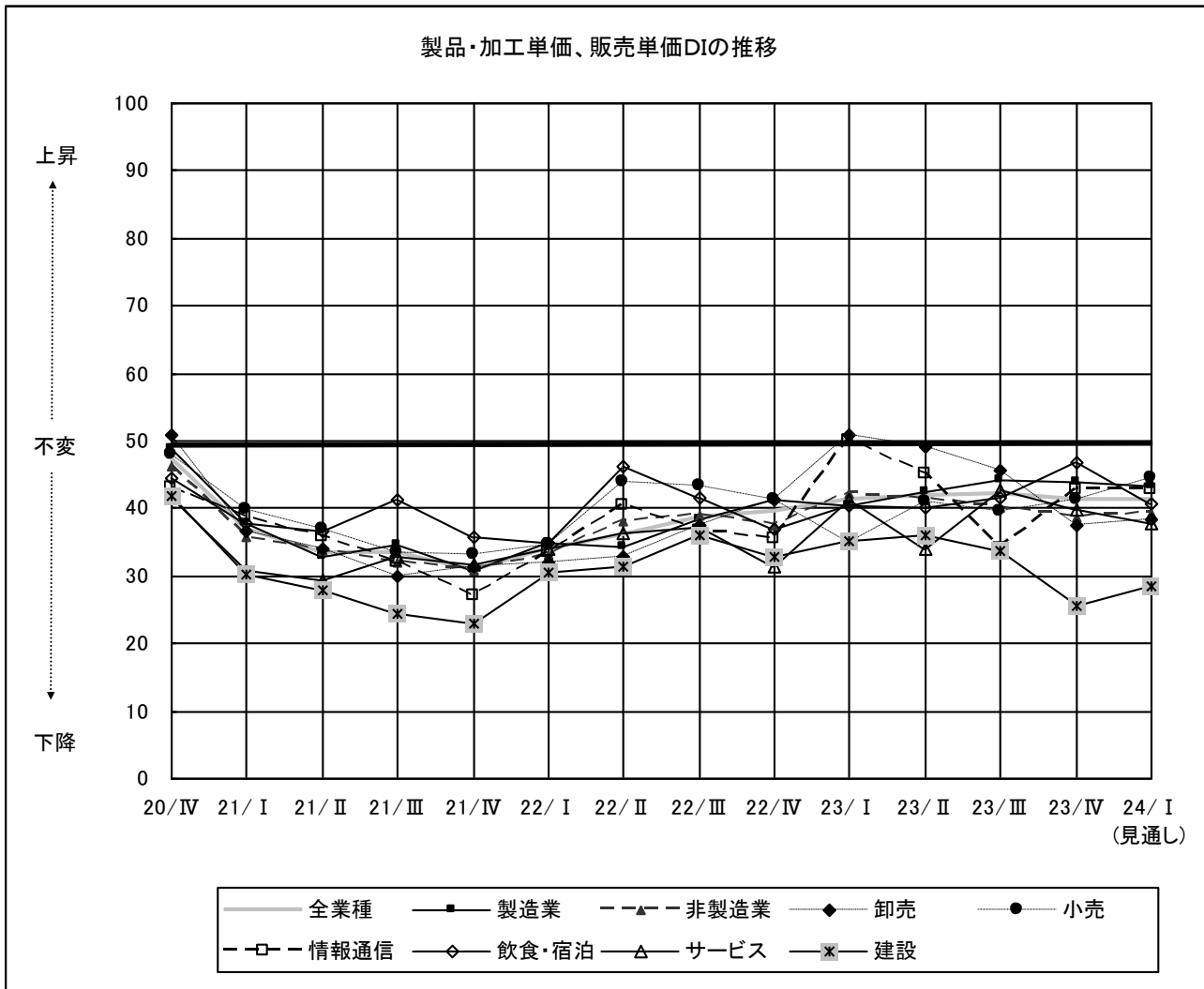


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

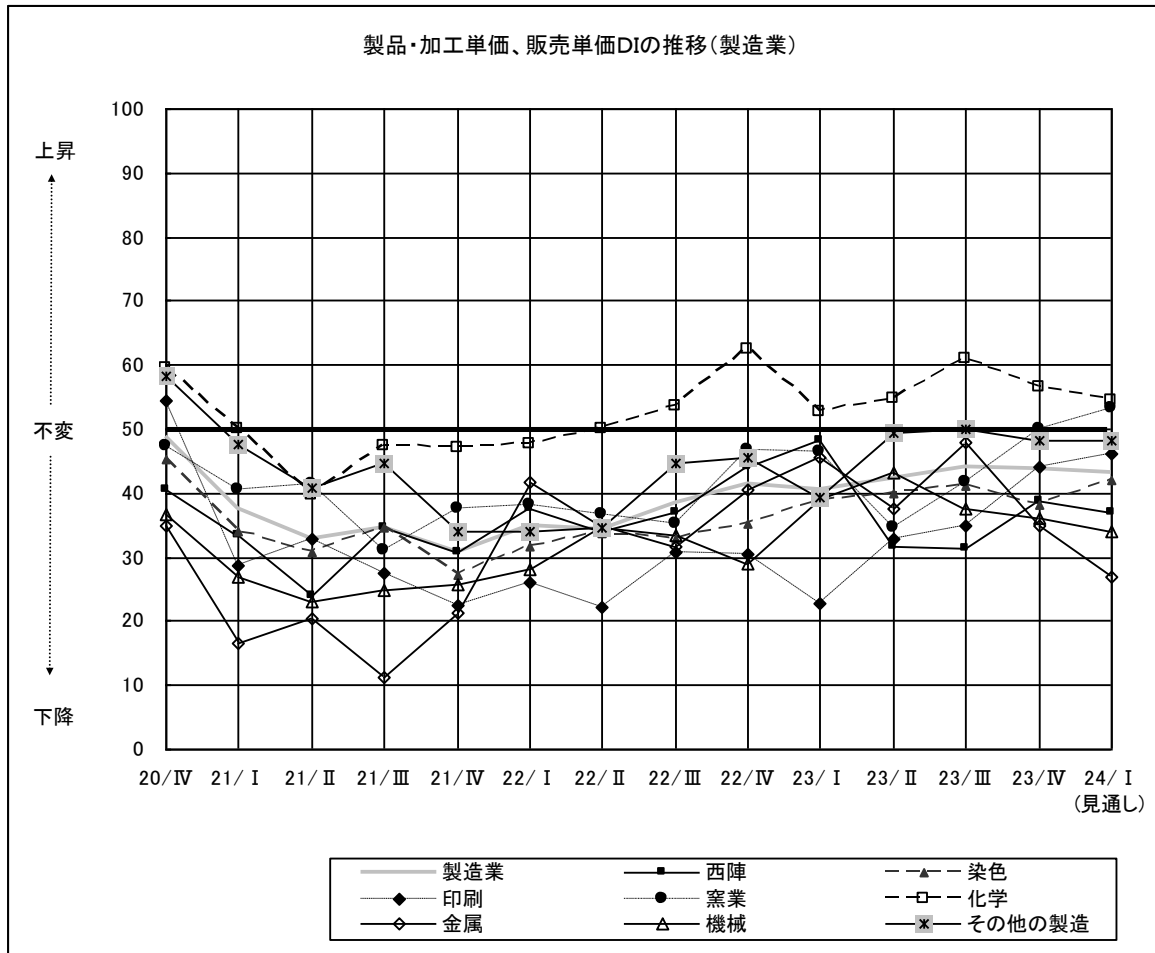


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	42.2	41.4	▼ 0.8	41.3	▼ 0.1
製造業	44.2	43.8	▼ 0.4	43.2	▼ 0.6
西陣	31.3	38.9	△ 7.6	37.0	▼ 1.9
染色	41.2	38.2	▼ 3.0	41.9	△ 3.7
印刷	35.0	44.2	△ 9.2	46.2	△ 2.0
窯業	41.7	50.0	△ 8.3	53.3	△ 3.3
化学	60.9	56.5	▼ 4.4	54.5	▼ 2.0
金属	48.0	35.0	▼ 13.0	26.8	▼ 8.2
機械	37.5	36.0	▼ 1.5	34.0	▼ 2.0
その他の製造	50.0	48.2	▼ 1.8	48.2	△ 0.0
非製造業	40.2	38.7	▼ 1.5	39.1	△ 0.4
卸売	45.7	37.5	▼ 8.2	38.4	△ 0.9
小売	39.6	41.2	△ 1.6	44.6	△ 3.4
情報通信	33.9	42.6	△ 8.7	42.6	△ 0.0
飲食・宿泊	41.7	46.7	△ 5.0	40.7	▼ 6.0
サービス	42.6	39.7	▼ 2.9	37.9	▼ 1.8
建設	33.8	25.7	▼ 8.1	28.6	△ 2.9
観光関連	43.9	47.5	△ 3.6	47.5	△ 0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。



## 5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

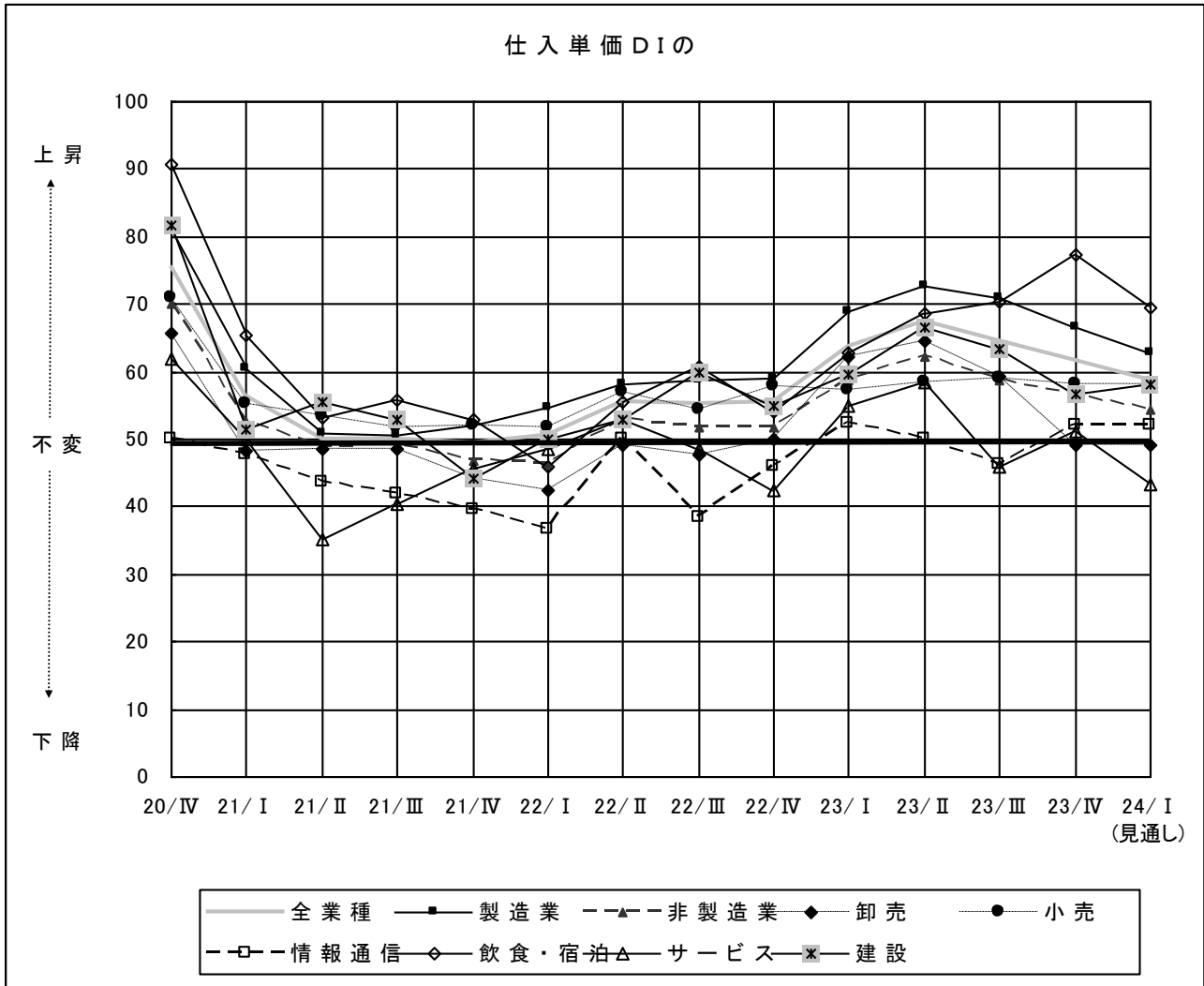


図 10. 仕入単価DIの推移（製造業）

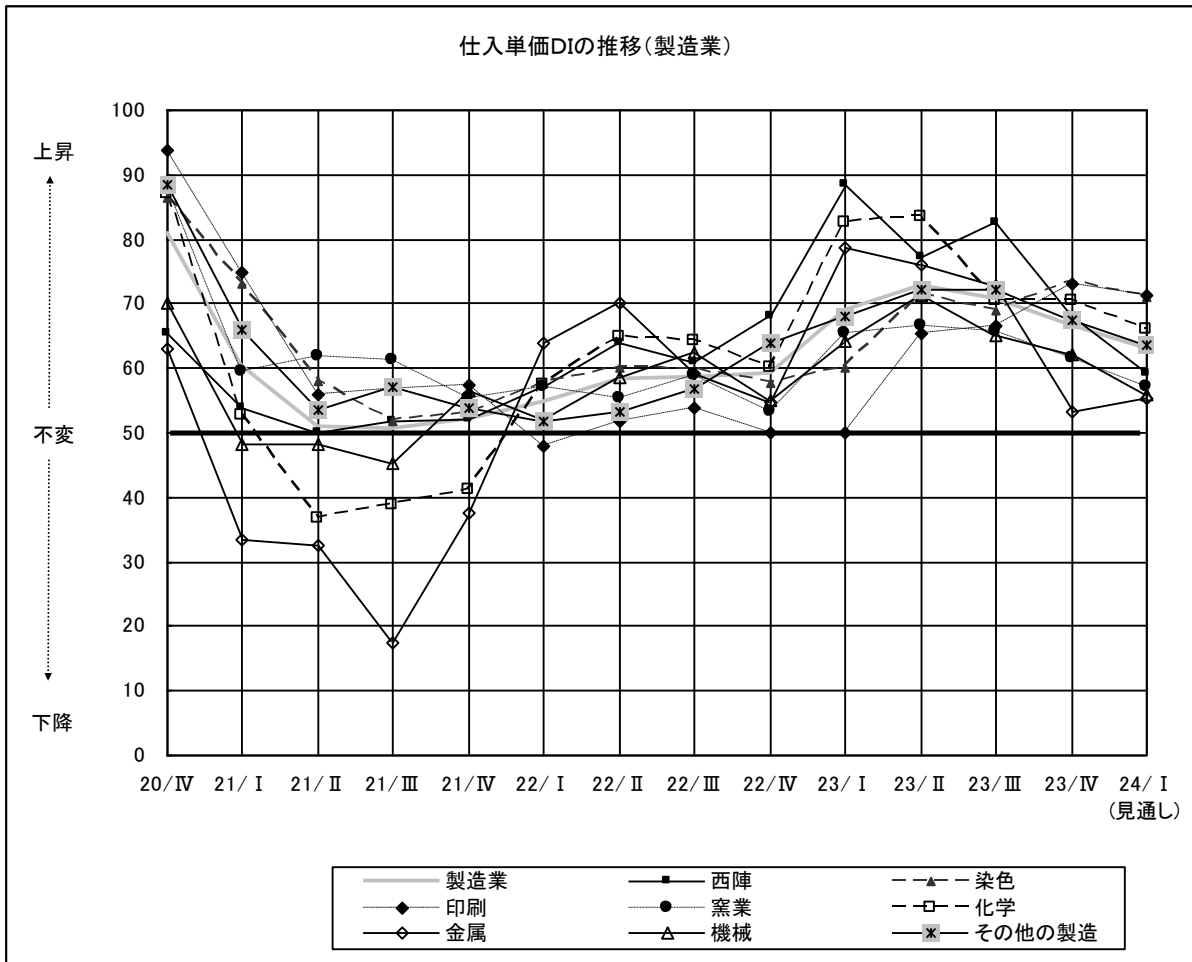


表 5. 仕入単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	64.5	61.7	▼ 2.8	58.8
製造業	70.8	66.7	▼ 4.1	62.9
西陣	82.6	67.9	▼ 14.7	59.3
染色	68.8	73.4	△ 4.6	71.0
印刷	66.7	73.1	△ 6.4	71.2
窯業	65.8	61.5	▼ 4.3	57.1
化学	70.5	70.5	△ 0.0	65.9
金属	72.9	53.3	▼ 19.6	55.2
機械	65.2	62.0	▼ 3.2	56.0
その他の製造	72.2	67.6	▼ 4.6	63.5
非製造業	58.6	56.5	▼ 2.1	54.3
卸売	59.4	49.1	▼ 10.3	49.1
小売	59.0	58.0	▼ 1.0	58.0
情報通信	46.3	51.9	△ 5.6	51.9
飲食・宿泊	70.3	77.4	△ 7.1	69.6
サービス	46.0	51.3	△ 5.3	43.2
建設	63.4	56.8	▼ 6.6	58.1
観光関連	64.3	68.8	△ 4.5	65.4

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移 (全体)

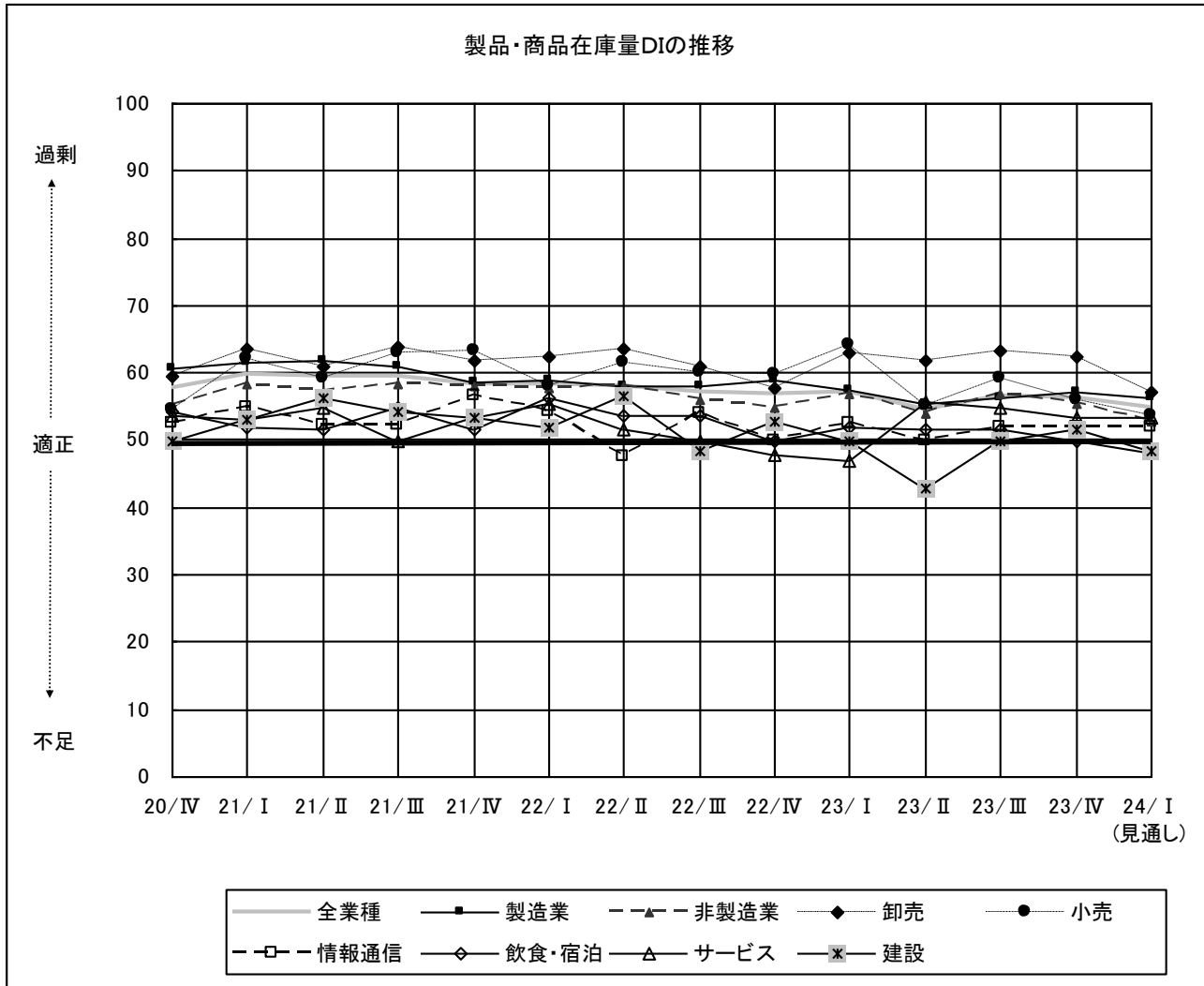


図 12. 製品・商品在庫量の推移（製造業）

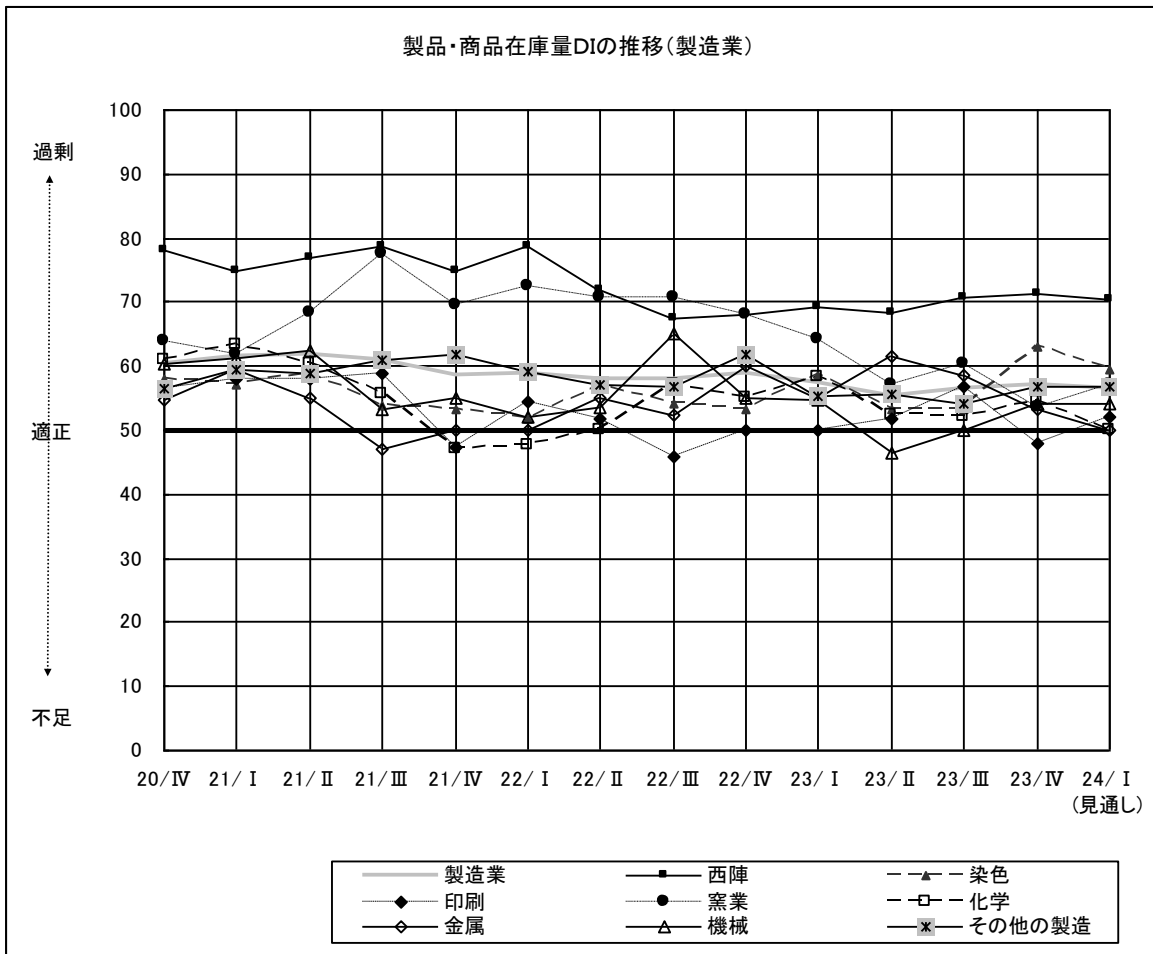


表 6. 製品・商品在庫量 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	56.6	56.3	▼ 0.3	54.7	▼ 1.6
製造業	56.4	57.1	△ 0.7	56.4	▼ 0.7
西陣	70.8	71.4	△ 0.6	70.4	▼ 1.0
染色	53.4	63.0	△ 9.6	59.6	▼ 3.4
印刷	56.7	48.0	▼ 8.7	52.0	△ 4.0
窯業	60.5	53.6	▼ 6.9	57.1	△ 3.5
化学	52.2	54.3	△ 2.1	50.0	▼ 4.3
金属	58.7	53.3	▼ 5.4	50.0	▼ 3.3
機械	50.0	54.2	△ 4.2	54.2	△ 0.0
その他の製造	54.2	56.7	△ 2.5	56.7	△ 0.0
非製造業	56.9	55.4	▼ 1.5	52.9	▼ 2.5
卸売	63.2	62.3	▼ 0.9	57.0	▼ 5.3
小売	59.1	56.0	▼ 3.1	53.7	▼ 2.3
情報通信	51.9	52.0	△ 0.1	52.0	△ 0.0
飲食・宿泊	51.6	50.0	▼ 1.6	48.1	▼ 1.9
サービス	54.8	53.4	▼ 1.4	53.4	△ 0.0
建設	50.0	51.5	△ 1.5	48.5	▼ 3.0
観光関連	52.4	55.6	△ 3.2	52.8	▼ 2.8

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 7. 雇用人員

図 13. 雇用人員DIの推移（全体）

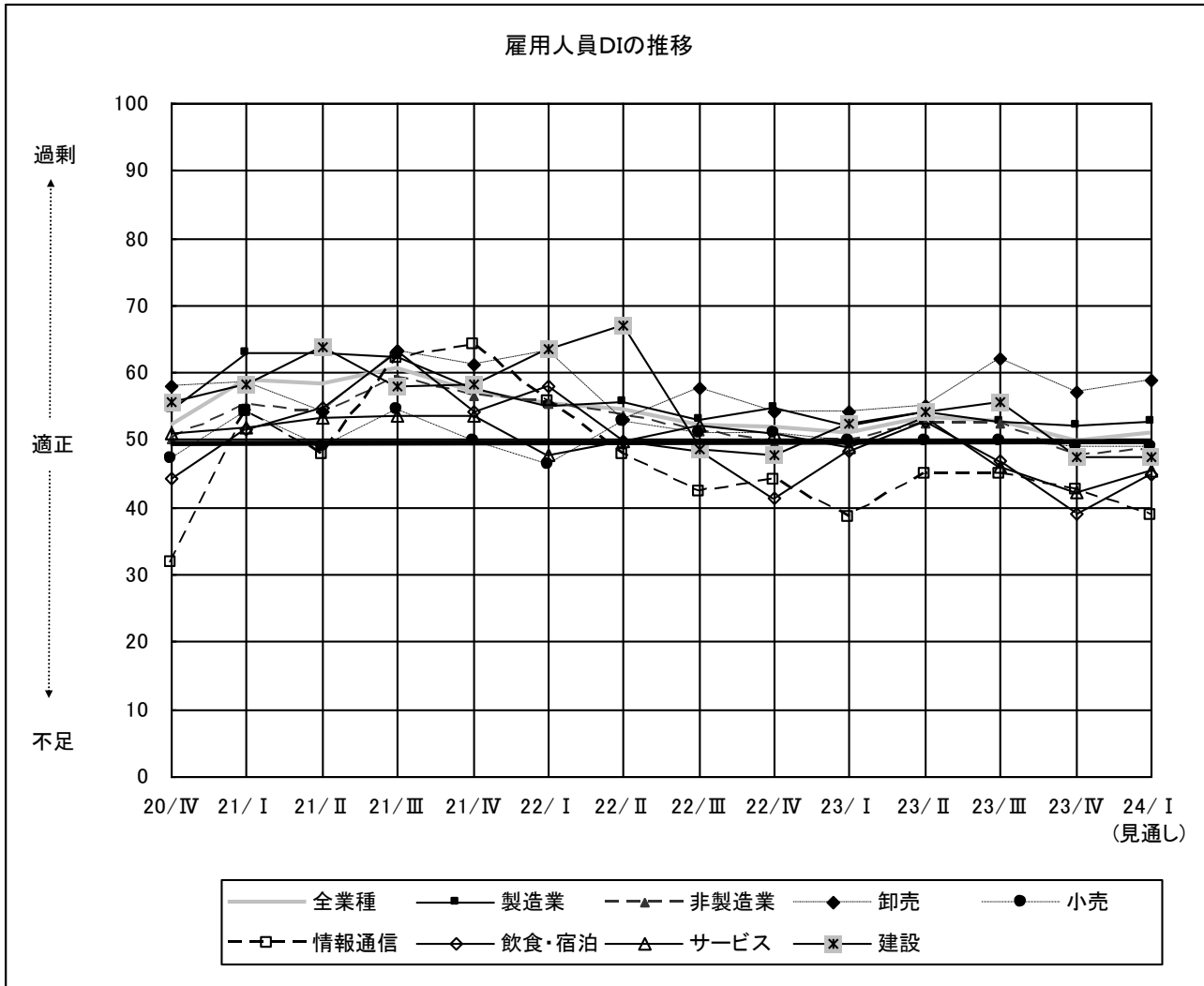


図 14. 雇用人員DIの推移（製造業）

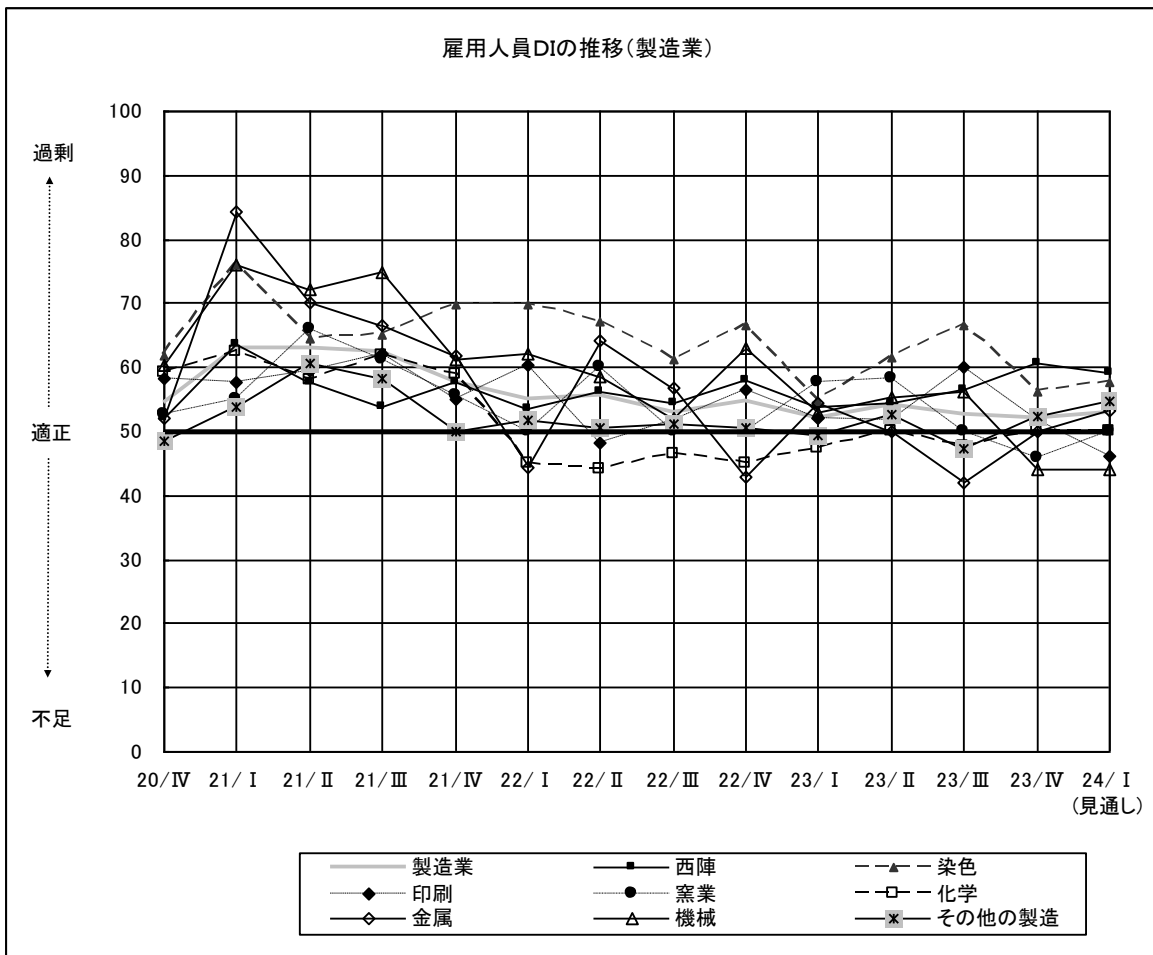


表 7. 雇用人員DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	52.7	49.8	▼ 2.9	△ 1.1
製造業	52.8	52.1	▼ 0.7	△ 0.8
西陣	56.5	60.7	△ 4.2	▼ 1.4
染色	66.7	56.1	▼ 10.6	△ 1.7
印刷	60.0	51.9	▼ 8.1	▼ 5.7
窯業	50.0	45.8	▼ 4.2	△ 4.2
化学	47.7	50.0	△ 2.3	△ 0.0
金属	42.0	50.0	△ 8.0	△ 3.4
機械	56.3	44.0	▼ 12.3	△ 0.0
その他の製造	47.2	52.4	△ 5.2	△ 2.3
非製造業	52.5	47.5	▼ 5.0	△ 1.3
卸売	62.1	57.0	▼ 5.1	△ 1.8
小売	50.0	49.1	▼ 0.9	△ 0.0
情報通信	44.8	42.6	▼ 2.2	▼ 3.7
飲食・宿泊	46.9	39.1	▼ 7.8	△ 5.9
サービス	46.2	42.4	▼ 3.8	△ 3.2
建設	55.6	47.4	▼ 8.2	△ 0.0
観光関連	48.8	47.6	▼ 1.2	△ 6.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 8. 資金繰り

図 15. 資金繰り DI の推移 (全体)

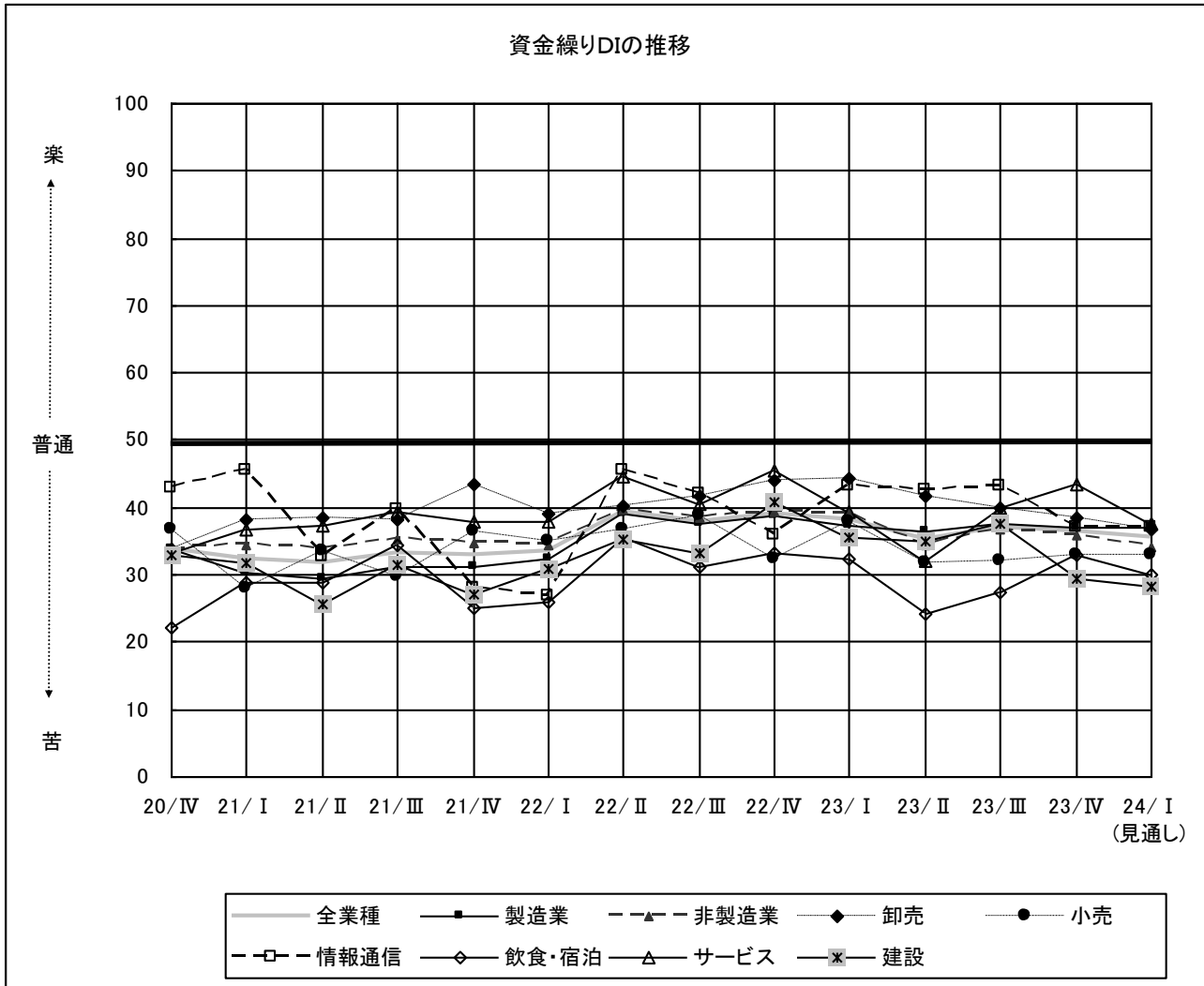


図 16. 資金繰りDIの推移（製造業）

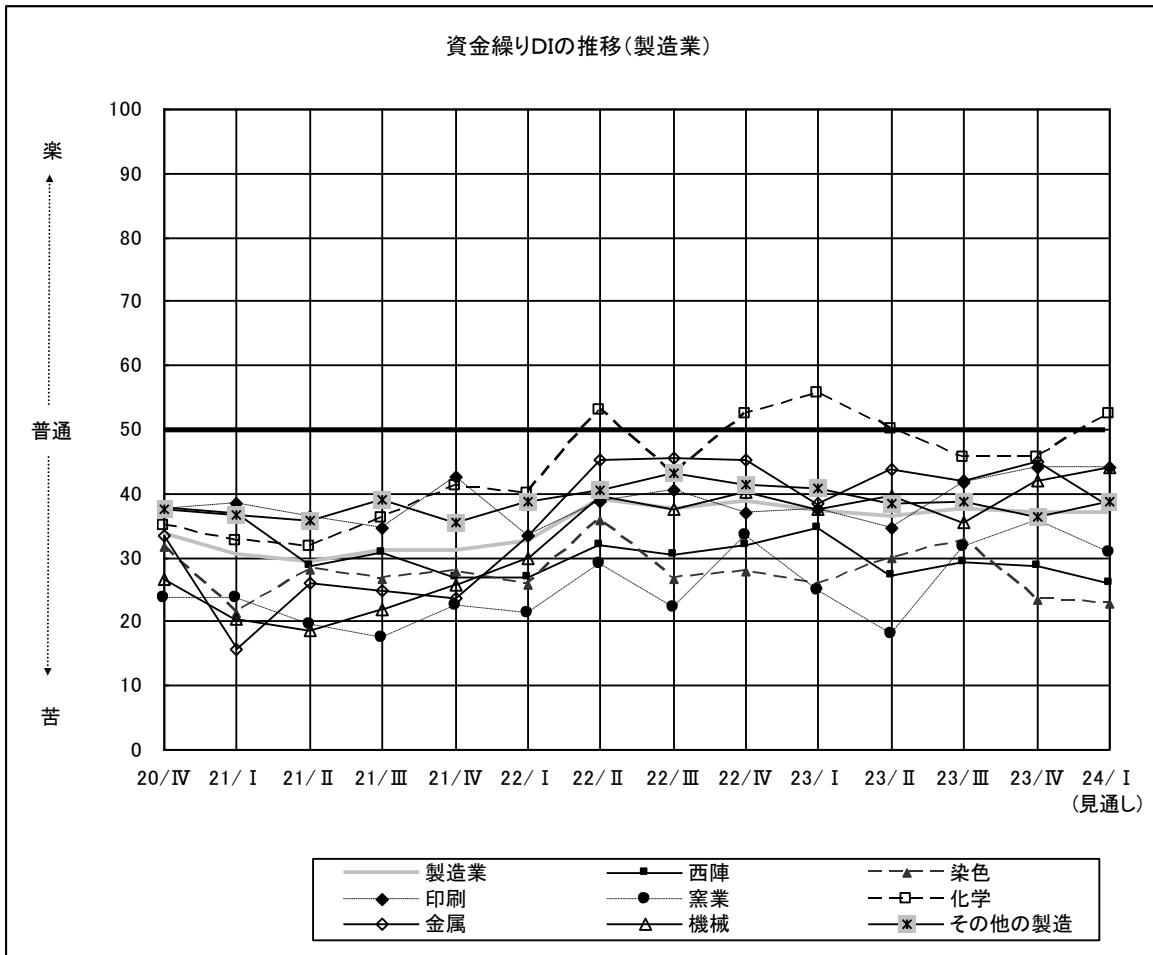


表 8. 資金繰りDI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	37.0	36.4	▼ 0.6	35.5 ▼ 0.9
製造業	37.5	36.9	▼ 0.6	37.0 △ 0.1
西陣	29.2	28.6	▼ 0.6	25.9 ▼ 2.7
染色	32.4	23.5	▼ 8.9	22.7 ▼ 0.8
印刷	41.7	44.0	△ 2.3	44.0 △ 0.0
窯業	31.6	35.7	△ 4.1	30.8 ▼ 4.9
化学	45.7	45.7	△ 0.0	52.4 △ 6.7
金属	42.0	45.0	△ 3.0	38.3 ▼ 6.7
機械	35.4	42.0	△ 6.6	44.0 △ 2.0
その他の製造	38.9	36.5	▼ 2.4	38.7 △ 2.2
非製造業	36.7	35.9	▼ 0.8	34.0 ▼ 1.9
卸売	40.0	38.6	▼ 1.4	36.8 ▼ 1.8
小売	32.1	32.8	△ 0.7	33.0 △ 0.2
情報通信	43.1	37.0	▼ 6.1	37.0 △ 0.0
飲食・宿泊	27.4	32.8	△ 5.4	30.0 ▼ 2.8
サービス	40.0	43.5	△ 3.5	37.5 ▼ 6.0
建設	37.5	29.5	▼ 8.0	28.2 ▼ 1.3
観光関連	32.9	31.7	▼ 1.2	29.3 ▼ 2.4

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。



## 9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移 (全体)

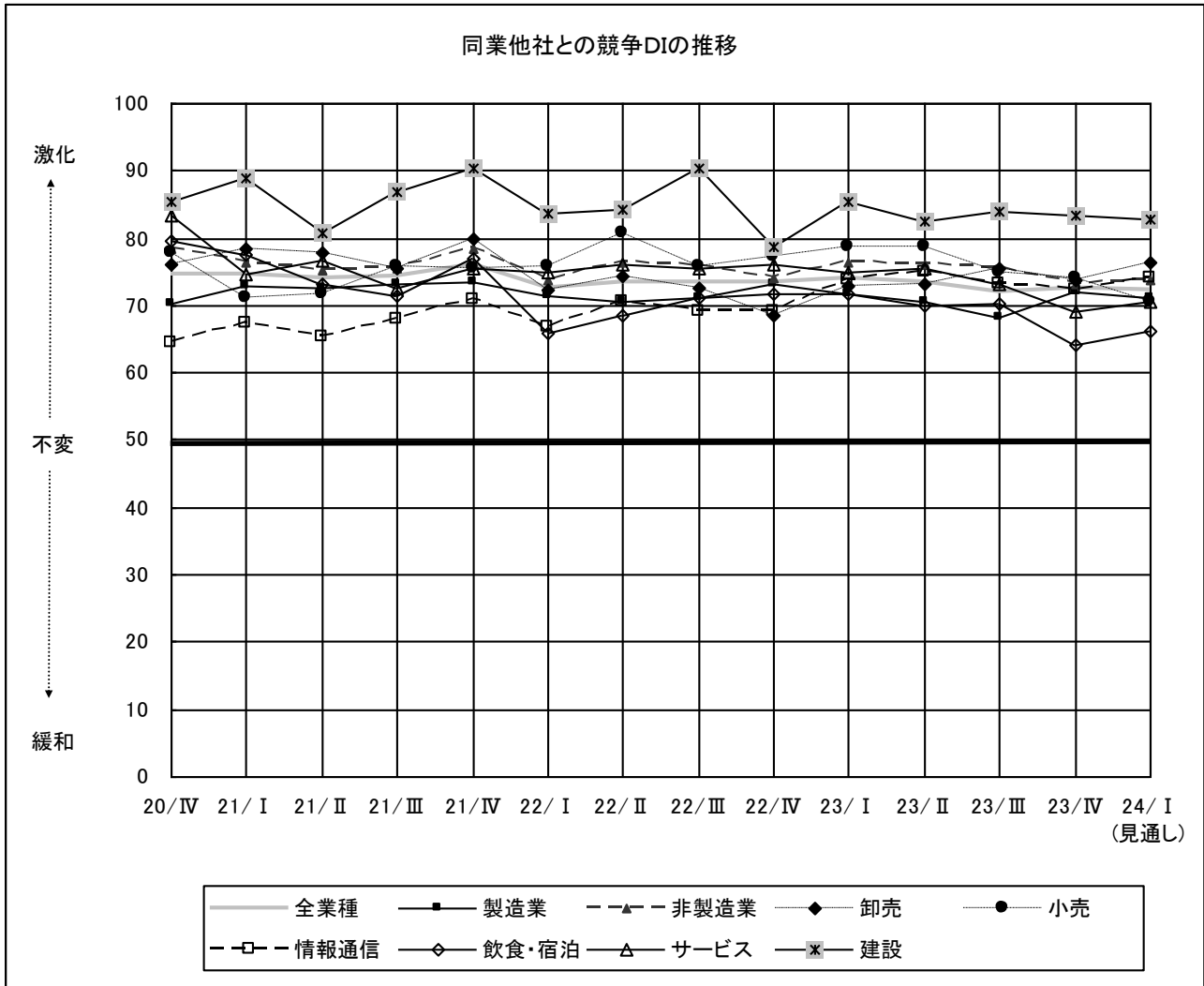


図 18. 同業他社との競争DIの推移 (製造業)

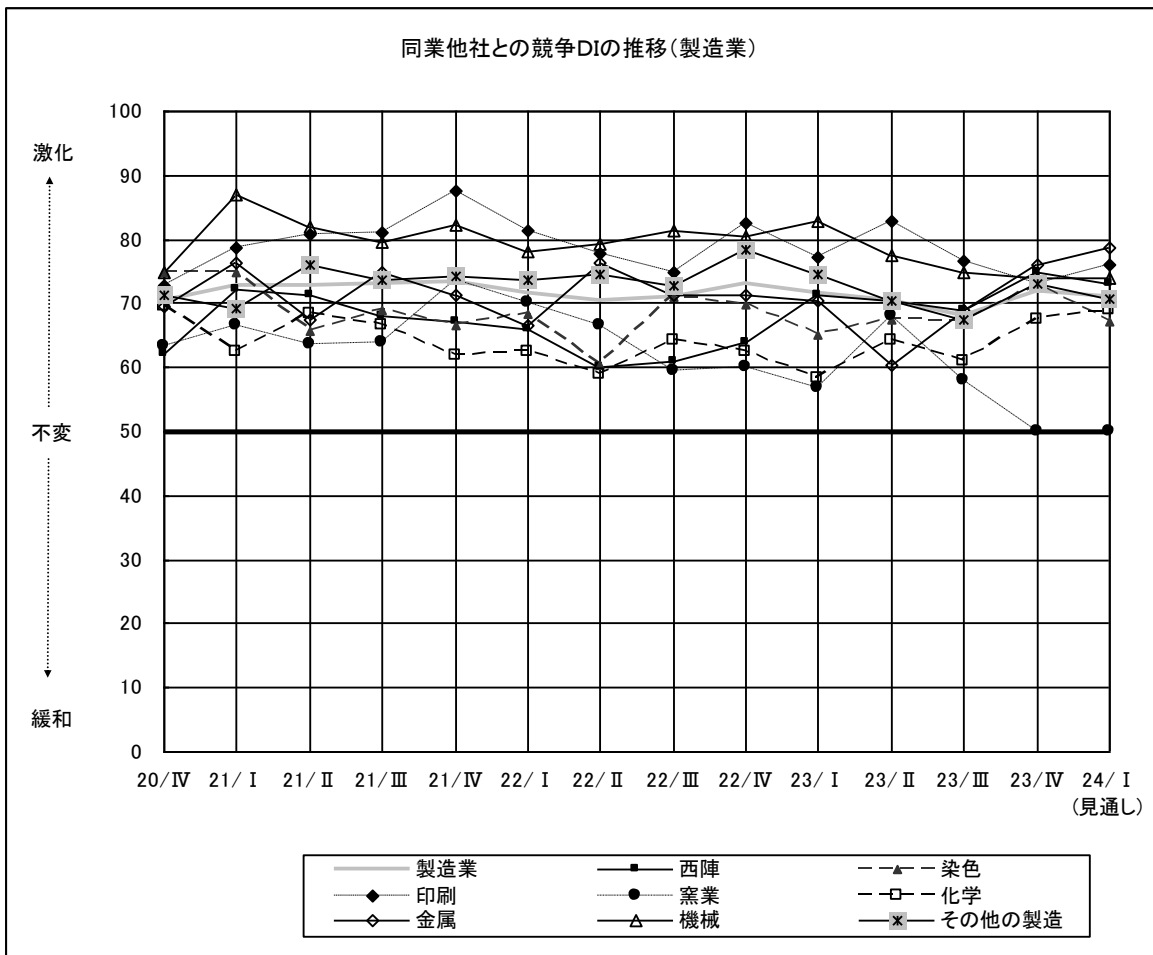


表 9. 同業他社との競争DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	72.1	72.5	△ 0.4	▼ 0.1
製造業	68.1	71.9	△ 3.8	▼ 0.8
西陣	68.8	75.0	△ 6.2	▼ 1.9
染色	67.2	72.7	△ 5.5	▼ 5.5
印刷	76.7	73.1	▼ 3.6	△ 2.9
窯業	57.9	50.0	▼ 7.9	△ 0.0
化学	60.9	67.4	△ 6.5	△ 1.6
金属	68.8	75.9	△ 7.1	△ 2.7
機械	75.0	74.0	▼ 1.0	△ 0.0
その他の製造	67.4	73.2	△ 5.8	▼ 2.4
非製造業	75.5	73.1	▼ 2.4	△ 0.6
卸売	75.4	73.7	▼ 1.7	△ 2.7
小売	75.0	74.1	▼ 0.9	▼ 3.5
情報通信	73.2	72.2	▼ 1.0	△ 1.9
飲食・宿泊	70.3	64.1	▼ 6.2	△ 2.0
サービス	73.1	69.1	▼ 4.0	△ 1.4
建設	84.1	83.3	▼ 0.8	▼ 0.4
観光関連	68.3	70.7	△ 2.4	△ 1.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

# 10. 受注残

図19. 受注残DIの推移

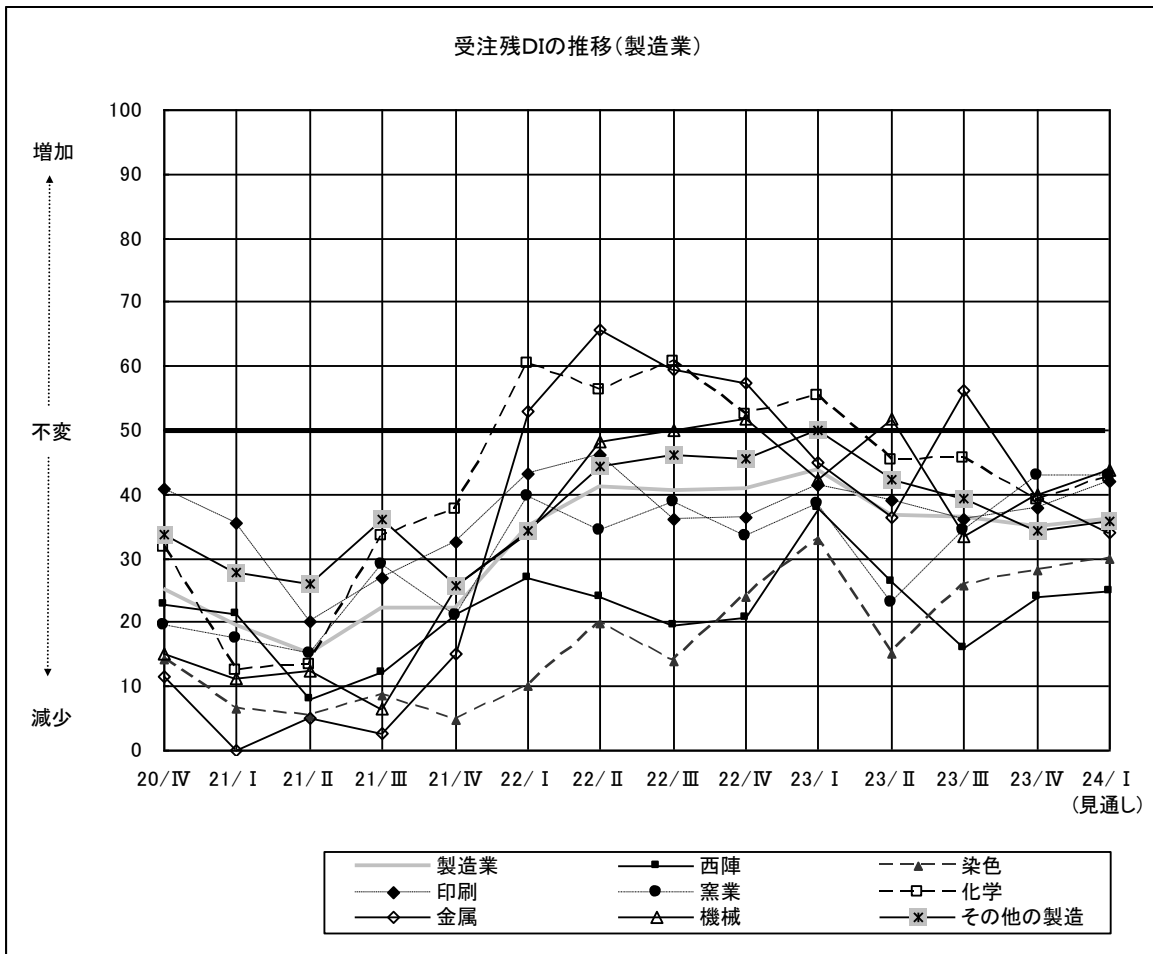


表10. 受注残DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	36.4	34.9	▼ 1.5	36.1 △ 1.2
西陣	15.9	24.1	△ 8.2	25.0 △ 0.9
染色	25.8	28.1	△ 2.3	30.0 △ 1.9
印刷	36.2	38.0	△ 1.8	42.0 △ 4.0
窯業	34.4	42.9	△ 8.5	42.9 △ 0.0
化学	45.7	39.1	▼ 6.6	42.5 △ 3.4
金属	56.3	39.3	▼ 17.0	33.9 ▼ 5.4
機械	33.3	40.0	△ 6.7	43.8 △ 3.8
その他の製造	39.4	34.4	▼ 5.0	35.7 △ 1.3
観光関連	28.6	35.3	△ 6.7	35.3 △ 0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

# 11. 生産設備

図20. 生産設備DIの推移

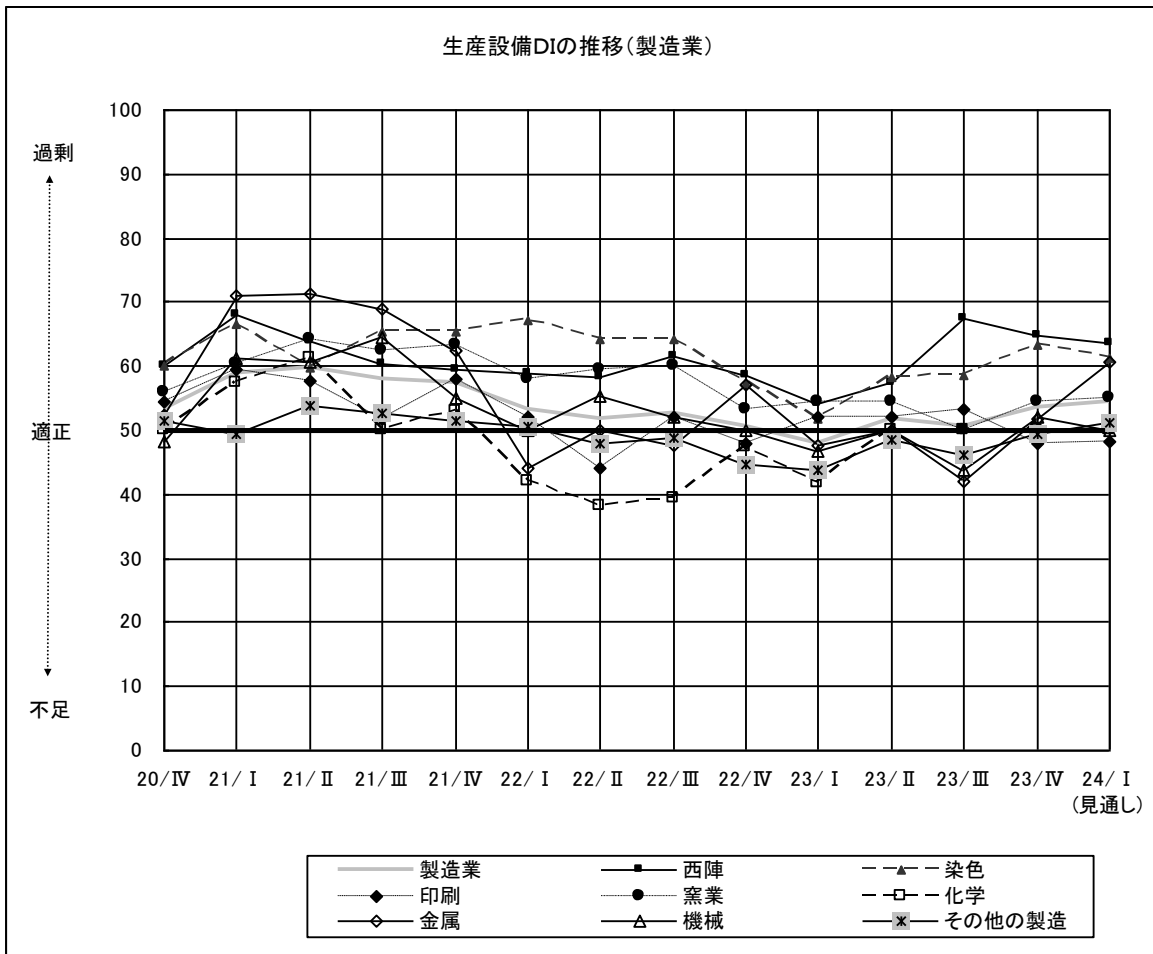


表11. 生産設備DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	50.6	53.5	△ 2.9	54.4 △ 0.9
西陣	67.4	64.8	▼ 2.6	63.5 ▼ 1.3
染色	58.6	63.3	△ 4.7	61.1 ▼ 2.2
印刷	53.4	48.0	▼ 5.4	48.1 △ 0.1
窯業	50.0	54.5	△ 4.5	55.0 △ 0.5
化学	50.0	50.0	△ 0.0	50.0 △ 0.0
金属	42.0	51.8	△ 9.8	60.7 △ 8.9
機械	43.8	52.0	△ 8.2	50.0 ▼ 2.0
その他の製造	46.3	49.4	△ 3.1	51.3 △ 1.9
観光関連	43.8	50.0	△ 6.2	46.7 ▼ 3.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 12. 設備投資

図21. 設備投資DIの推移

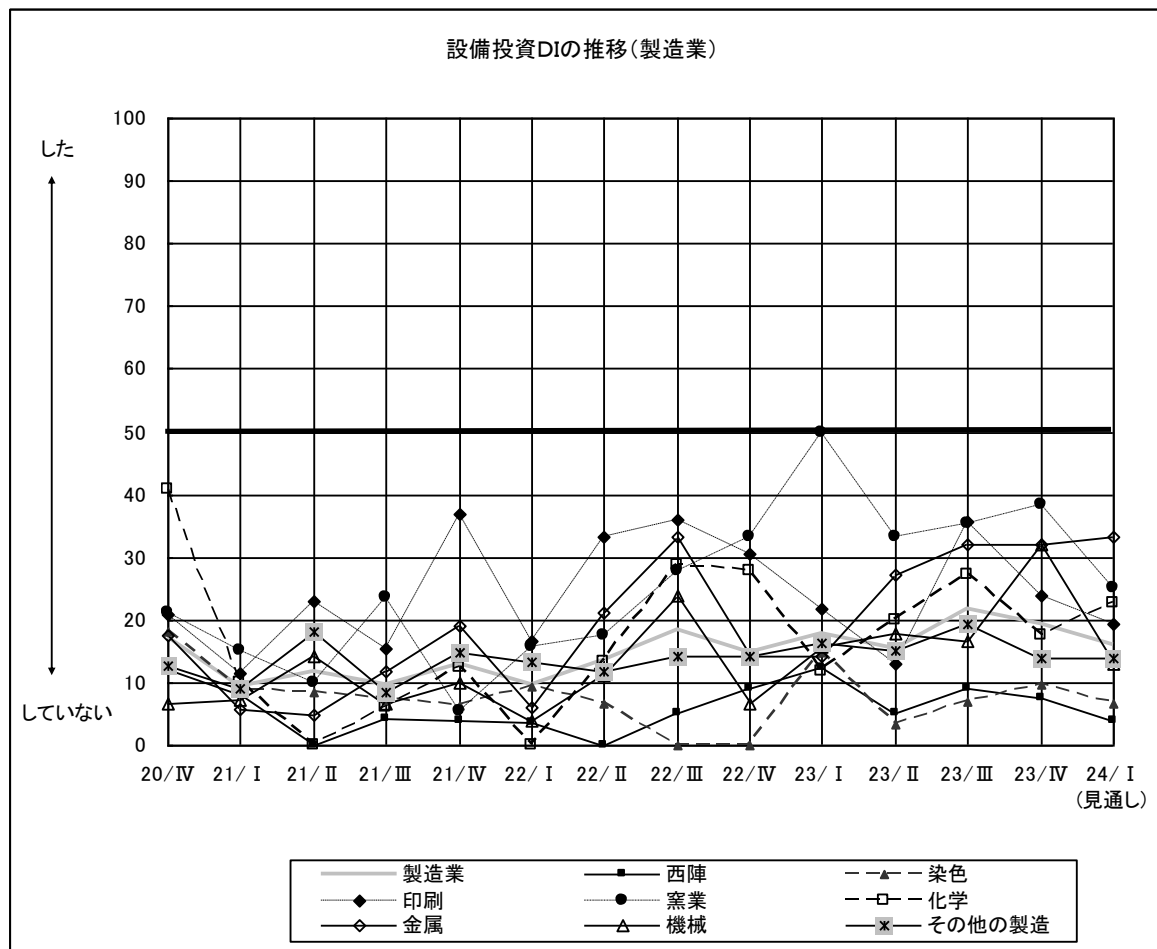


表12. 設備投資DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	21.8	19.2	▼ 2.6	15.9
西陣	9.1	7.7	▼ 1.4	3.8
染色	6.9	9.7	△ 2.8	6.5
印刷	35.7	24.0	▼ 11.7	19.2
窯業	35.3	38.5	△ 3.2	25.0
化学	27.3	17.4	▼ 9.9	22.7
金属	32.0	32.1	△ 0.1	33.3
機械	16.7	32.0	△ 15.3	13.0
その他の製造	19.4	13.9	▼ 5.5	13.9
観光関連	12.5	17.6	△ 5.1	11.8

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## (2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

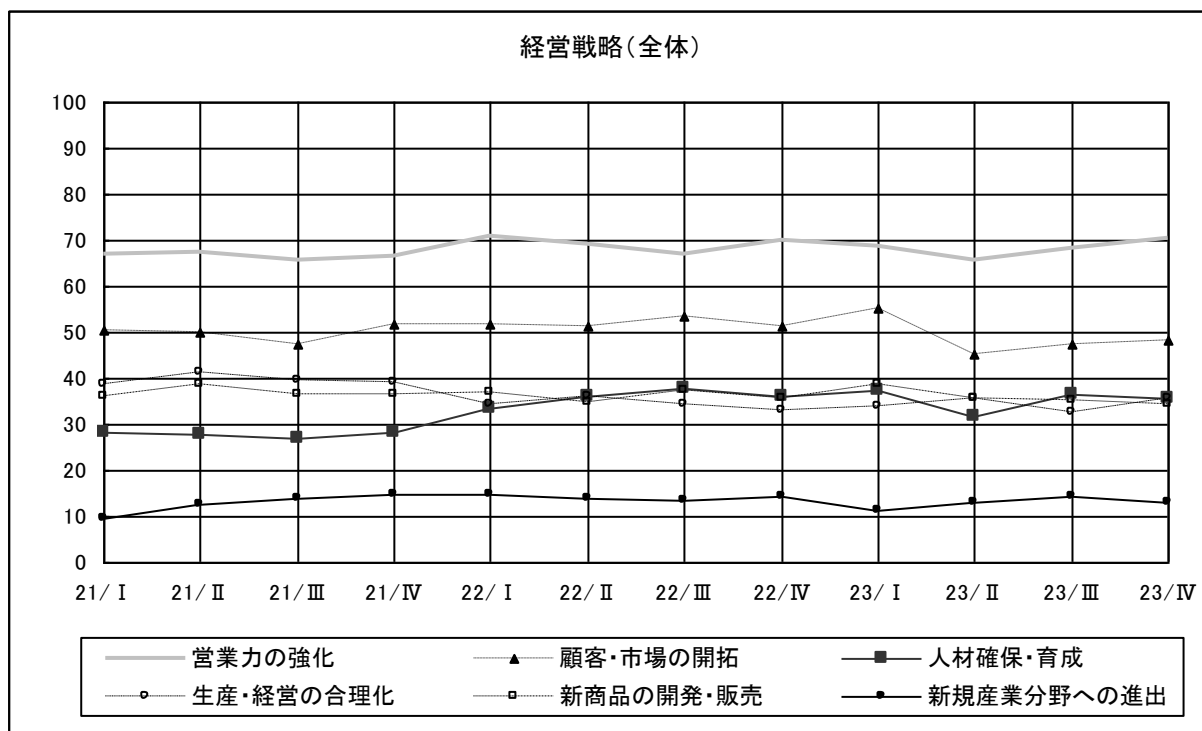


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

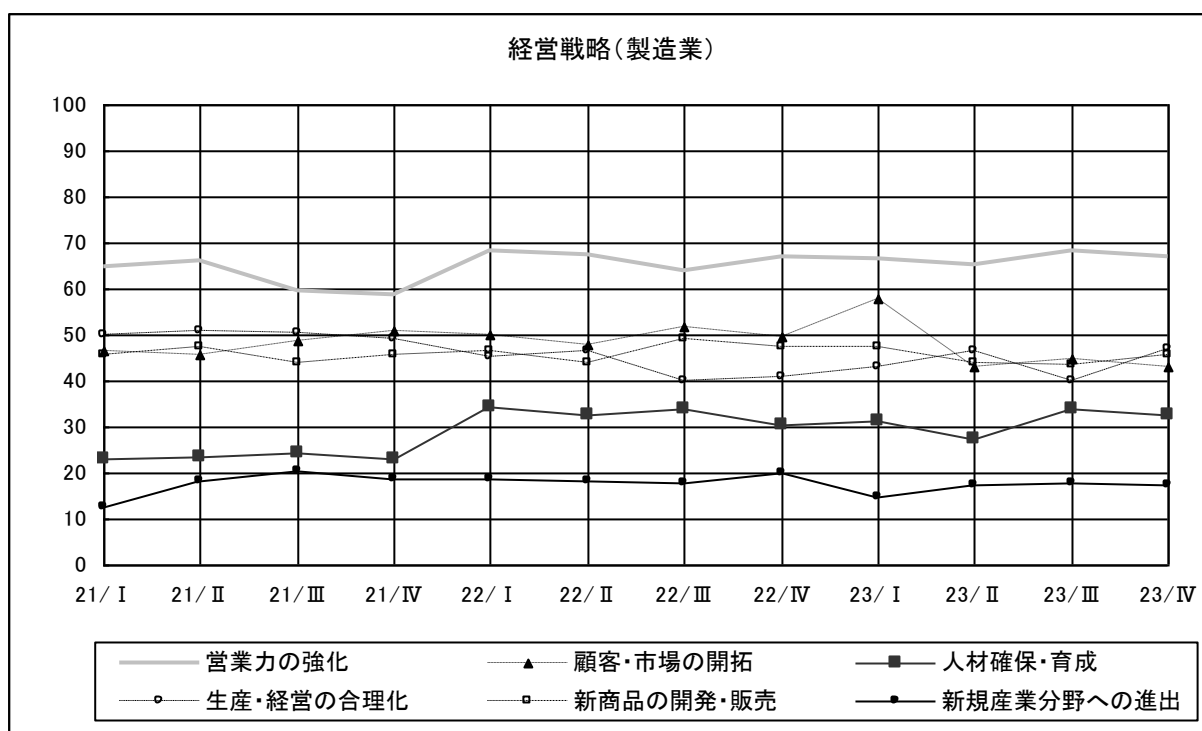


図 24. 当面の経営戦略・西陣

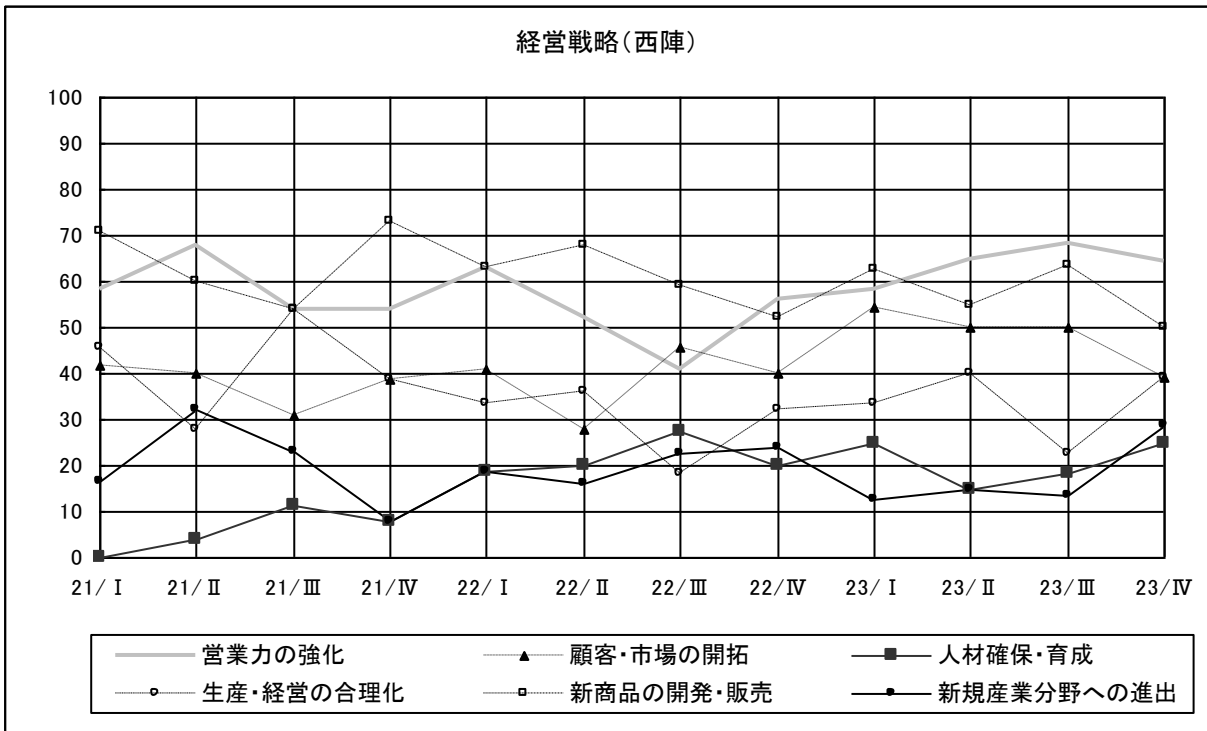


図 25. 当面の経営戦略・染色

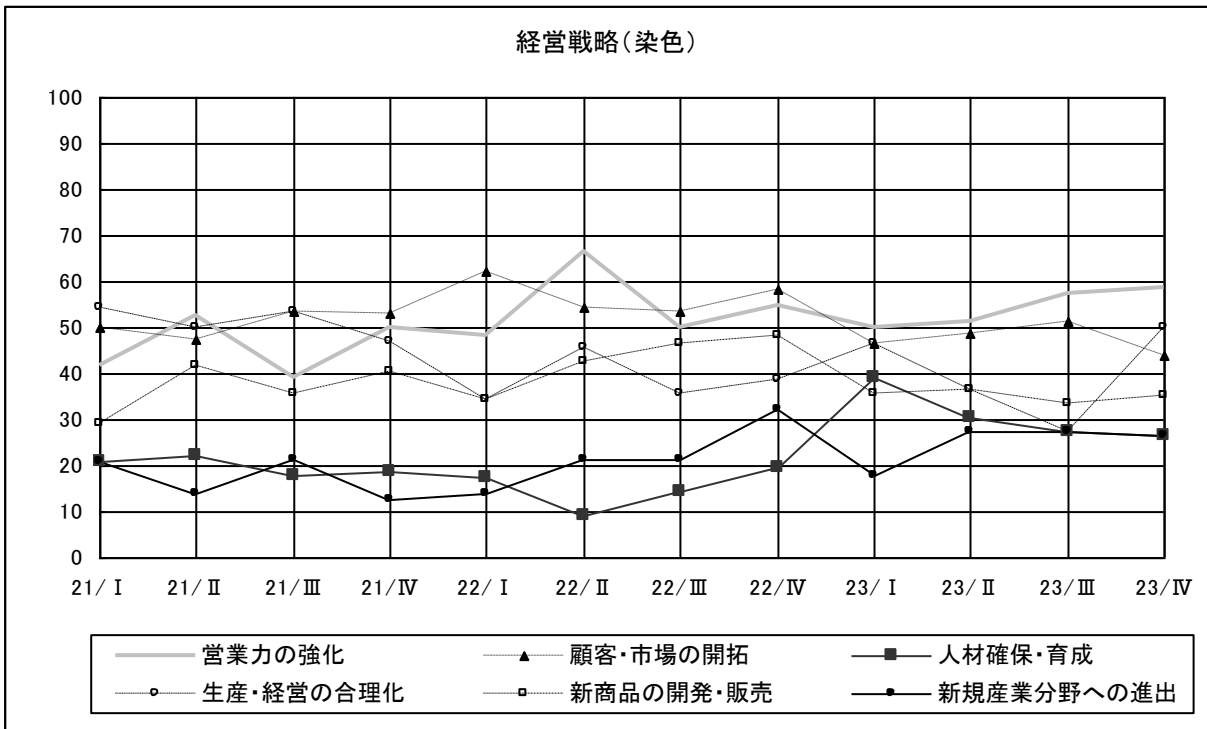


図 26. 当面の経営戦略・印刷

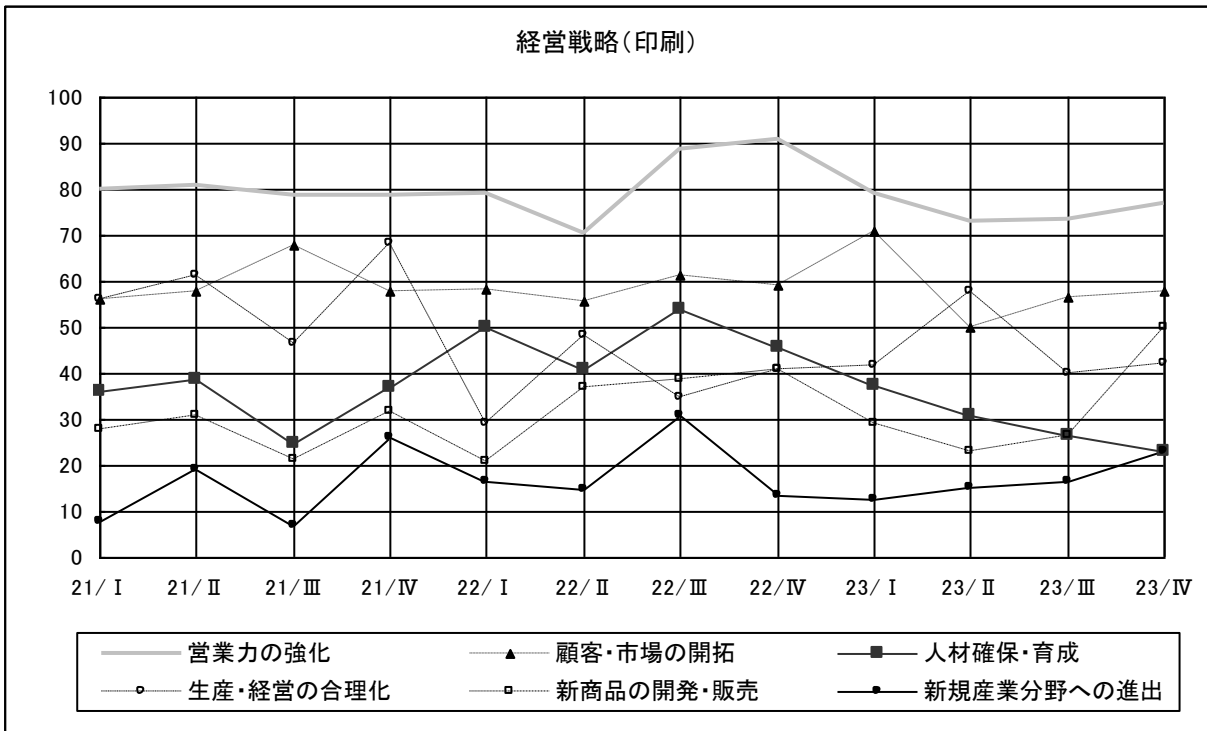


図 27. 当面の経営戦略・窯業

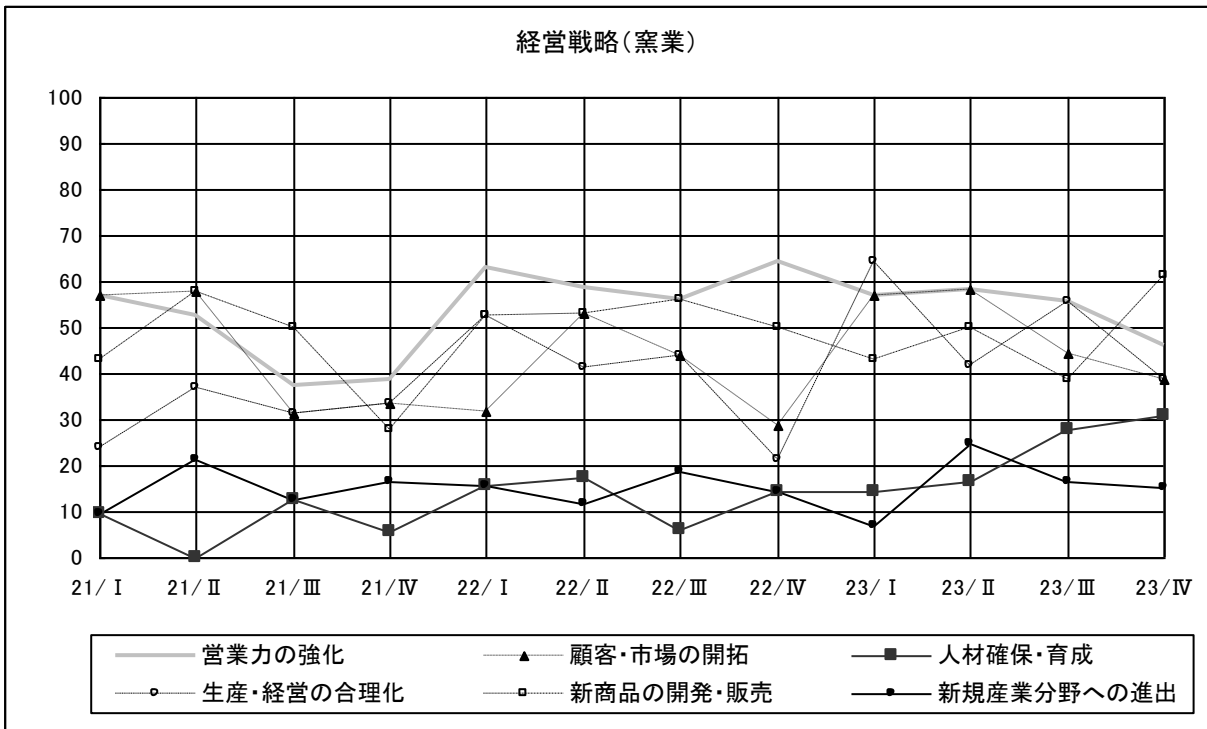




図 28. 当面の経営戦略・化学

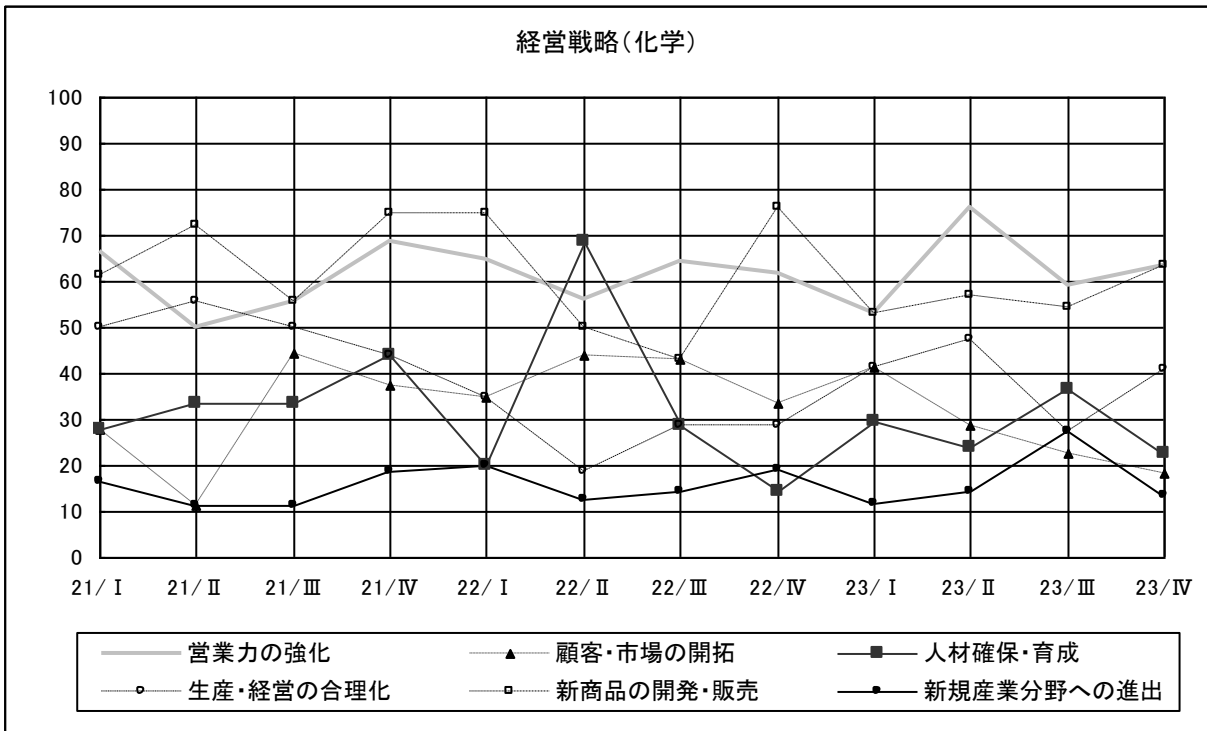


図 29. 当面の経営戦略・金属

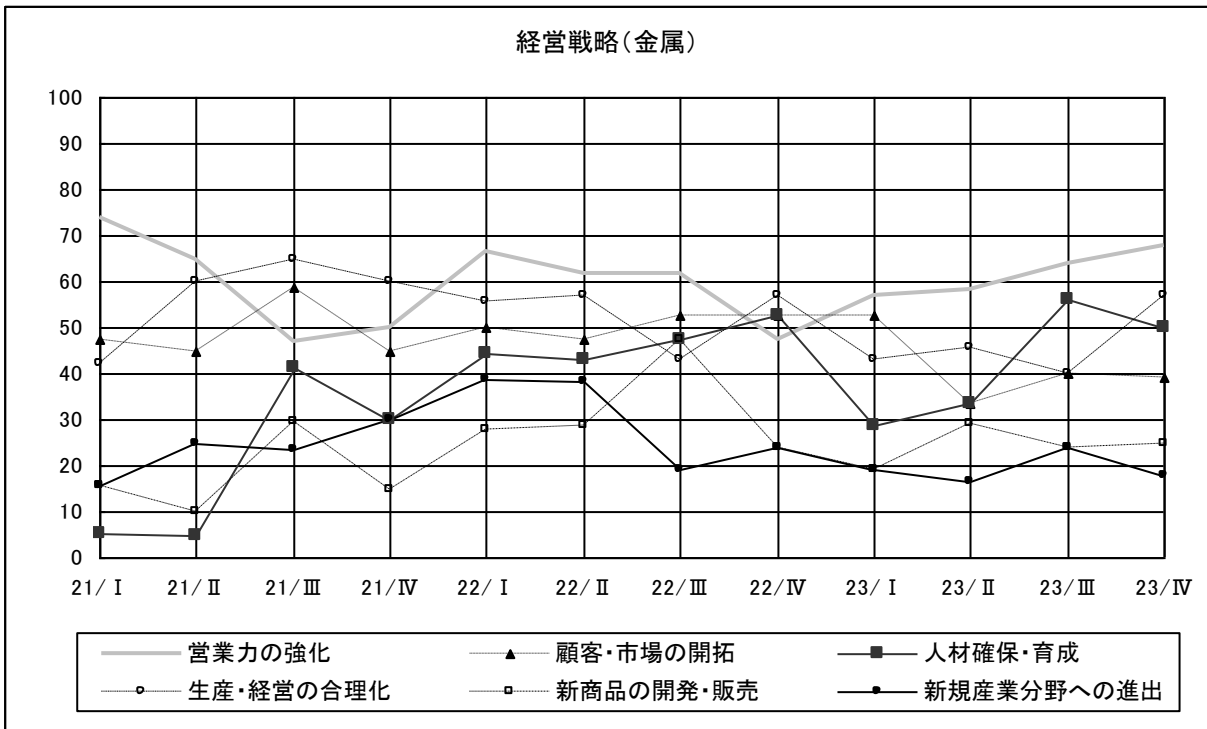


図 30. 当面の経営戦略・機械

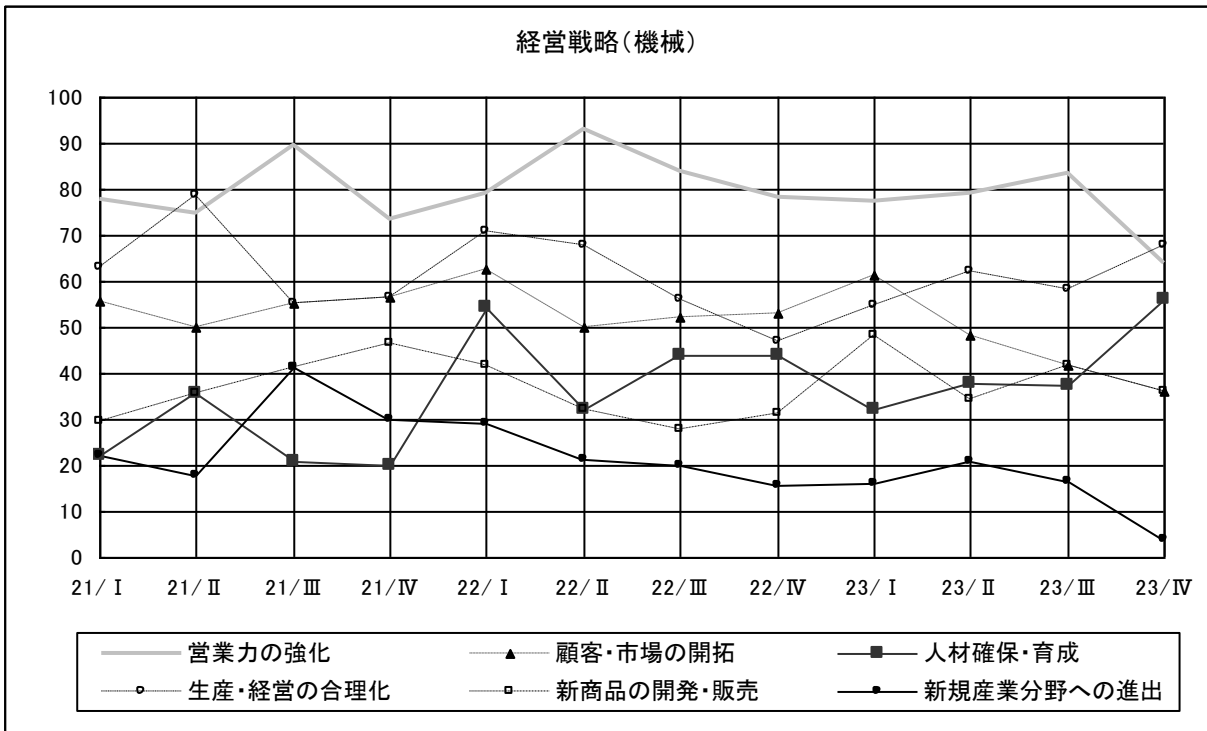


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

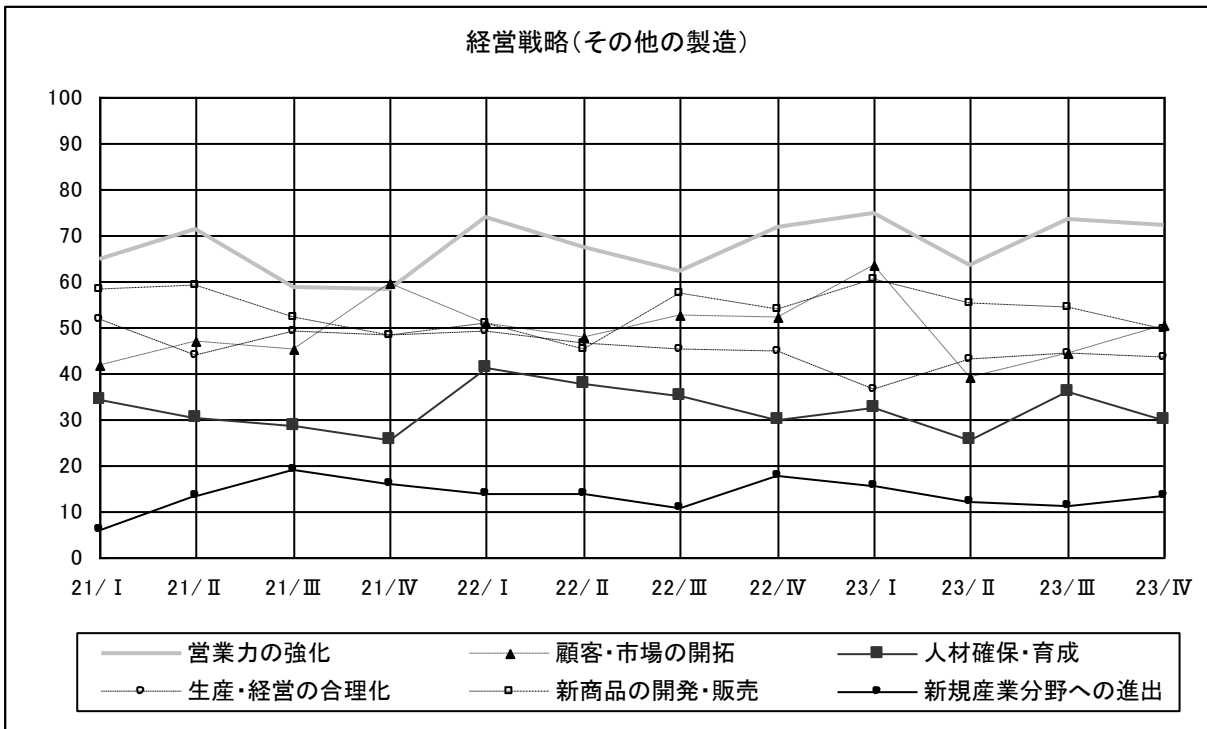


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

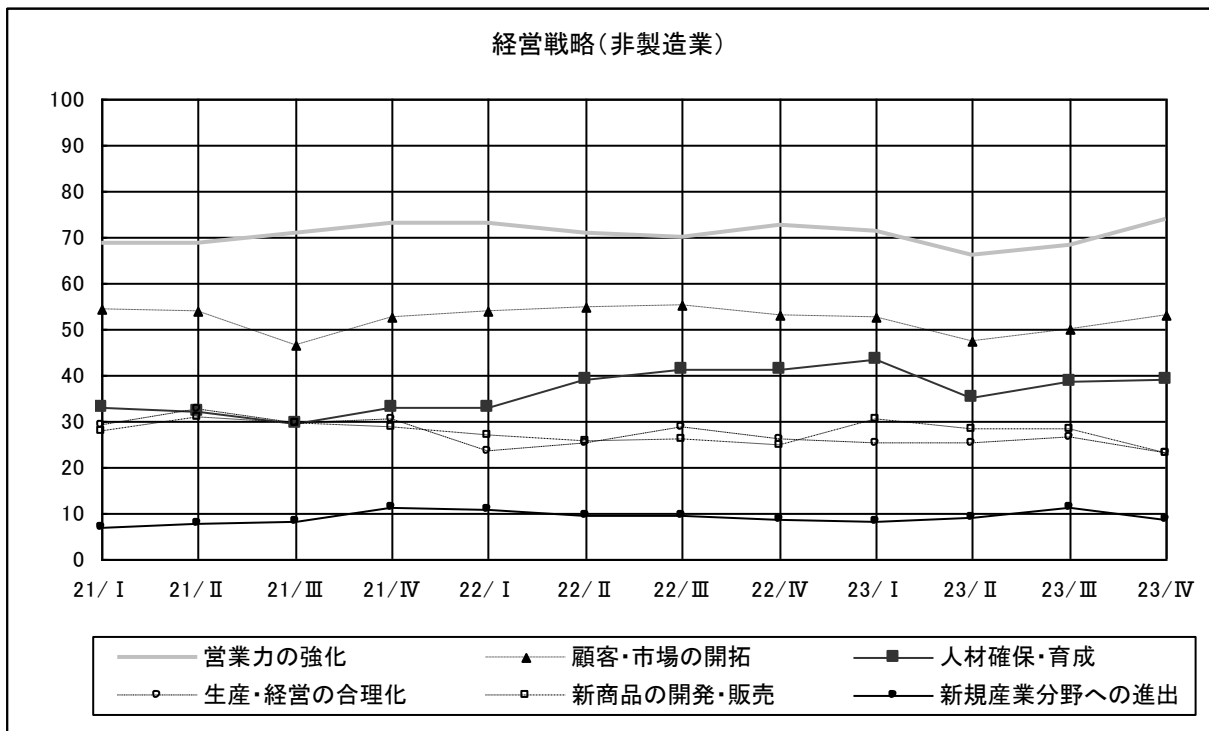


図 33. 当面の経営戦略・卸売

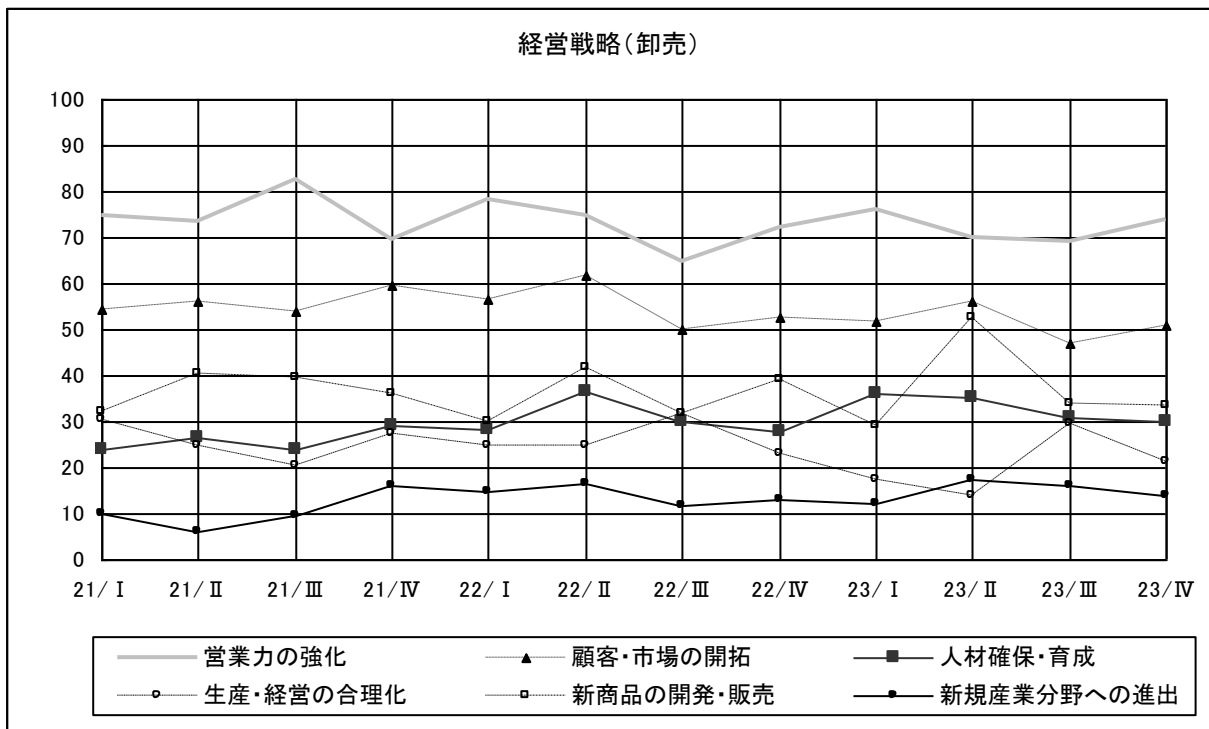


図 34. 当面の経営戦略・小売

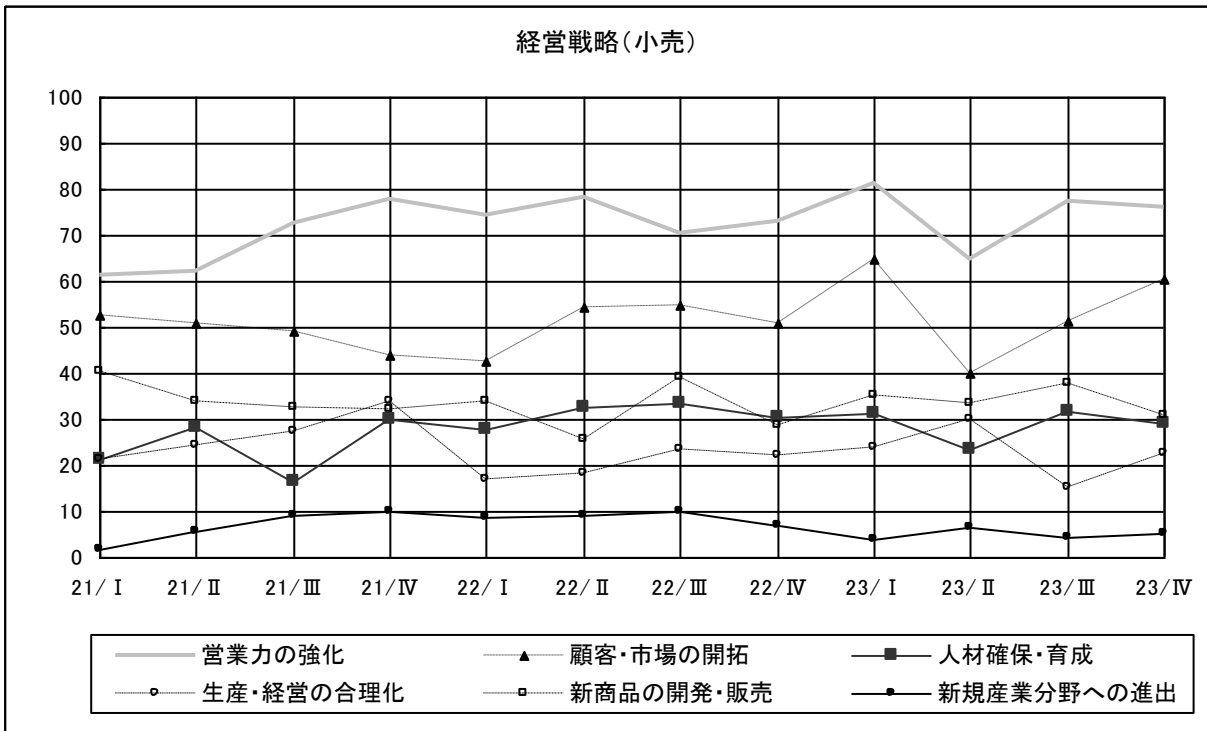


図 35. 当面の経営戦略・情報通信

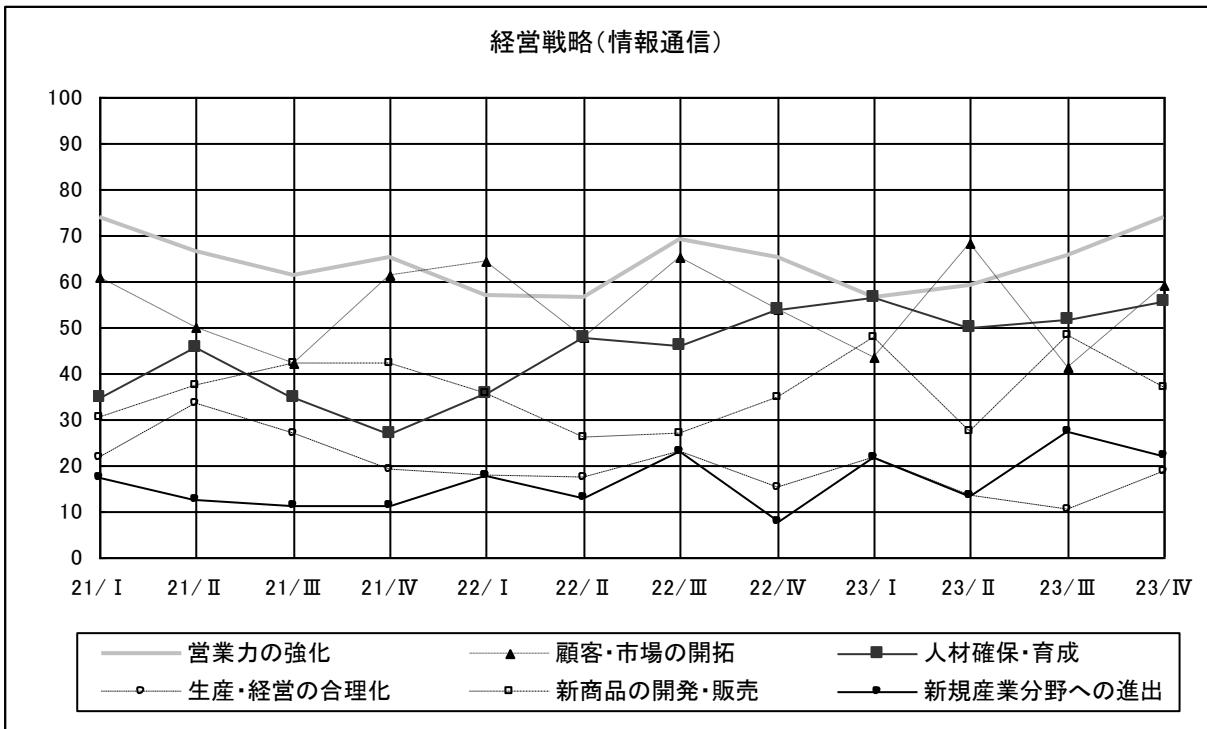


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

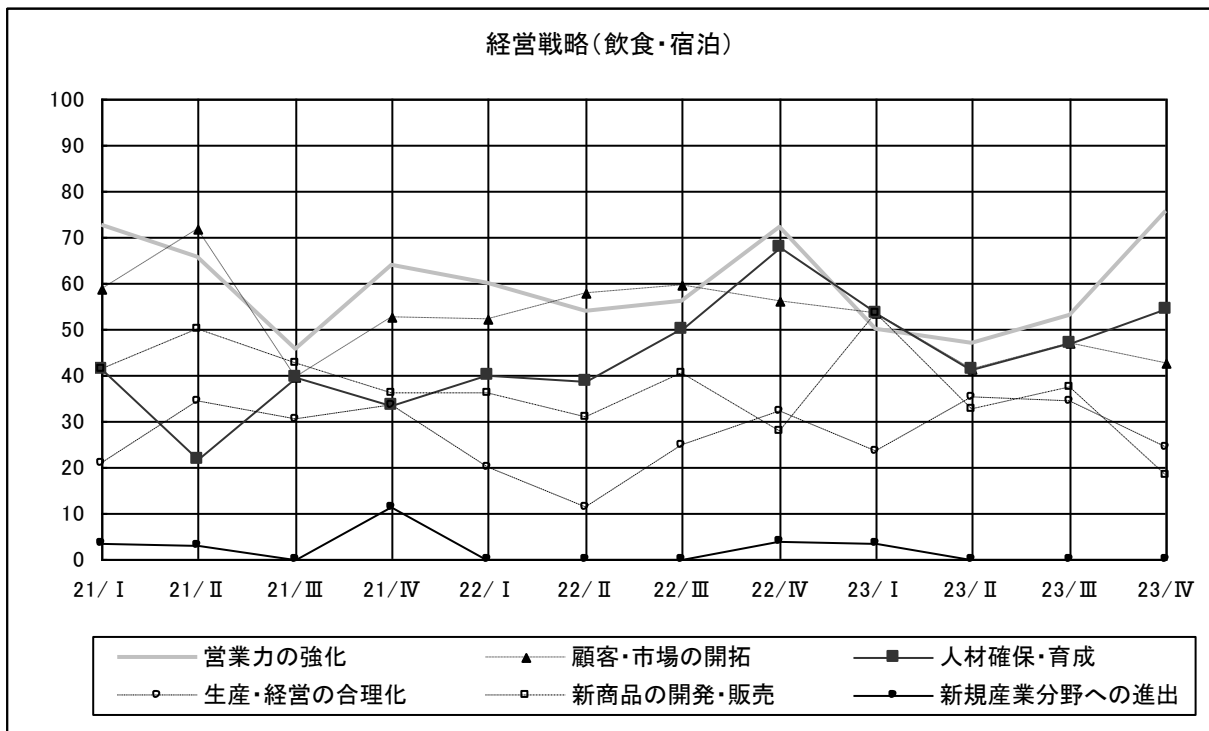


図 37. 当面の経営戦略・サービス

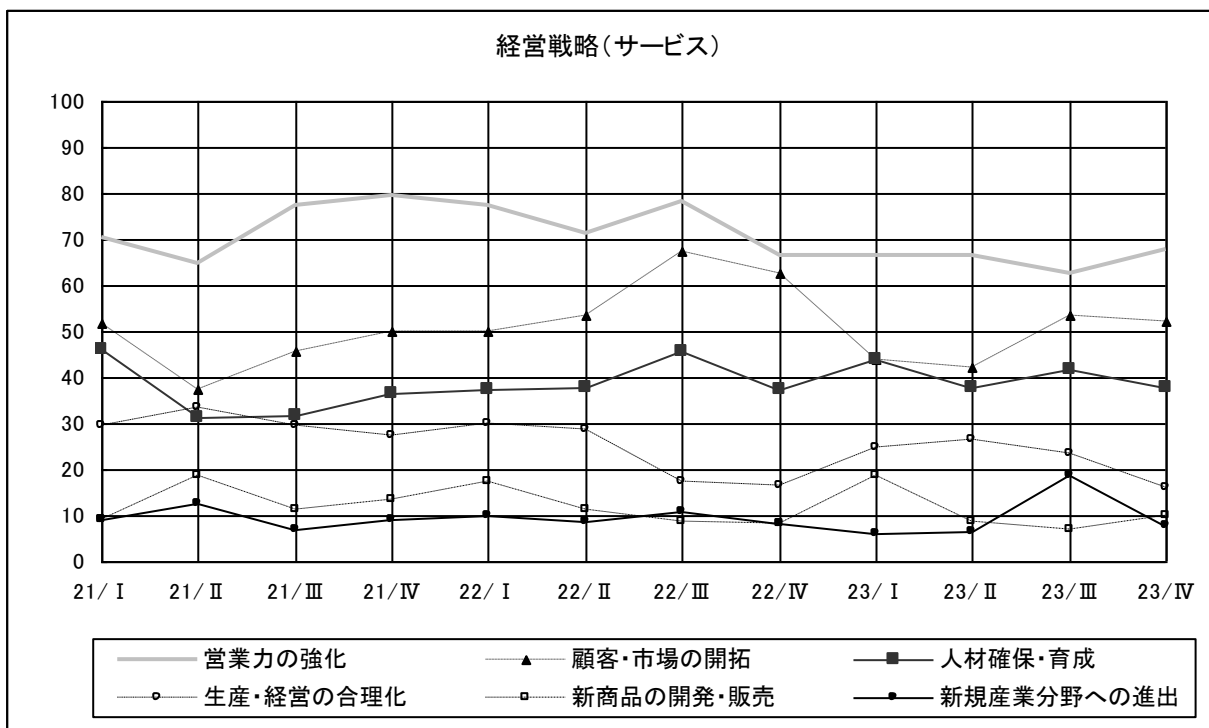


図 38. 当面の経営戦略・建設

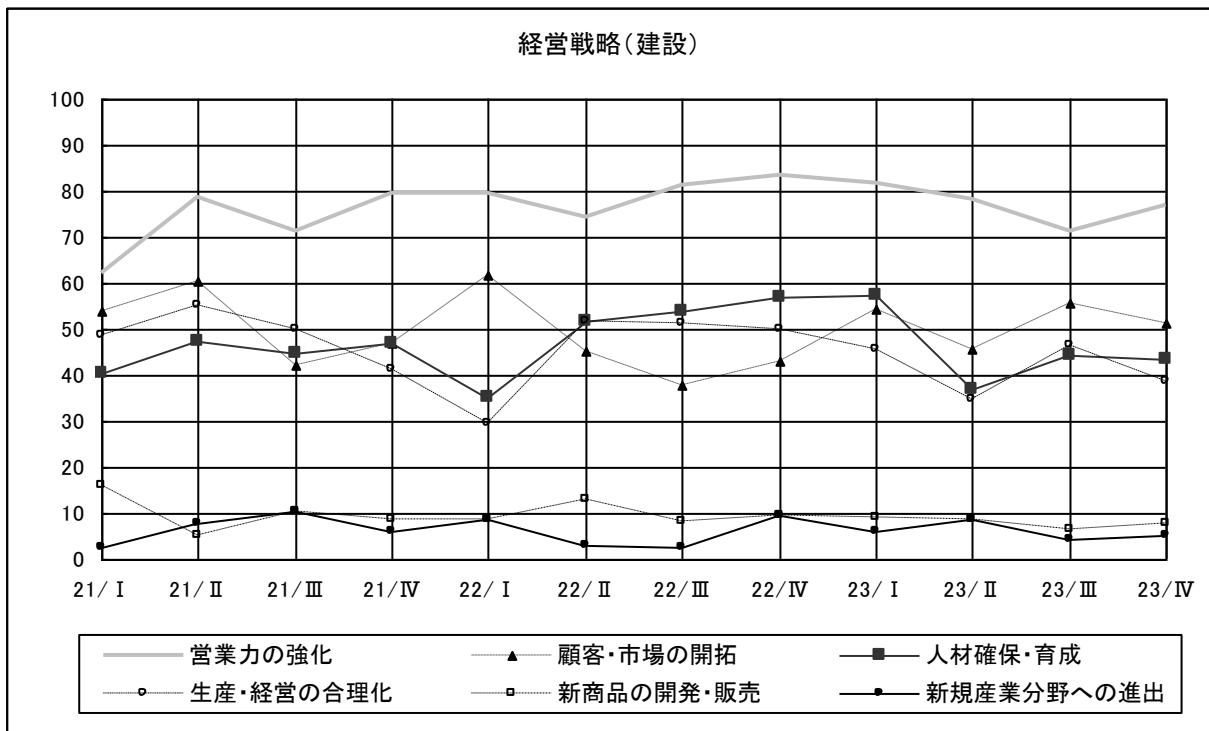


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	顧客・市場の開拓	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	368 70.4%	183 35.0%	187 35.8%	68 13.0%	252 48.2%	179 34.2%	43 8.2%	66 12.6%	7 1.3%	523 100.0%	12
製造業	173 66.8%	122 47.1%	84 32.4%	45 17.4%	112 43.2%	118 45.6%	36 13.9%	34 13.1%	4 1.5%	259 100.0%	8
西陣	18 64.3%	11 39.3%	7 25.0%	8 28.6%	11 39.3%	14 50.0%	2 7.1%	4 14.3%	0 0.0%	28 100.0%	0
染色	20 58.8%	17 50.0%	9 26.5%	9 26.5%	15 44.1%	12 35.3%	3 8.8%	5 14.7%	0 0.0%	34 100.0%	0
印刷	20 76.9%	11 42.3%	6 23.1%	6 23.1%	15 57.7%	13 50.0%	5 19.2%	4 15.4%	0 0.0%	26 100.0%	0
窯業	6 46.2%	5 38.5%	4 30.8%	2 15.4%	5 38.5%	8 61.5%	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	13 100.0%	2
化学	14 63.6%	9 40.9%	5 22.7%	3 13.6%	4 18.2%	14 63.6%	7 31.8%	4 18.2%	1 4.5%	22 100.0%	1
金属	19 67.9%	16 57.1%	14 50.0%	5 17.9%	11 39.3%	7 25.0%	4 14.3%	4 14.3%	0 0.0%	28 100.0%	2
機械	16 64.0%	17 68.0%	14 56.0%	1 4.0%	9 36.0%	9 36.0%	2 8.0%	2 8.0%	2 8.0%	25 100.0%	0
その他の製造	60 72.3%	36 43.4%	25 30.1%	11 13.3%	42 50.6%	41 49.4%	12 14.5%	9 10.8%	0 0.0%	83 100.0%	3
非製造業	195 73.9%	61 23.1%	103 39.0%	23 8.7%	140 53.0%	61 23.1%	7 2.7%	32 12.1%	3 1.1%	264 100.0%	4
卸売	42 73.7%	12 21.1%	17 29.8%	8 14.0%	29 50.9%	19 33.3%	1 1.8%	3 5.3%	0 0.0%	57 100.0%	2
小売	44 75.9%	13 22.4%	17 29.3%	3 5.2%	35 60.3%	18 31.0%	0 0.0%	9 15.5%	2 3.4%	58 100.0%	1
情報通信	20 74.1%	5 18.5%	15 55.6%	6 22.2%	16 59.3%	10 37.0%	2 7.4%	6 22.2%	0 0.0%	27 100.0%	0
飲食・宿泊	25 75.8%	8 24.2%	18 54.5%	0 0.0%	14 42.4%	6 18.2%	1 3.0%	2 6.1%	0 0.0%	33 100.0%	0
サービス	34 68.0%	8 16.0%	19 38.0%	4 8.0%	26 52.0%	5 10.0%	1 2.0%	4 8.0%	1 2.0%	50 100.0%	0
建設	30 76.9%	15 38.5%	17 43.6%	2 5.1%	20 51.3%	3 7.7%	2 5.1%	8 20.5%	0 0.0%	39 100.0%	1
観光関連	30 69.8%	19 44.2%	17 39.5%	3 7.0%	23 53.5%	18 41.9%	2 4.7%	5 11.6%	0 0.0%	43 100.0%	0

### (3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

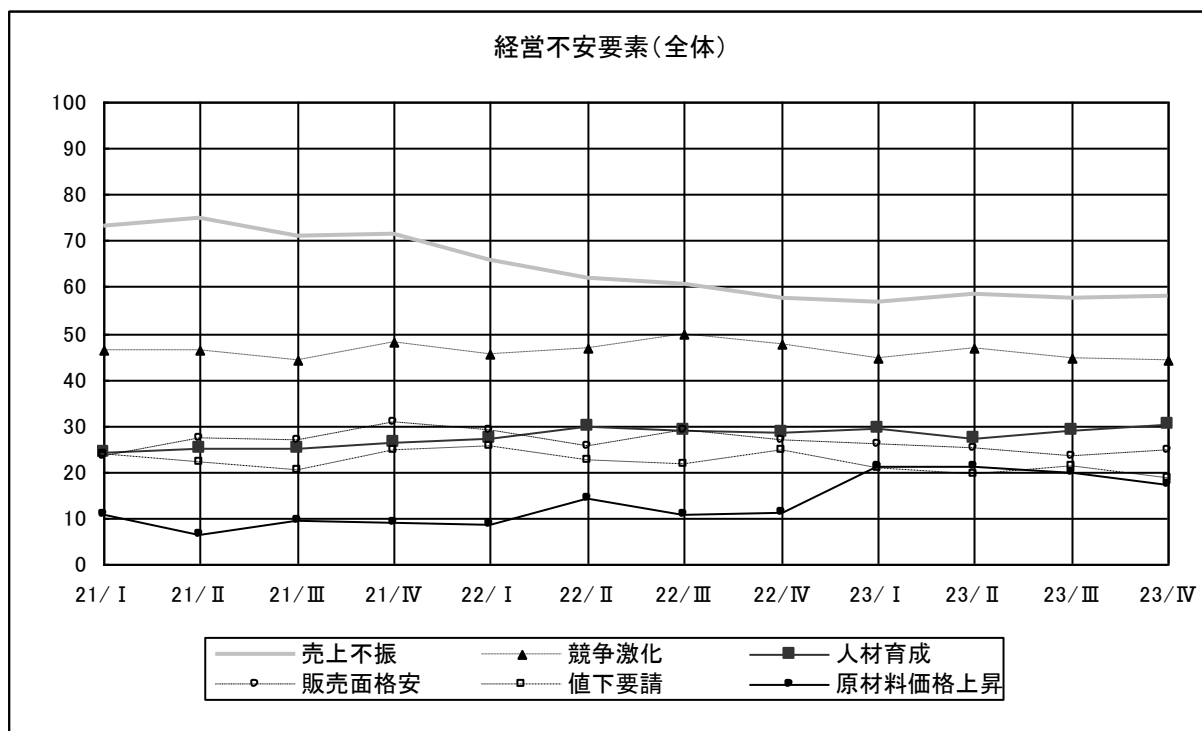


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

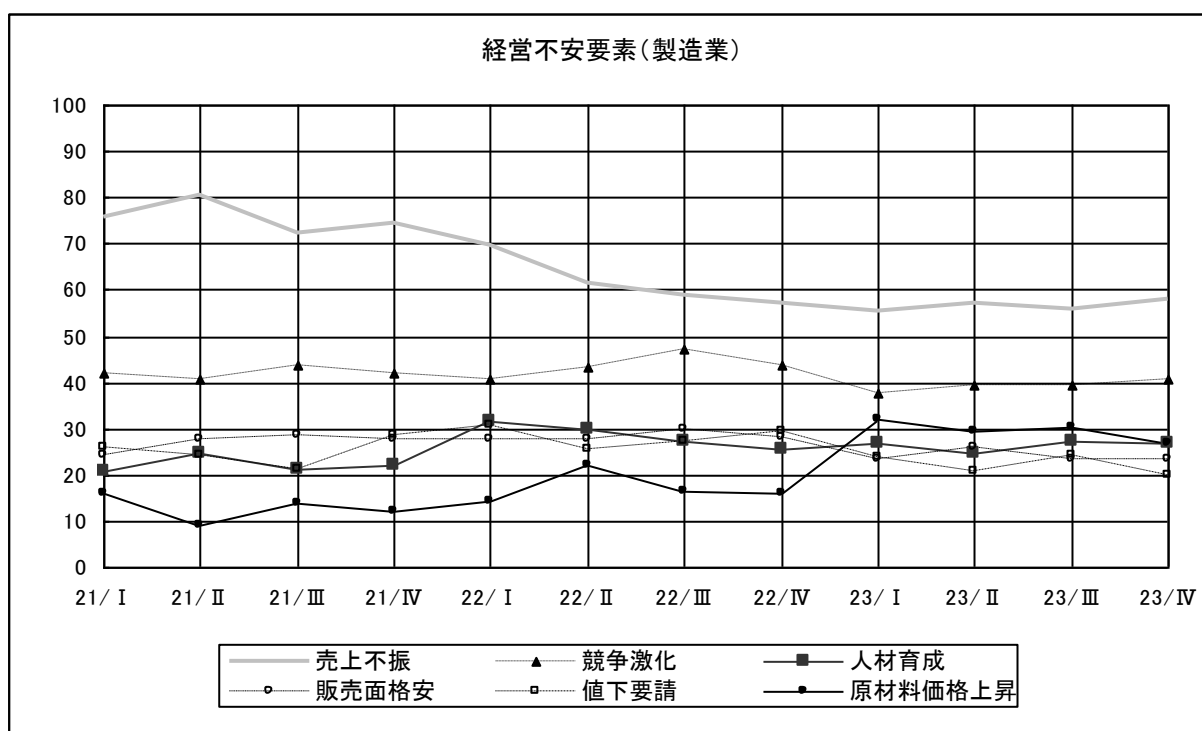


図 41. 経営上の不安要素・西陣

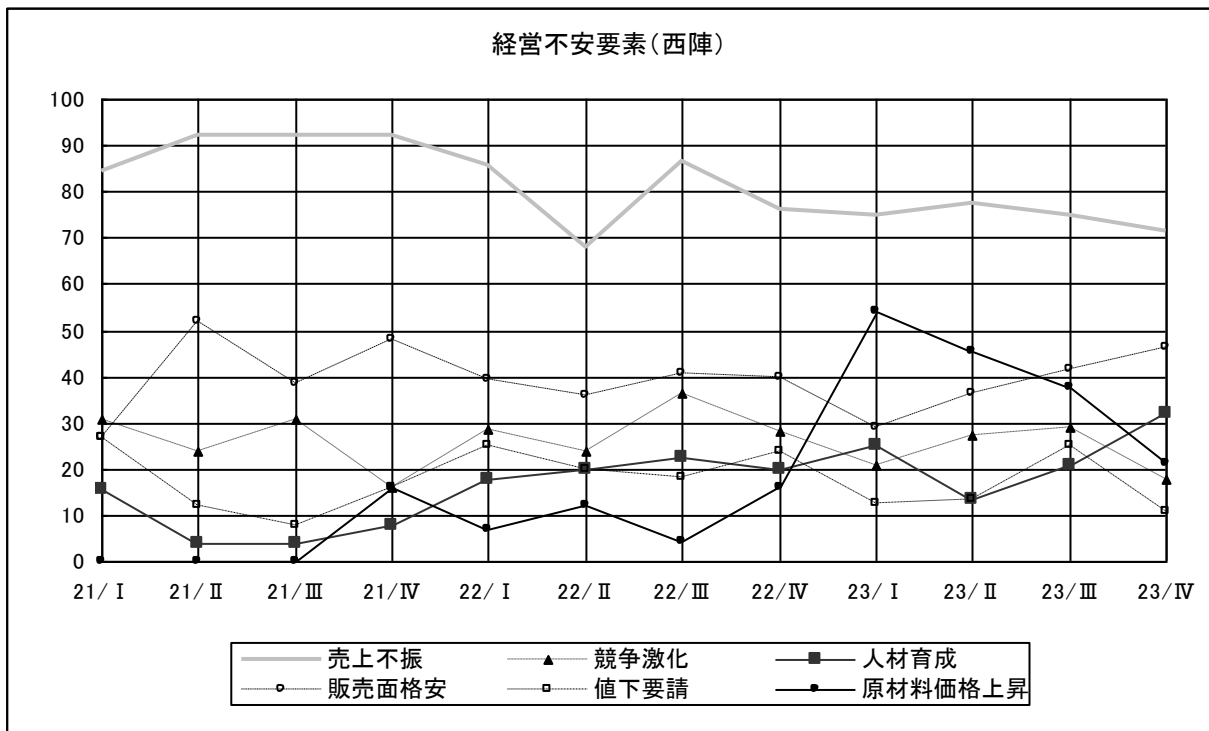


図 42. 経営上の不安要素・染色

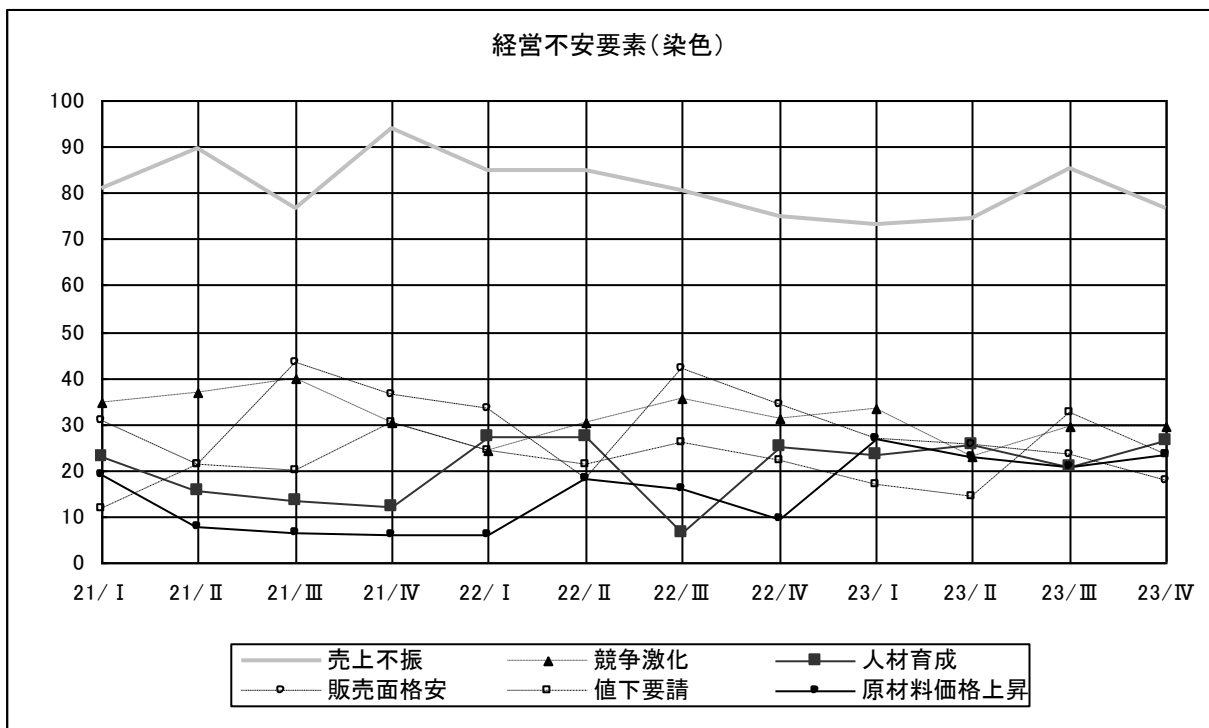




図 43. 経営上の不安要素・印刷

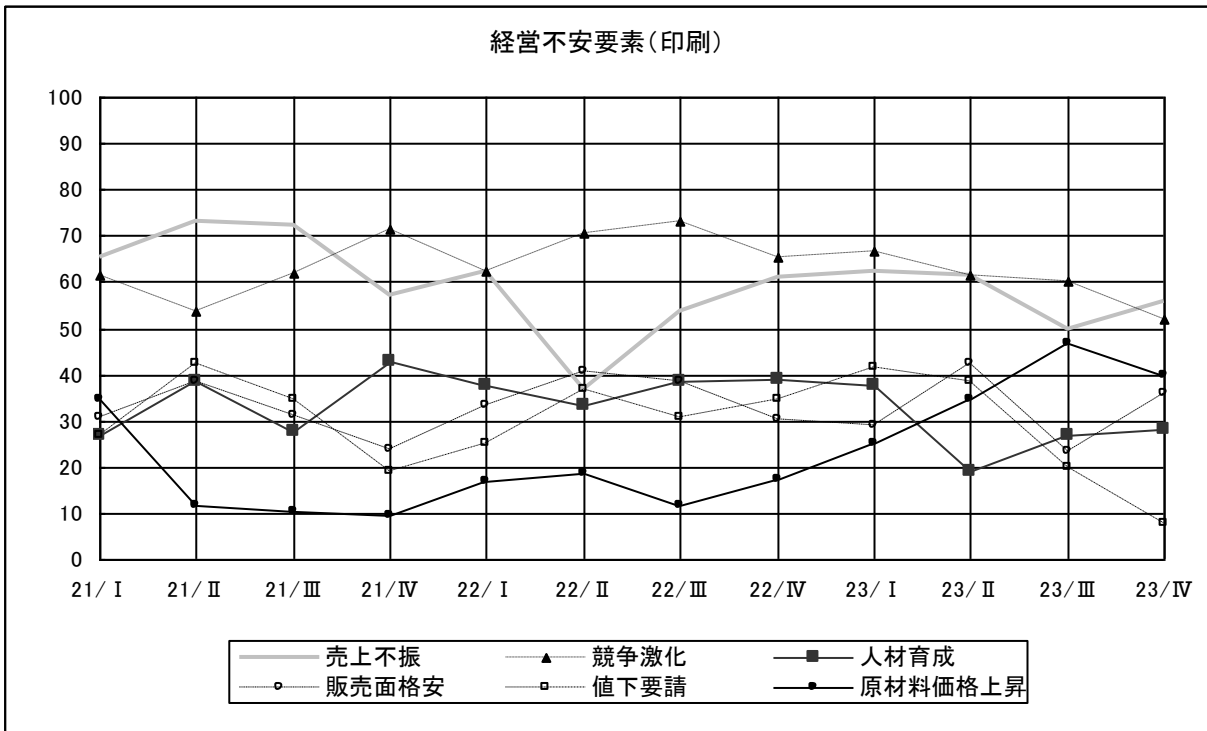


図 44. 経営上の不安要素・窯業

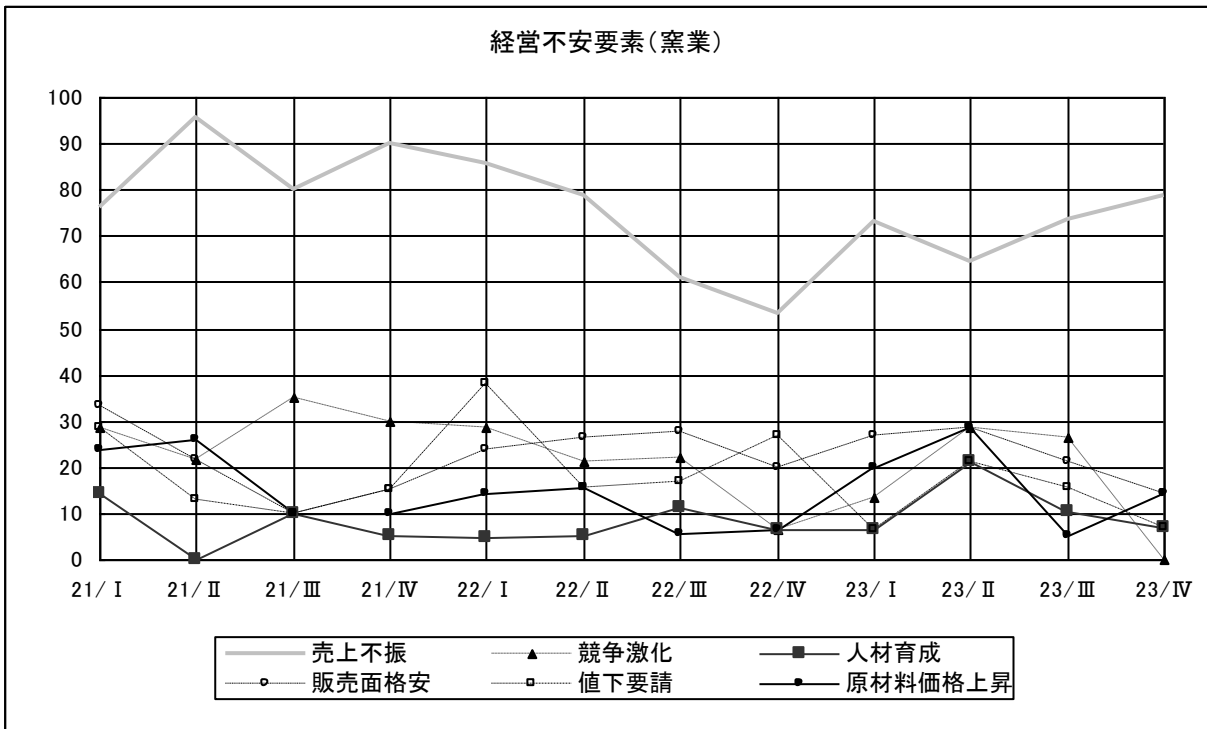


図 45. 経営上の不安要素・化学

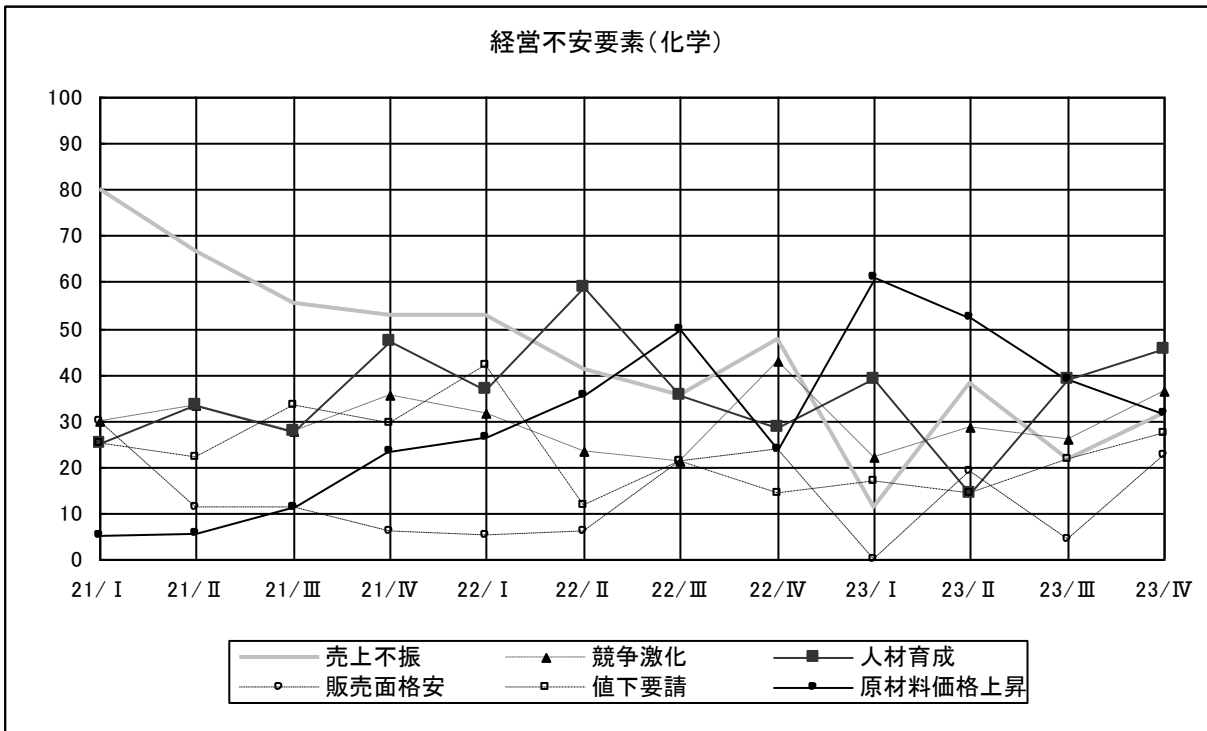


図 46. 経営上の不安要素・金属

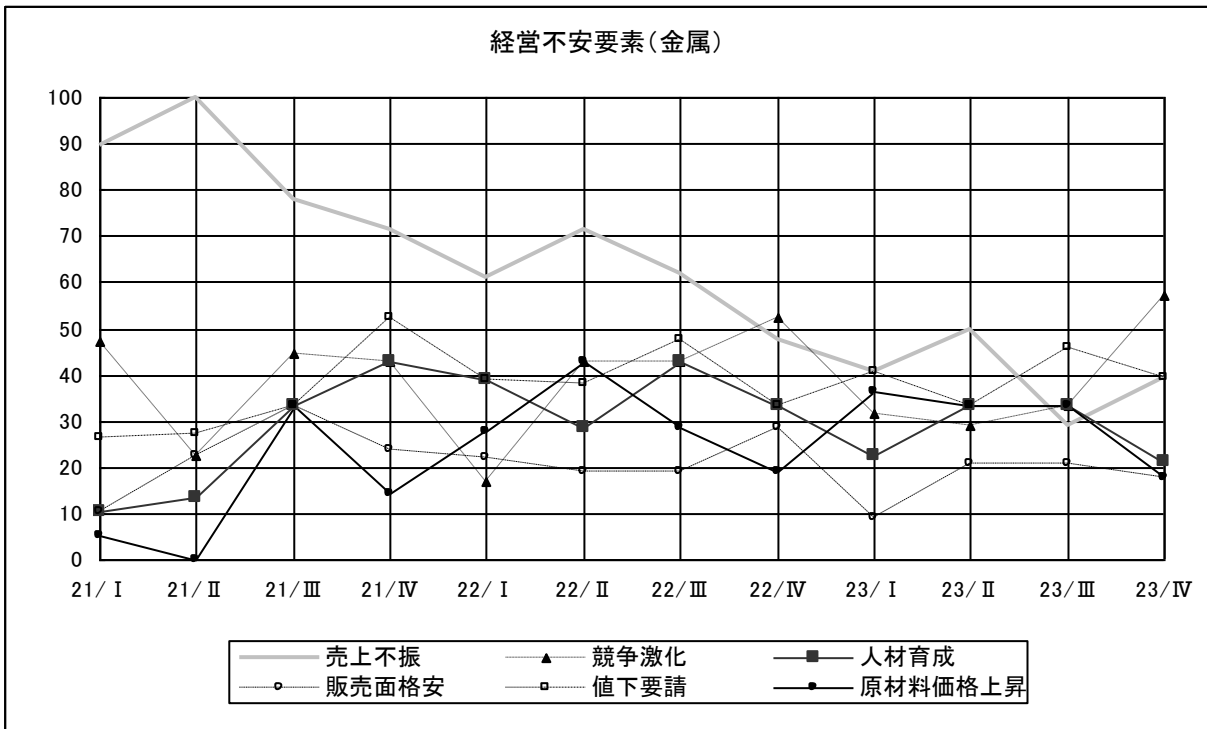


図 47. 経営上の不安要素・機械

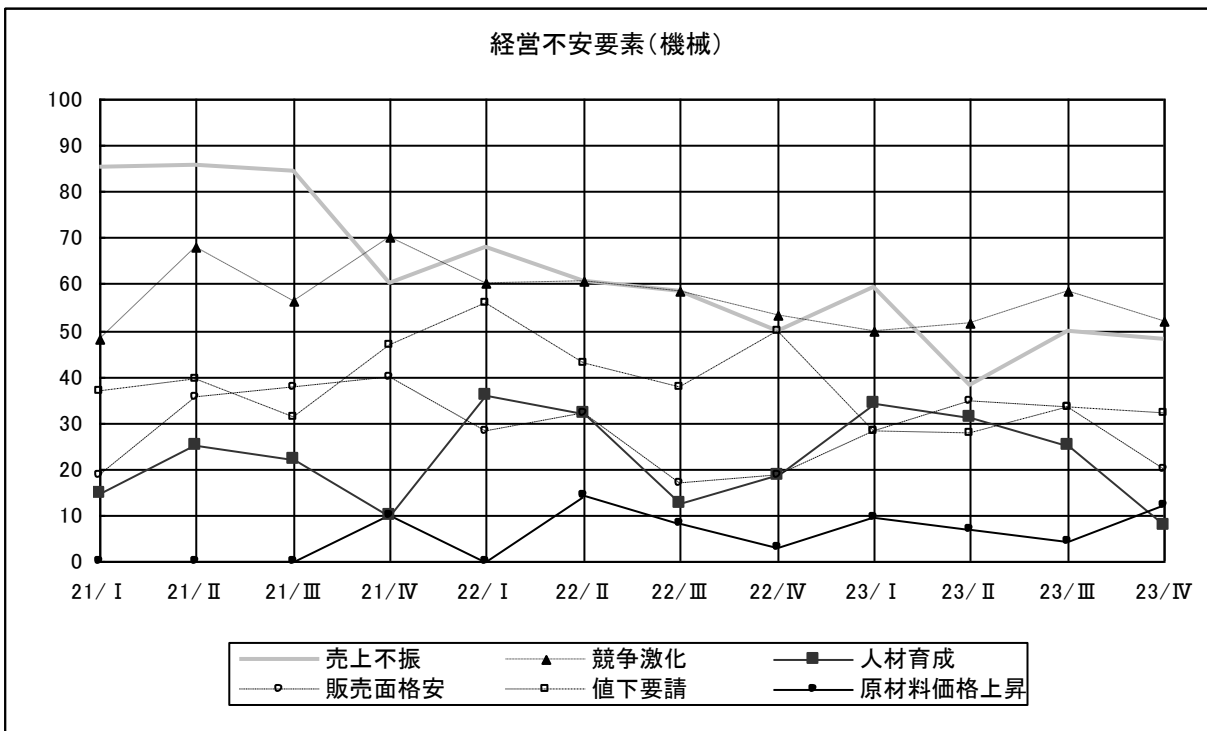


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

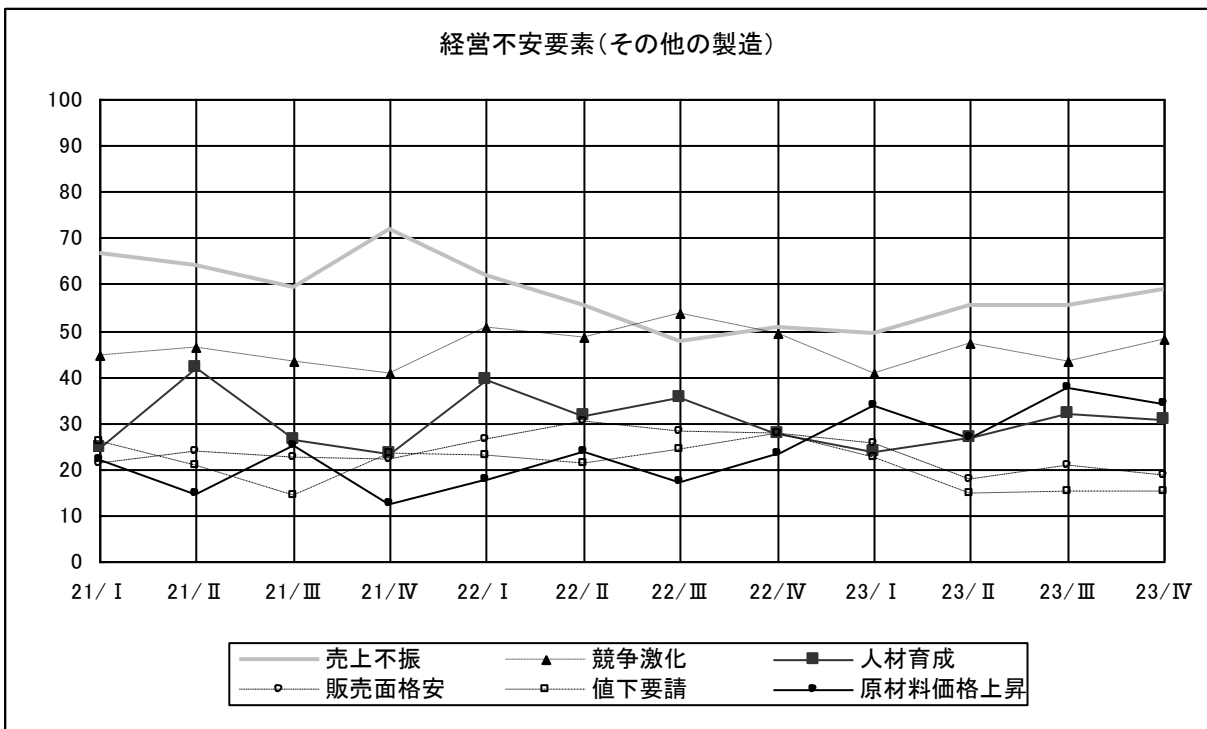


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

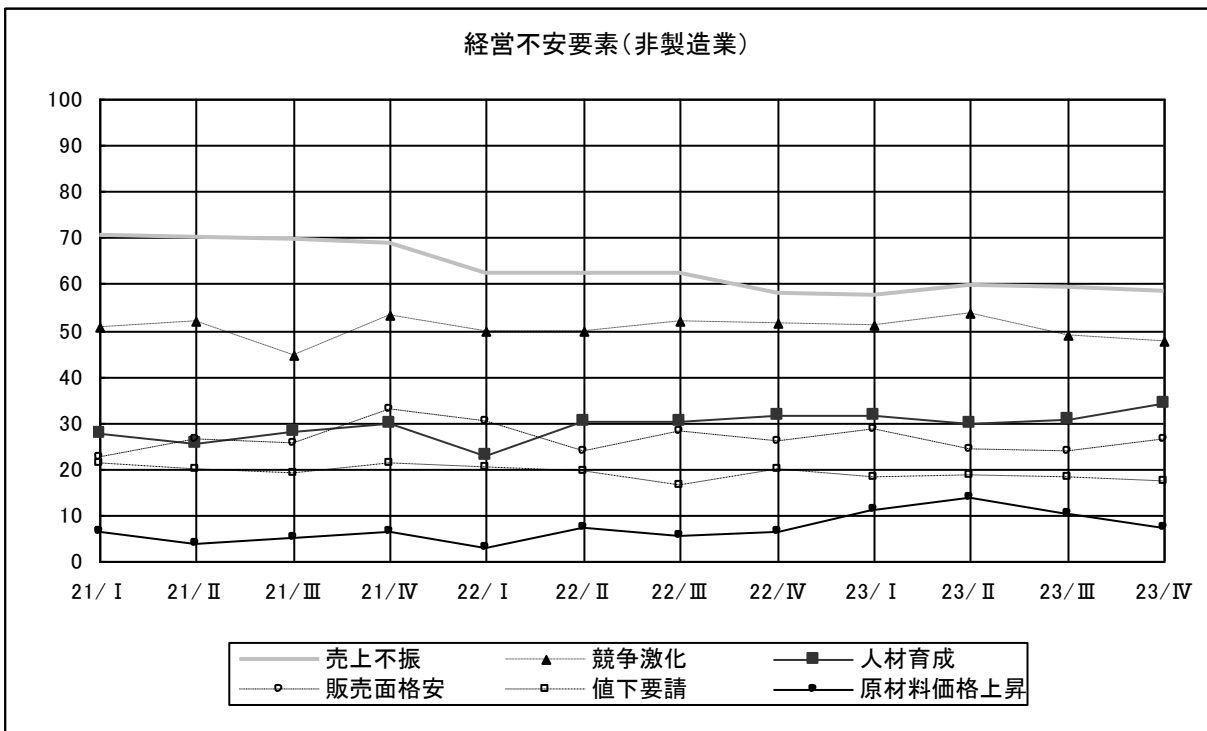


図 50. 経営上の不安要素・卸売

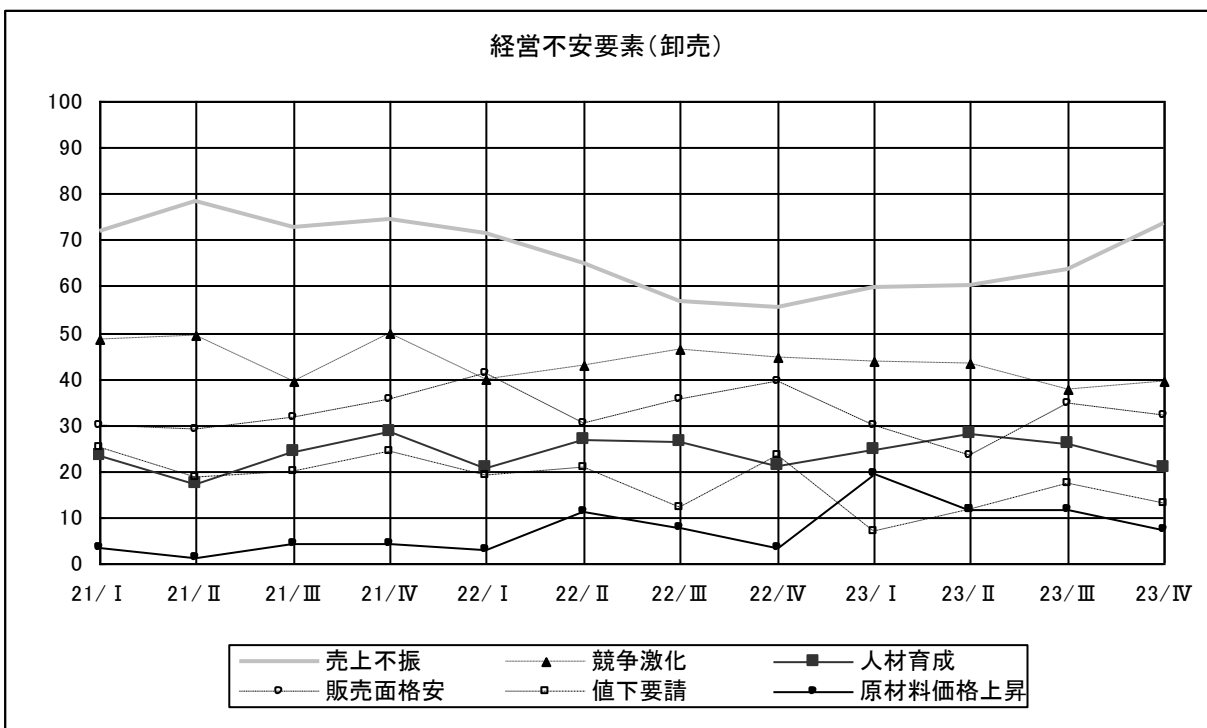


図 51. 経営上の不安要素・小売

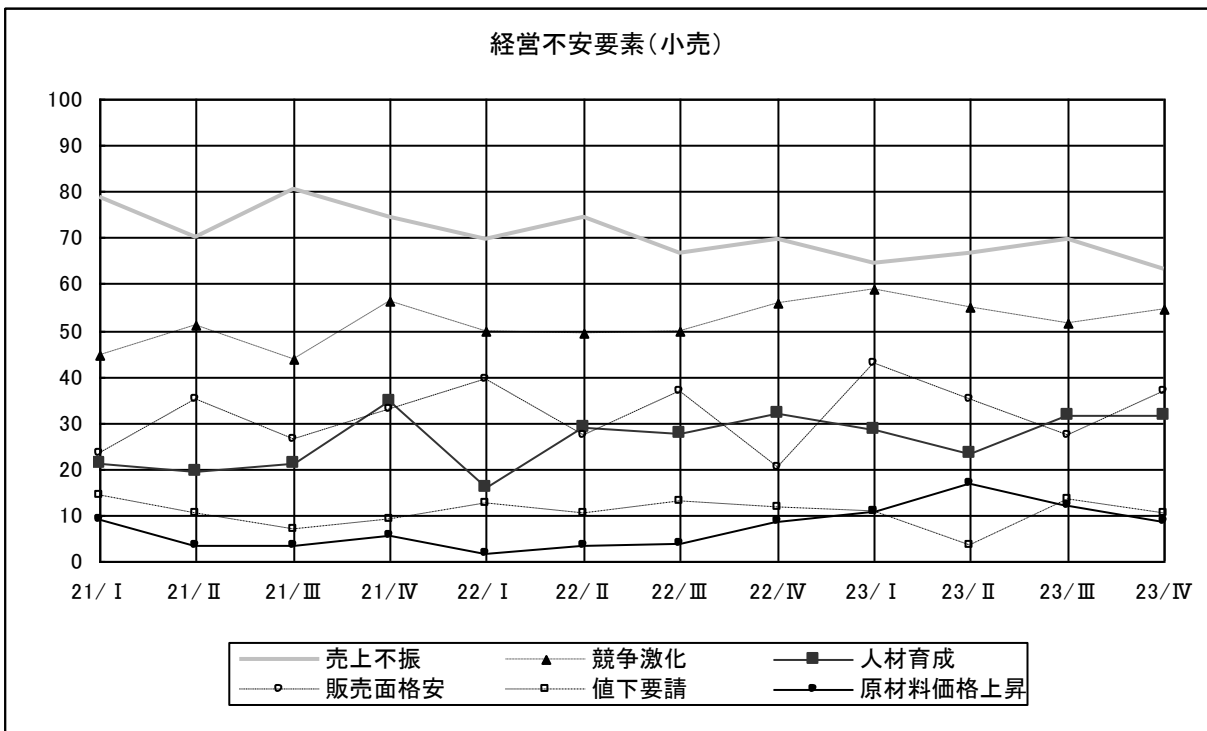


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

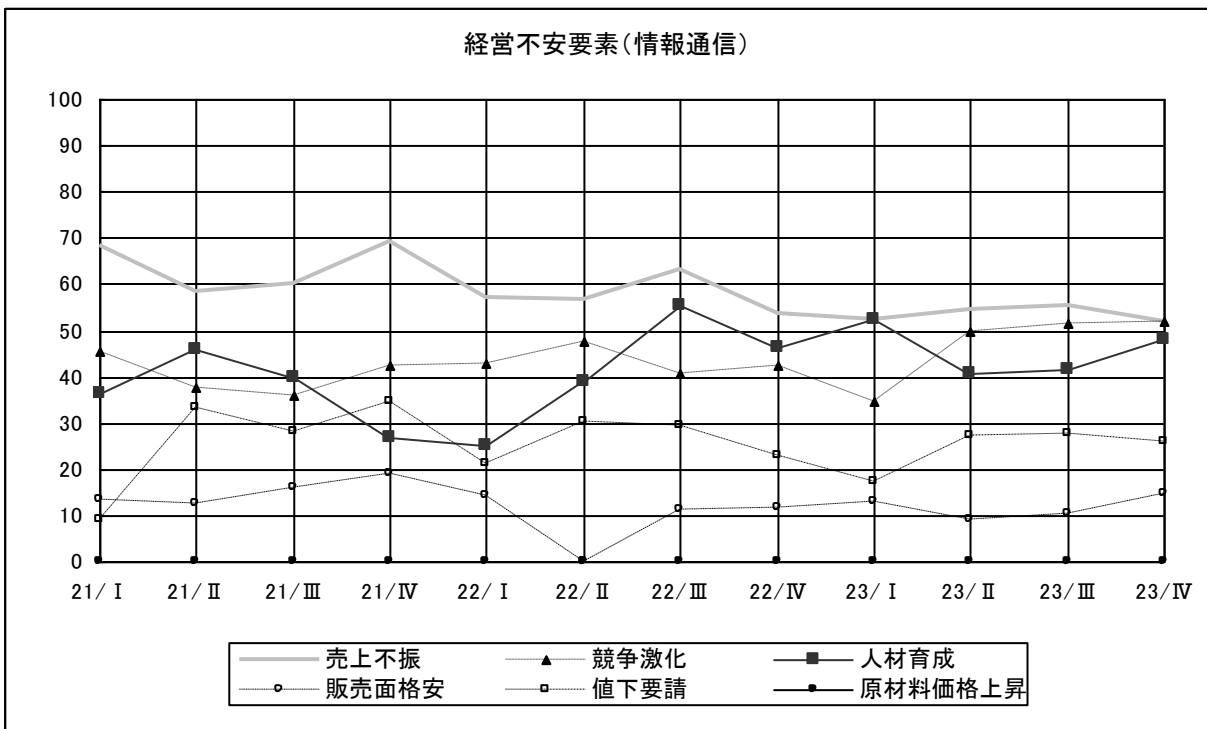


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

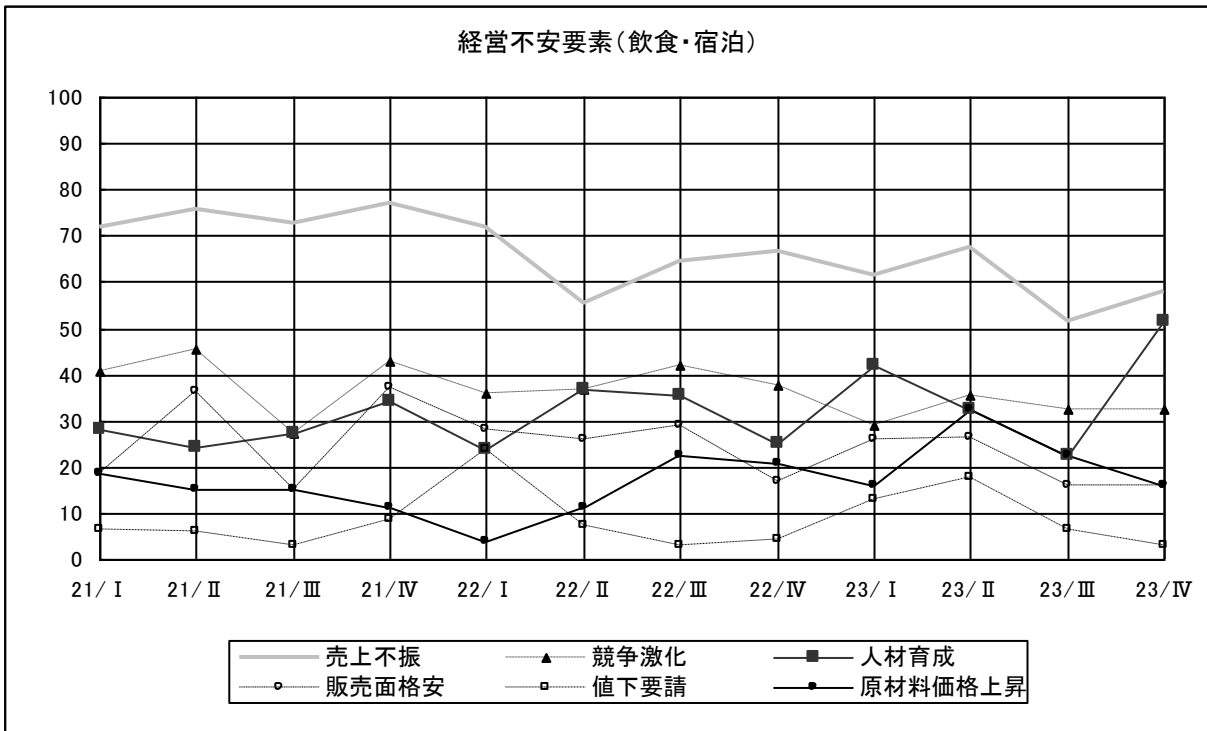


図 54. 経営上の不安要素・サービス

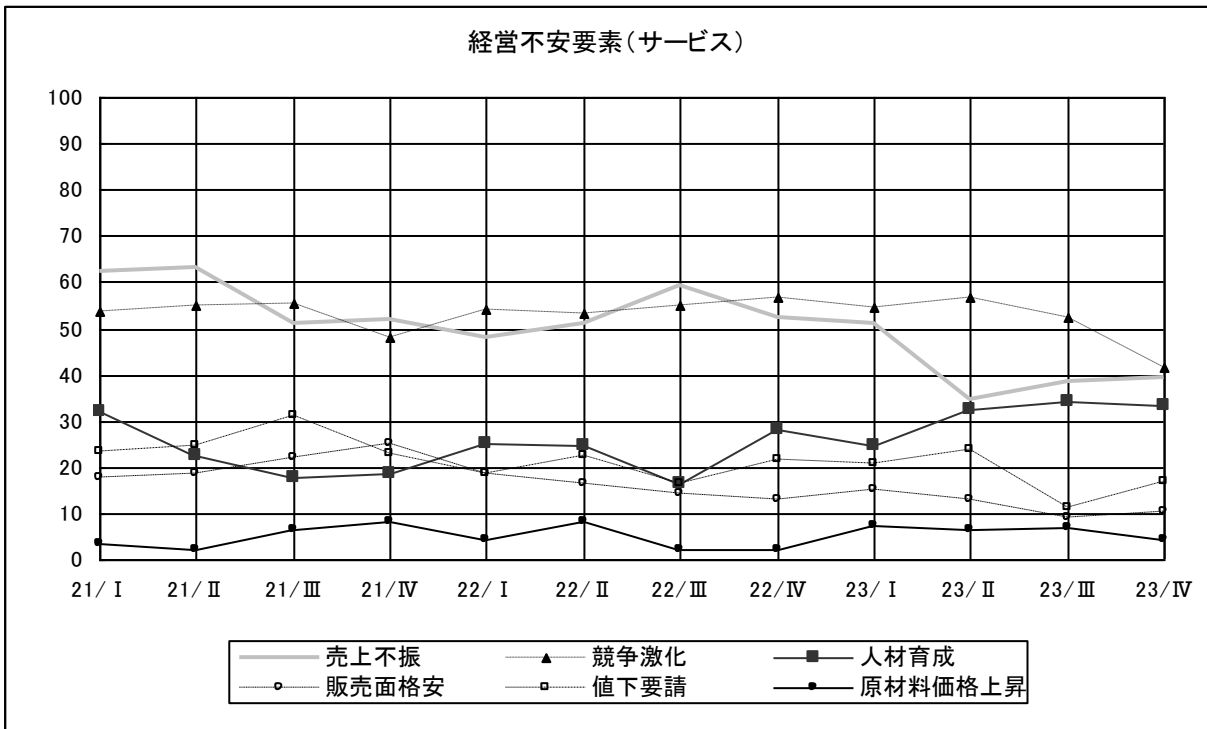


図 55. 経営上の不安要素・建設

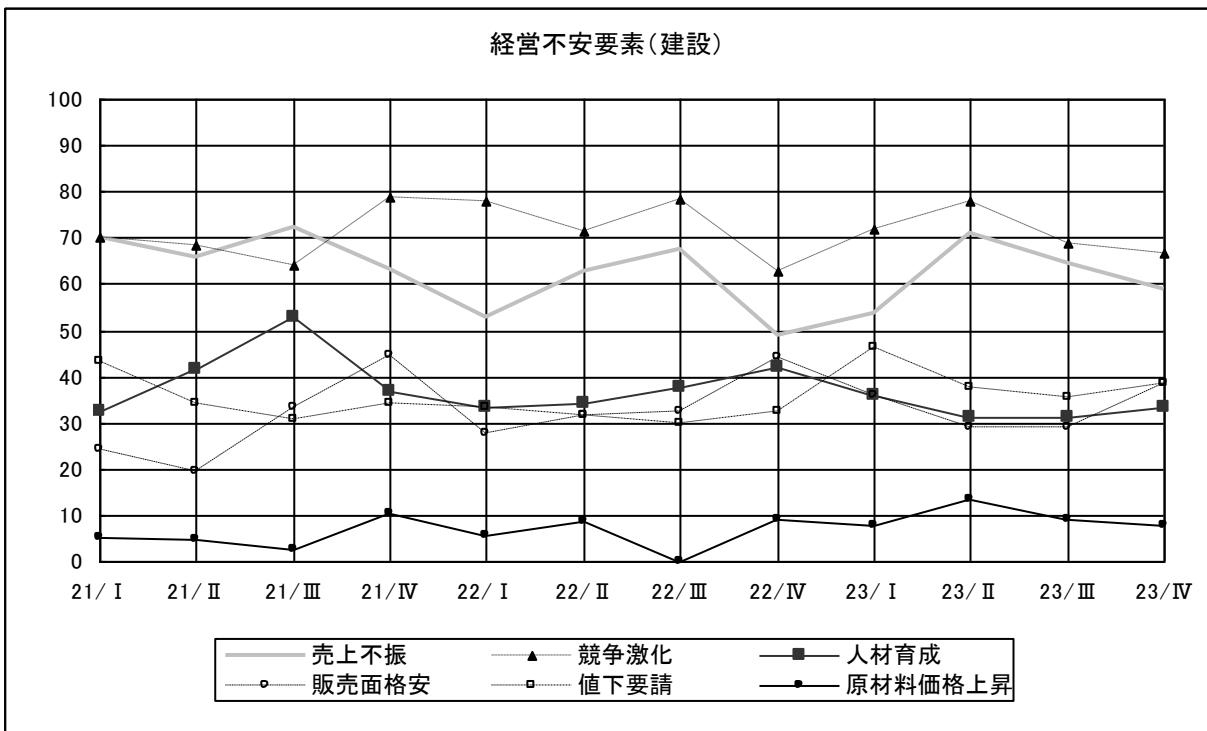


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	228 44.2%	300 58.1%	157 30.4%	96 18.6%	73 14.1%	89 17.2%	14 2.7%	128 24.8%
製造業	106 40.6%	151 57.9%	70 26.8%	52 19.9%	45 17.2%	70 26.8%	6 2.3%	61 23.4%
西陣	5 17.9%	20 71.4%	9 32.1%	3 10.7%	4 14.3%	6 21.4%	0 0.0%	13 46.4%
染色	10 29.4%	26 76.5%	9 26.5%	8 23.5%	6 17.6%	8 23.5%	1 2.9%	6 17.6%
印刷	13 52.0%	14 56.0%	7 28.0%	2 8.0%	8 32.0%	10 40.0%	1 4.0%	9 36.0%
窯業	0 0.0%	11 78.6%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	2 14.3%
化学	8 36.4%	7 31.8%	10 45.5%	6 27.3%	4 18.2%	7 31.8%	0 0.0%	5 22.7%
金属	16 57.1%	11 39.3%	6 21.4%	11 39.3%	4 14.3%	5 17.9%	0 0.0%	5 17.9%
機械	13 52.0%	12 48.0%	2 8.0%	8 32.0%	1 4.0%	3 12.0%	0 0.0%	5 20.0%
その他の製造	41 48.2%	50 58.8%	26 30.6%	13 15.3%	17 20.0%	29 34.1%	3 3.5%	16 18.8%
非製造業	122 47.8%	149 58.4%	87 34.1%	44 17.3%	28 11.0%	19 7.5%	8 3.1%	67 26.3%
卸売	21 39.6%	39 73.6%	11 20.8%	7 13.2%	7 13.2%	4 7.5%	1 1.9%	17 32.1%
小売	31 54.4%	36 63.2%	18 31.6%	6 10.5%	10 17.5%	5 8.8%	0 0.0%	21 36.8%
情報通信	14 51.9%	14 51.9%	13 48.1%	7 25.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.4%	4 14.8%
飲食・宿泊	10 32.3%	18 58.1%	16 51.6%	1 3.2%	3 9.7%	5 16.1%	0 0.0%	5 16.1%
サービス	20 41.7%	19 39.6%	16 33.3%	8 16.7%	2 4.2%	2 4.2%	3 6.3%	5 10.4%
建設	26 66.7%	23 59.0%	13 33.3%	15 38.5%	6 15.4%	3 7.7%	2 5.1%	15 38.5%
観光関連	18 42.9%	29 69.0%	16 38.1%	4 9.5%	11 26.2%	12 28.6%	1 2.4%	9 21.4%
	技術力不足	後継者問題	人手不足	人件費増加	その他	有効回答	無回答	
全業種	36 7.0%	47 9.1%	45 8.7%	64 12.4%	21 4.1%	516 100.0%	19	
製造業	24 9.2%	19 7.3%	16 6.1%	27 10.3%	11 4.2%	261 100.0%	6	
西陣	1 3.6%	0 0.0%	2 7.1%	1 3.6%	1 3.6%	28 100.0%	0	
染色	2 5.9%	2 5.9%	2 5.9%	2 5.9%	1 2.9%	34 100.0%	0	
印刷	0 0.0%	3 12.0%	2 8.0%	2 8.0%	0 0.0%	25 100.0%	1	
窯業	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	14 100.0%	1	
化学	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%	2 9.1%	2 9.1%	22 100.0%	1	
金属	5 17.9%	1 3.6%	2 7.1%	2 7.1%	0 0.0%	28 100.0%	2	
機械	6 24.0%	4 16.0%	3 12.0%	4 16.0%	4 16.0%	25 100.0%	0	
その他の製造	6 7.1%	6 7.1%	4 4.7%	12 14.1%	3 3.5%	85 100.0%	1	
非製造業	12 4.7%	28 11.0%	29 11.4%	37 14.5%	10 3.9%	255 100.0%	13	
卸売	0 0.0%	5 9.4%	3 5.7%	4 7.5%	2 3.8%	53 100.0%	6	
小売	1 1.8%	5 8.8%	3 5.3%	9 15.8%	4 7.0%	57 100.0%	2	
情報通信	5 18.5%	6 22.2%	6 22.2%	3 11.1%	0 0.0%	27 100.0%	0	
飲食・宿泊	2 6.5%	6 19.4%	9 29.0%	7 22.6%	2 6.5%	31 100.0%	2	
サービス	1 2.1%	3 6.3%	4 8.3%	7 14.6%	1 2.1%	48 100.0%	2	
建設	3 7.7%	3 7.7%	4 10.3%	7 17.9%	1 2.6%	39 100.0%	1	
観光関連	2 4.8%	5 11.9%	5 11.9%	7 16.7%	2 4.8%	42 100.0%	1	



参考：分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
明治以前	11	( 2.1 )
明治	21	( 3.9 )
大正	13	( 2.4 )
昭和19年以前	26	( 4.9 )
20～39年	204	( 38.1 )
40～49年	88	( 16.4 )
昭和50年以降	94	( 17.6 )
平成	78	( 14.6 )
無回答	0	( 0.0 )
不明	0	( 0.0 )
合計	535	( 100.0 )

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
法人	529	( 98.9 )
個人	6	( 1.1 )
無回答	0	( 0.0 )
合計	535	( 100.0 )

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
製造業	267	( 50.0 )	非製造業	268	( 50.0 )
西陣	28	( 5.2 )	卸売	59	( 11.0 )
染色	34	( 6.4 )	小売	59	( 11.0 )
印刷	26	( 4.9 )	情報通信	27	( 5.0 )
窯業	15	( 2.8 )	飲食・宿泊	33	( 6.2 )
化学	23	( 4.3 )	サービス	50	( 9.3 )
金属	30	( 5.6 )	建設	40	( 7.5 )
機械	25	( 4.7 )	不明	0	( 0.0 )
その他の製造	86	( 16.1 )	合計	535	( 100.0 )

※観光関連（観光関連の売上が25%以上）	43	( 8.0 )
----------------------	----	---------

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
～100万円	0	( 0.0 )	3001～5000	81	( 15.3 )
101～200	1	( 0.2 )	5001～1億円	45	( 8.5 )
201～500	44	( 8.3 )	1億円超	12	( 2.3 )
501～1000	190	( 35.9 )	無回答	0	( 0.0 )
1001～3000	156	( 29.5 )	合計	529	( 100.0 )

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
0～4人	73	( 13.6 )	50～99人	72	( 13.5 )
5～9人	89	( 16.6 )	100人以上	46	( 8.6 )
10人～19人	106	( 19.8 )	無回答	0	( 0.0 )
20人～29人	70	( 13.1 )	合計	535	( 100.0 )
30～49人	79	( 14.8 )			

# 第101回京都市中小企業経営動向実態調査

【締切日 平成23年12月2日（金）】

貴社の概要を御記入ください。

（該当する箇所には、○印をお付けください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。）

会社名													
経営形態	法人・個人	資本金						万円	電話			—	
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成) 年							従業員数					人
※業種	製造業：A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造												
	非製造業：I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設												
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。												
主な製品、商品、サービス													
御記入者	部課：	役職：					氏名：						

※業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。

項目	期間	平成23年10月～12月の実績 (前年の同期と比較して)			平成24年1月～3月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		増加	不変	減少	増加	不変	減少
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益（税引前）		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価、販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない		する	しない	

(2) 該当するものに○印をお付けされた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。（複数回答可）

- |              |               |             |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化     | 2 生産・経営の合理化   | 3 人材確保・育成   |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 顧客、市場の開拓    | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化  | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他( )    |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。（複数回答可）

- |           |          |                |
|-----------|----------|----------------|
| 1 競争激化    | 2 売上不振   | 3 人材育成         |
| 4 値下要請    | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に )価格上昇 |
| 7 金利上昇    | 8 販売価格安  | 9 技術力不足        |
| 10 後継者問題  | 11 人手不足  | 12 人件費増加       |
| 13 その他( ) |          |                |

（裏面も御記入ください。）

(5) 平成23年の企業経営実績と来年(平成24年)の見通しについてお尋ねします。

A. 平成23年の貴社の業績は前年(平成22年)と比較していかがでしたか。  
下記から一つを選び、○印をお付けください。

1 非常に良かった 2 良かった 3 前年並み 4 悪かった 5 非常に悪かった

B. 平成24年の貴社の業績見通しは今年(平成23年)と比較していかがですか。  
下記から一つを選び、○印をお付けください。

1 非常に良くなる 2 良くなる 3 今年並み 4 悪くなる 5 非常に悪くなる

C. 平成23年の貴社の業績に影響を与えた要因及び来年(平成24年)の業績に影響を与えると予想される要因について、該当するものの番号を御記入ください。(それぞれ3つ以内)

平成23年実績	プラス要因			マイナス要因			平成24年予測	プラス要因			マイナス要因		

1 営業努力 2 新商品・新技術の開発 3 新事業の展開 4 設備投資  
 5 雇用情勢 6 国際情勢 7 国内景気 8 地元景気 9 他社との競争  
 10 為替相場 11 金融情勢 12 消費動向 13 物価動向 14 株価動向  
 15 地価動向 16 税制改革 17 公共投資 18 輸出入動向 19 価格競争  
 20 規制緩和 21 親企業のリストア・海外進出 22 環境問題 23 東日本大震災  
 24 その他 ( )

D. Cで「10 為替相場」を選んだ方は、その具体的な内容を御記入ください。

E. 貴社では、今後どのような分野・部門の拡充や縮小をお考えですか。  
下記から該当するものの番号を御記入ください。(それぞれ2つ以内)

拡充・強化する部門		削除・縮小する部門	
-----------	--	-----------	--

1 事務部門(庶務・人事など) 2 財務部門(経理・会計など) 3 営業部門  
 4 企画・開発部門(新規事業企画・新市場開拓など) 5 宣伝・広報部門  
 6 情報・通信部門 7 技術部門 8 製造部門 9 特になし  
 10 その他 ( )

F. 平成24年に向けて貴社の経営全般における独自の取組や工夫を御自由に御記入ください。

(お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ致します。)

京都市 産業観光局 (TEL:222-3325 FAX:222-3331)